

平成29年度

神奈川県立

足柄上病院年報

平成30年9月

足柄上病院の病院理念

- 1 「あ」： **安全で安心な医療を提供します。**
医療事故防止、診療情報の提供
- 1 「し」： **社会の要請を担う政策医療を展開します。**
救急医療、小児医療、HIVを含む感染症医療
- 1 「か」： **患者中心の医療を実践します。**
インフォームド・コンセントの徹底、患者満足度の高い医療、患者の権利擁護
- 1 「み」： **魅力ある自立した病院を目指します。**
患者さんにとっても、医療従事者にとっても経営的にも、環境面でも

患者権利章典

医療は誰の為にあるのか、何の為にあるのかを深く認識し、常に患者さんサイドに立った医療の実践を目指して、患者さんの権利に関して県立足柄上病院は次のことがらを大切に考え行動します。

1 平等で公正な医療を受ける権利

患者さんは医療を受けるにあたり、人格、価値観、人生観、死生観が尊重され、差別なしに良質な医療を受ける権利があります。患者さんは人権、国籍、信条、宗教、社会的地位等を問わず、平等で公正な医療を受ける権利があります。

2 選択の自由の権利

患者さんはいずれの医療機関でも保健サービス機関でも自由に選択し、又変更する権利があります。患者さんは、いかなる治療段階でもセカンド・オピニオン(他の医師の意見)を受ける権利があります。

3 自己決定権

患者さんは誰でも十分なインフォームド・コンセントの後に、自分の受ける全ての医療に関し、選択の自由(インフォームド・チョイス)が保障され自分で決定する権利があります。

4 プライバシーの保護を受ける権利

患者さんは一人の人間としてその人間が尊重され、個人情報の秘密が保持され、その人の私生活がみだりに第三者にさらされず乱されない権利があります。

5 情報を得る権利

患者さんは自分の医療上のいかなる情報も受ける権利、健康状態に関し十分な説明を受ける権利があります。

6 健康教育を受ける権利

患者さんは疾病やその治療法、保健、予防等について学習する権利があります。

7 医療参加の権利

医療は患者さんと医療提供者とが信頼関係に基づき協力して作り上げていくものです。患者さんは誰でも最適な医療が実践されるよう主体的に医療に参加する権利があります。

8 どんな状況下でも、適切な判断の下に意思が尊重され支援される権利

最善の努力をしても時として病気が進展して治癒が期待できない状況下となることがあります。そのような場合、患者さんの意思と最良のQORを得る努力が尊重され、強く支援される権利があります。

目 次

第1章 病院の概況

1	位置等	1
(1)	位 置	1
(2)	県の人口と世帯数	2
(3)	神奈川県立病院一覧	3
2	沿革等	4
(1)	沿 革	4
(2)	各種学会認定状況	5
(3)	承認事項等	5
3	機 構	10
(1)	組 織	10
(2)	職種別配置表	11
(3)	院内各種会議	12
4	平成29年度の職員の状況	13
(1)	年度当初現員数	13
(2)	病床100床当たりの部門別職員数	13
(3)	部門別1人1日平均取扱患者数	14
5	診療体制	15
(1)	開設の許可・承認等	15
(2)	診療体制	16
(3)	使用料及び手数料（中期計画第7）	16
6	配置図	17
7	施設の概況	18
(1)	土 地	18
(2)	建 物	18
(3)	設 備	19

第2章 経理の状況

(1)	収益・費用の構成	23
(2)	収 益	24

(3) 費用	24
(4) 経営分析状況	25

第3章 患者の概況

(1) 年齢別患者数	26
(2) 地域別患者数	27
(3) 診療科別患者数	28
(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況	29
(5) 診療科別月別患者数	32
(6) 病棟別患者数の状況	34
(7) 稼動状況	34
(8) 救急患者取扱状況	35
(9) 年度別に見た診療科別救急患者	35
(10) 年度別に見た事由別救急患者	35
(11) 患者死亡件数	35

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務	36
(1) 病棟別栄養アセスメント結果	36
(2) 栄養サポートチーム (NST) カンファレンス及び回診の実施状況	36
(3) 入院前の栄養評価	36
(4) 栄養相談	36
(5) 給食実施状況	37
(6) 食種別構成比率	38
(7) ランチ講習会	38
2 手術	39
(1) 総手術件数	39
(2) 麻酔別手術件数	39
(3) 分娩件数	39
(4) 各診療科手術件数	40
3 内視鏡	43
(1) 内視鏡検査件数	43
(2) 内視鏡処置件数	43
(3) 泌尿器科外来検査件数	43

4	リハビリテーション科業務	44
	(1) 診療科別実数	44
	(2) 訓練業務の推移(延件数)	45
	(3) 疾患別分類	46
	(4) 実習生受入状況	47
5	放射線技術科業務	48
	(1) X線撮影実績(人数及び件数・月別)	48
	(2) X線撮影実績(人数及び件数・年度別)	50
	(3) 時間外救急実績(人数及び件数)	50
	(4) 高度医療機器共同利用実績(人数)	50
6	検査技術科業務	51
	(1) 臨床検査件数(大分類)	51
	(2) 緊急検査(土日祝日・時間外)件数	51
	(3) 委託	51
	(4) 血液製剤使用量	51
	(5) 院内研修等	51
	(6) 実習生受入状況	51
	(7) 月別臨床検査数	52
7	薬剤科業務	54
	(1) 処方箋発行状況	54
	(2) 薬効別使用状況	54
	(3) 製剤数	54
	(4) 麻薬使用量(麻薬年間届の数量)	55
	(5) 注射薬	56
	(6) 採用品目数	56
	(7) 後発品移行状況(後発品採用品目数)	56
	(8) 医薬品情報(DI)業務	56
	(9) 薬剤管理指導業務	57
	(10) 薬剤管理指導・関連業務収益	57
	(11) 無菌製剤業務(抗がん剤混合等)	57
	(12) 実習生受入状況	57
8	地域医療センター業務	58
	【地域医療連携室】	58
	(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況	58
	(2) 診療科別紹介患者(受け)件数	59
	(3) 診療科別紹介患者(出)件数	60
	(4) 診療科別紹介患者報告率	60
	(5) 紹介率の推移	61

(6) 紹介患者（受け）年齢別件数	61
(7) 紹介患者（受け）地域別件数	61
(8) 相談依頼受付状況	62
(9) 神奈川県在宅難病患者受入れ病床確保事業・受入状況	63
(10) 患者さん相談室活動状況	64
【入退院支援センター】	66
【在宅療養支援部門】	67
【救命救急部門】	67
9 看護局業務	68
(1) 看護局ミッション	68
(2) 看護局ビジョン	68
(3) 平成29年度看護局目標	68
(4) 平成29年度看護局目標評価	68
(5) 看護外来	69
平成29年度 院内研修実績	70
平成29年度 オープンセミナー開催実績	72
平成29年度 学会・院外研修参加実績	73
平成29年度 実務研修受入実績	75
平成29年度 施設見学等受入実績	76
平成29年度 高校生職業体験会開催実績	77
平成29年度 看護学実習受入実績	78
10 各種活動報告	79
(1) 感染症対策会議（感染管理室）活動報告	79
(2) 医療安全推進活動報告	81
(3) クリニカルパス検討会議	86
(4) 災害医療対策室	87
(5) 褥瘡対策会議	88
(6) NST・摂食嚥下対策会議	88
(7) ボランティア活動報告	89
(8) 臨床病理検討会（CPC）	89
(9) 糖尿病対策会議	89
(10) 平成29年度「医学講座」・「出前講座」	91
第5章 研究等	92

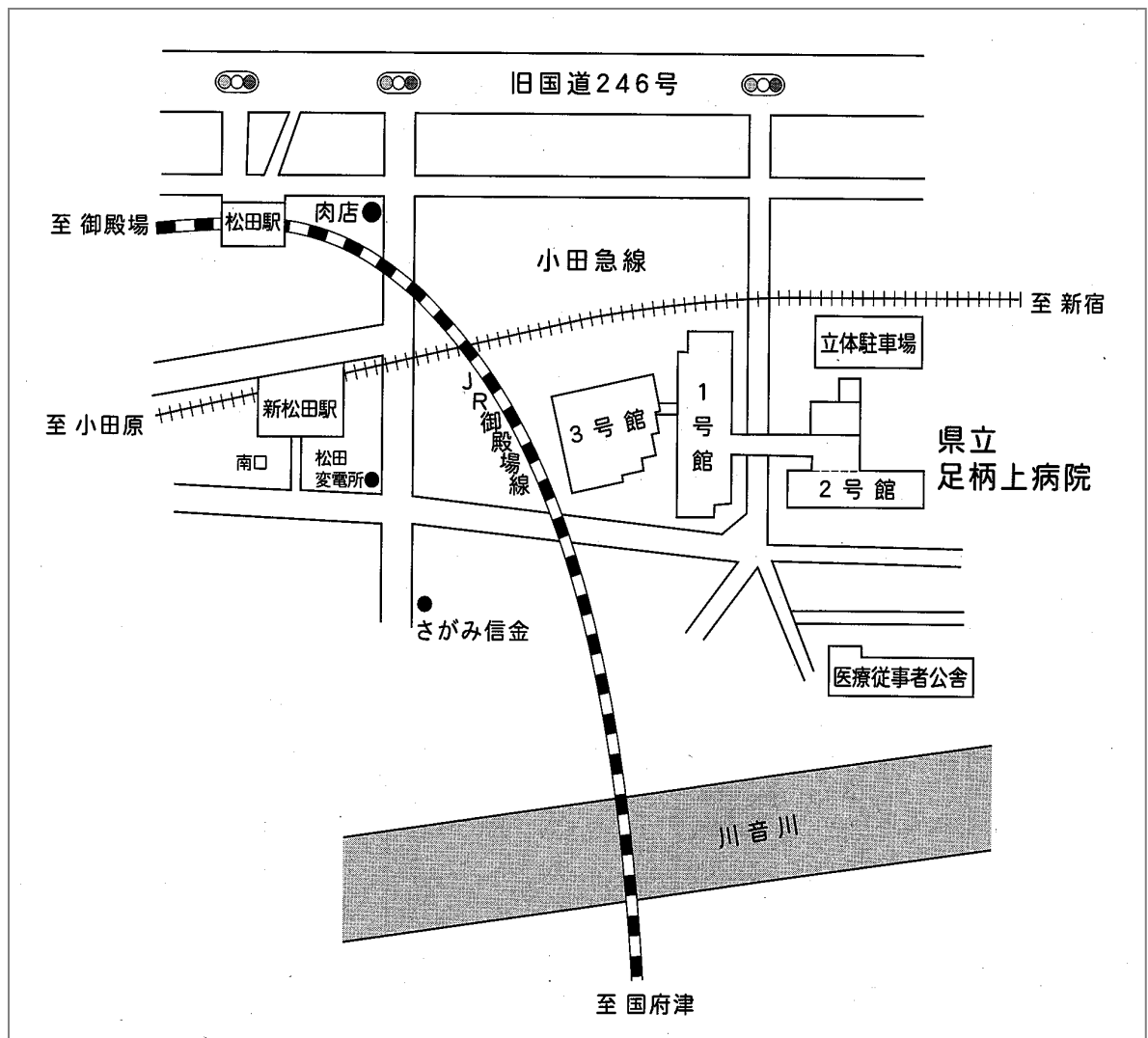
第 1 章 病院の概況

1 位 置 等

(1) 位 置

足柄上病院は県西地域に位置し、西に富士山を仰ぎ、箱根外輪山から丹沢連峰に連なる美しいやまなみに抱かれ、川音川の流れ近くにあります。

当地は温暖で、みかんやお茶などの産地として知られ、また、小田急線と J R 御殿場線が交差しており、当病院は両線の駅からいずれも徒歩 5 分程度という便利なところにあります。

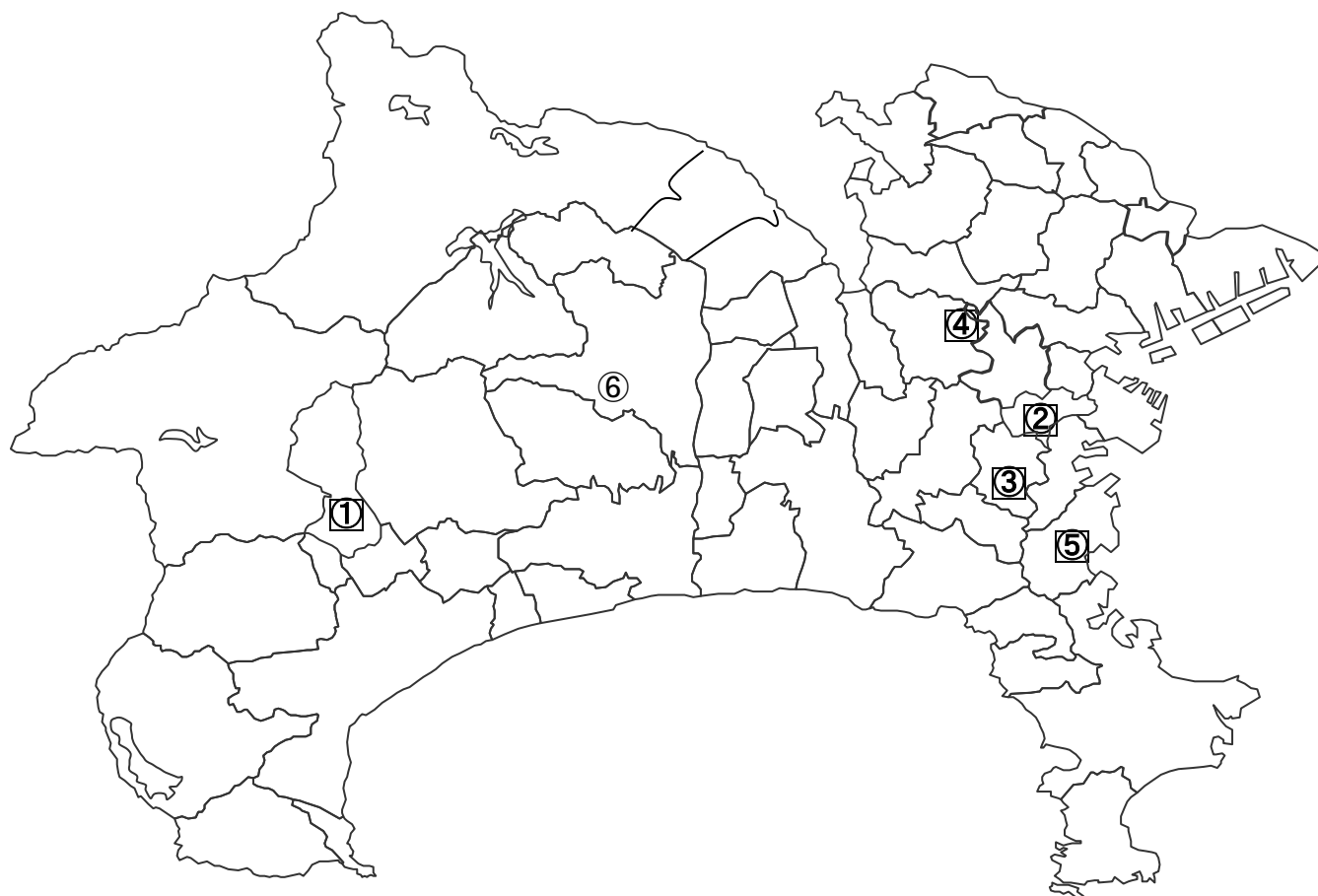


- 1 小田急「新松田駅」下車徒歩 5 分
- 2 J R 御殿場線「松田駅」下車徒歩約 1 0 分

(2) 県の人口と世帯数

市区町村	平成29年4月1日(A)			平成28年4月1日(B)			比較増減(A-B)		
	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数
県 計	4,041,926	9,144,183	2.26	4,000,830	9,128,208	2.28	41,096	15,975	△ 0.02
市部 計	3,924,713	8,853,068	2.26	3,884,543	8,835,891	2.27	40,170	17,177	△ 0.01
郡部 計	117,213	291,115	2.48	116,287	292,317	2.51	926	△ 1,202	△ 0.03
横浜市	1,665,516	3,728,124	2.24	1,652,584	3,725,042	2.25	12,932	3,082	△ 0.01
川崎市	710,526	1,496,035	2.11	698,553	1,481,183	2.12	11,973	14,852	△ 0.01
相模原市	316,648	720,986	2.28	313,319	721,078	2.30	3,329	△ 92	△ 0.02
横須賀市	166,584	401,285	2.41	165,721	403,557	2.44	863	△ 2,272	△ 0.03
平塚市	109,020	257,877	2.37	107,945	257,980	2.39	1,075	△ 103	△ 0.02
鎌倉市	73,326	172,352	2.35	73,104	172,755	2.36	222	△ 403	△ 0.01
藤沢市	183,985	427,501	2.32	181,473	425,105	2.34	2,512	2,396	△ 0.02
小田原市	80,344	192,856	2.40	79,487	193,492	2.43	857	△ 636	△ 0.03
茅ヶ崎市	99,583	239,891	2.41	98,443	239,443	2.43	1,140	448	△ 0.02
逗子市	24,471	57,525	2.35	24,249	57,482	2.37	222	43	△ 0.02
三浦市	17,473	44,132	2.53	17,604	44,958	2.55	△ 131	△ 826	△ 0.02
秦野市	70,348	166,093	2.36	69,931	166,792	2.39	417	△ 699	△ 0.03
厚木市	97,132	224,994	2.32	96,137	225,284	2.34	995	△ 290	△ 0.02
大和市	104,001	234,293	2.25	102,796	233,436	2.27	1,205	857	△ 0.02
伊勢原市	44,039	102,037	2.32	43,424	101,635	2.34	615	402	△ 0.02
海老名市	54,509	130,860	2.40	53,825	130,440	2.42	684	420	△ 0.02
座間市	57,019	129,277	2.27	56,181	128,661	2.29	838	616	△ 0.02
南足柄市	16,290	42,641	2.62	16,242	43,052	2.65	48	△ 411	△ 0.03
綾瀬市	33,899	84,309	2.49	33,525	84,483	2.52	374	△ 174	△ 0.03
三浦郡葉山町	12,604	31,986	2.54	12,574	32,065	2.55	30	△ 79	△ 0.01
高座郡寒川町	19,150	48,089	2.51	18,890	48,015	2.54	260	74	△ 0.03
中郡	23,700	59,521	2.51	23,582	59,816	2.54	118	△ 295	△ 0.03
大磯町	12,425	31,431	2.53	12,333	31,479	2.55	92	△ 48	△ 0.02
二宮町	11,275	28,090	2.49	11,249	28,337	2.52	26	△ 247	△ 0.03
足柄上郡	24,383	65,123	2.67	24,126	65,367	2.71	257	△ 244	△ 0.04
中井町	3,395	9,580	2.82	3,364	9,608	2.86	31	△ 28	△ 0.04
大井町	6,253	16,891	2.70	6,220	16,988	2.73	33	△ 97	△ 0.03
松田町	4,447	10,993	2.47	4,402	11,076	2.52	45	△ 83	△ 0.05
山北町	3,858	10,296	2.67	3,879	10,544	2.72	△ 21	△ 248	△ 0.05
開成町	6,430	17,363	2.70	6,261	17,151	2.74	169	212	△ 0.04
足柄下郡	19,954	43,218	2.17	19,845	43,605	2.20	109	△ 387	△ 0.03
箱根町	6,141	11,562	1.88	6,027	11,600	1.92	114	△ 38	△ 0.04
真鶴町	3,059	7,109	2.32	3,062	7,245	2.37	△ 3	△ 136	△ 0.05
湯河原町	10,754	24,547	2.28	10,756	24,760	2.3	△ 2	△ 213	△ 0.02
愛甲郡	17,422	43,178	2.48	17,270	43,449	2.52	152	△ 271	△ 0.04
愛川町	16,279	40,012	2.46	16,149	40,263	2.49	130	△ 251	△ 0.03
清川村	1,143	3,166	2.77	1,121	3,186	2.84	22	△ 20	△ 0.07

(3) 神奈川県立病院一覧



地方独立行政法人神奈川県立病院機構県立病院

- ① 足柄上病院 (松田町)
- ② こども医療センター (横浜市南区)
- ③ 精神医療センター (横浜市港南区)
- ④ がんセンター (横浜市旭区)
- ⑤ 循環器呼吸器病センター (横浜市金沢区)

神奈川県健康医療局所管の
県立病院(指定管理施設)

- ⑥ 神奈川リハビリテーション病院 (厚木市)

足柄上地域医療関係施設数
(平成30年4月1日現在)

	病院	診療所	歯科診療所
南足柄市	2	25	18
中井町	1	8	5
大井町	1	9	7
松田町	1	9	7
山北町	0	6	3
開成町	1	20	10
総数	6	77	50

2 沿革等

(1) 沿革

昭和 20 年 10 月	日本医療団の設置(松田町惣領1191番地の 1 元旅館の建物を改造)
昭和 23 年 4 月	日本医療団設置の医療施設を同医療団解散に伴い県に移管
昭和 25 年 3 月	松田町惣領 315 番地に移転・新築
〃 4 月	県立足柄上病院として一般病床 22 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 44 床をもって発足
昭和 27 年 3 月	第 1・第 2 病棟を新築、一般病床 43 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 65 床
昭和 37 年 12 月	松田町松田惣領 866 番地の 1 (現在地)に移転・新築(本館 2 階建) 病床数 80 床をもって開院
昭和 39 年 8 月	救急指定病院
昭和 41 年 3 月	2 号館病棟を増築。一般病床 120 床、伝染・結核病床 20 床、 病床数 140 床
昭和 48 年 12 月	3 号館完成
昭和 50 年 1 月	総合病院として、稼動病床数 180 床をもって運営を開始
〃 5 月	3 号館 4 階西病棟 30 床を開床。稼動病床数 210 床
昭和 51 年 4 月	伝染病棟 10 床を開床。稼動病床数 220 床
昭和 52 年 1 月	3 号館 5 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 260 床
昭和 53 年 5 月	3 号館 2 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 300 床
平成元年 12 月	1 号館完成
平成 3 年 4 月	3 号館 3 階南病棟 40 床を開床。稼動病床数 340 床
平成 7 年 11 月	エイズの中心的受入病院
平成 10 年 3 月	災害拠点病院指定
平成 11 年 4 月	第二種感染症指定医療機関指定。感染症病床 4 床減、 稼動病床数 336 床
〃 10 月	一般病床 30 床休床。稼動病床数 306 床
平成 13 年 3 月	新 3 号館完成
平成 15 年 2 月	駐車場完成
〃 11 月	臨床研修病院の指定
平成 17 年 4 月	リハビリテーション特例病床 40 床を廃止。稼動病床数 296 床
〃 8 月	病院機能評価(Ver・4)の認定
平成 20 年 4 月	一般病床 32 床休床。稼動病床数 264 床
平成 22 年 4 月	地方独立行政法人神奈川県立病院機構に移行
平成 28 年 10 月	3 号館 4 階 4 B 病棟 41 床を地域包括ケア病棟として開始
平成 29 年 12 月	3 号館 3 階 3 A 病棟地域包括ケア病棟 60 床、4 B 32 床休床

(2) 各種学会認定状況

認定・指定内容	指定年月日	認定施設番号
日本整形外科学会認定医制度研修施設	昭和58年 4月 11日	第 0025号
日本眼科学会専門医制度研修施設	昭和59年 4月 1日	第 3917号
日本麻酔科学会認定病院	昭和60年 4月 24日	第 369号
日本泌尿器科学会専門医教育施設	昭和62年 1月 30日	第860278号
日本内科学会認定医教育関連病院	平成17年 7月 23日	第 992号
日本外科学会外科専門医制度修練施設	平成18年 1月 1日	第140119号
日本消化器外科学会専門医修練施設	平成18年 1月 1日	第14050号
日本消化器病学会専門医制度認定施設	平成18年 1月 1日	第14072号
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	平成18年 5月 1日	第 1213号
日本がん治療認定機構認定研修施設	平成19年11月 1日	第 20423号
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	平成20年 4月 1日	第 1242号
日本神経学会専門医制度准教育施設	平成21年 4月 1日	第6188-0号
日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設	平成22年 1月 1日	第3041-02号
日本高血圧学会専門医認定施設	平成22年 4月 1日	第 0385号
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	平成24年12月 1日	第20120014号

(3) 承認事項等

昭和26年 1月 1日	生活保護法医療機関指定
10月 9日	結核予防法医療機関指定
昭和37年12月 1日	基準給食承認(食第174号)
	基準寝具設備承認(寝第85号)
	健保、国保、保健医療機関指定(足上医第50号)
昭和38年 1月 1日	基準看護承認特2(病看87号)
昭和39年 8月 7日	救急病院指定(特2)
昭和41年11月11日	養育医療機関指定
昭和45年 4月 1日	原子爆弾被爆者等健康診断委託契約
昭和49年10月 1日	基準看護承認(特2変更)
昭和50年 4月 1日	総合病院の名称使用承認
昭和51年 4月 1日	助産施設設置承認
昭和54年 7月 1日	運動療法等の施設基準に係わる承認(運第39号)
昭和56年 8月 1日	重症者看護及び重症者の収容の基準実施承認(重収第3号)
昭和63年 4月 1日	基準看護承認 特3(棟看13号)

平成元年 9 月 1 日	基準看護承認（特 3 変更） 優生保護法第 1 4 条による指定医師の指定
平成 3 年 4 月 1 日	基準看護承認（特 2 変更） 一般病棟 4 0 床増床 重症者の収容の実施施設基準（内容の変更） 個室 1 3 床 2 人室 2 床
平成 3 年 12 月 1 日	作業療法の実施承認（作第 4 8 号）
平成 4 年 1 月 1 日	投薬の実施承認（薬第 1 9 号）
平成 4 年 4 月 1 日	基準看護承認（内容変更） 特 3 類 7 病棟、特 2 類 1 病棟（3 南病棟）
平成 6 年 10 月 1 日	新看護の届出
平成 7 年 11 月 16 日	エイズの中心的受入病院
平成 11 年 4 月 1 日	第二種感染症指定医療機関指定
平成 13 年 3 月 13 日	診療用放射性同位元素設置届
平成 15 年 3 月	I S O 1 4 0 0 1 認証取得
平成 15 年 11 月 19 日	臨床研修病院指定
平成 17 年 8 月	病院機能評価の認定
平成 22 年 4 月 1 日	地方独立行政法人神奈川県立病院機構への移行 開設許可 保険医療機関指定（足上医第 1 5 0 号） 労災保険指定医療機関指定（1 4 1 0 1 8 1 号） 救急病院等の指定 災害医療拠点病院の指定 自立支援医療機関（育成医療、更生医療、精神通院医療）指定 D P C 対象病院に認定
平成 25 年 2 月 6 日	神奈川 D M A T 指定病院の指定

施設基準届出項目一覧

平成30年3月31日現在

【基本診療料の施設基準】

一般病棟入院基本料7対1
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算2
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
医療安全対策加算1
感染防止対策加算1 / 地域連携加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
総合評価加算
病棟薬剤業務実施加算1
データ提出加算2イ
退院支援加算1
精神疾患診療体制加算
ハイケアユニット入院医療管理料1
地域包括ケア病棟入院料1

【特掲診療料の施設基準】

ウイルス疾患指導料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
糖尿病合併症管理料	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
がん性疼痛緩和指導管理料	体外衝撃波胆石破砕術
がん患者指導管理料1	体外衝撃波膀胱石破砕術
がん患者指導管理料2	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
院内トリアージ実施料	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
ニコチン依存症管理料	医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術(胃瘻造設術、経皮的内視鏡下及び腹腔鏡下胃瘻造設術)
肝炎インターフェロン治療計画料	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
薬剤管理指導料	輸血管理料2
在宅療養後方支援病院	輸血適正使用加算
検体検査管理加算(Ⅰ)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
検体検査管理加算(Ⅳ)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
時間内歩行試験	麻酔管理料(Ⅰ)
ヘッドアップティルト試験	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作成
神経学的検査	
CT透視下気管支鏡検査加算	
CT撮影及びMRI撮影	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	
外来化学療法加算1	
無菌製剤処理料	
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	
認知療法・認知行動療法2	
乳がんセンチネルリンパ節加算2	

【その他の施設基準】

■入院時食事療養

入院時食事療養（Ⅰ）

■保険外併用療養費（選定療養）

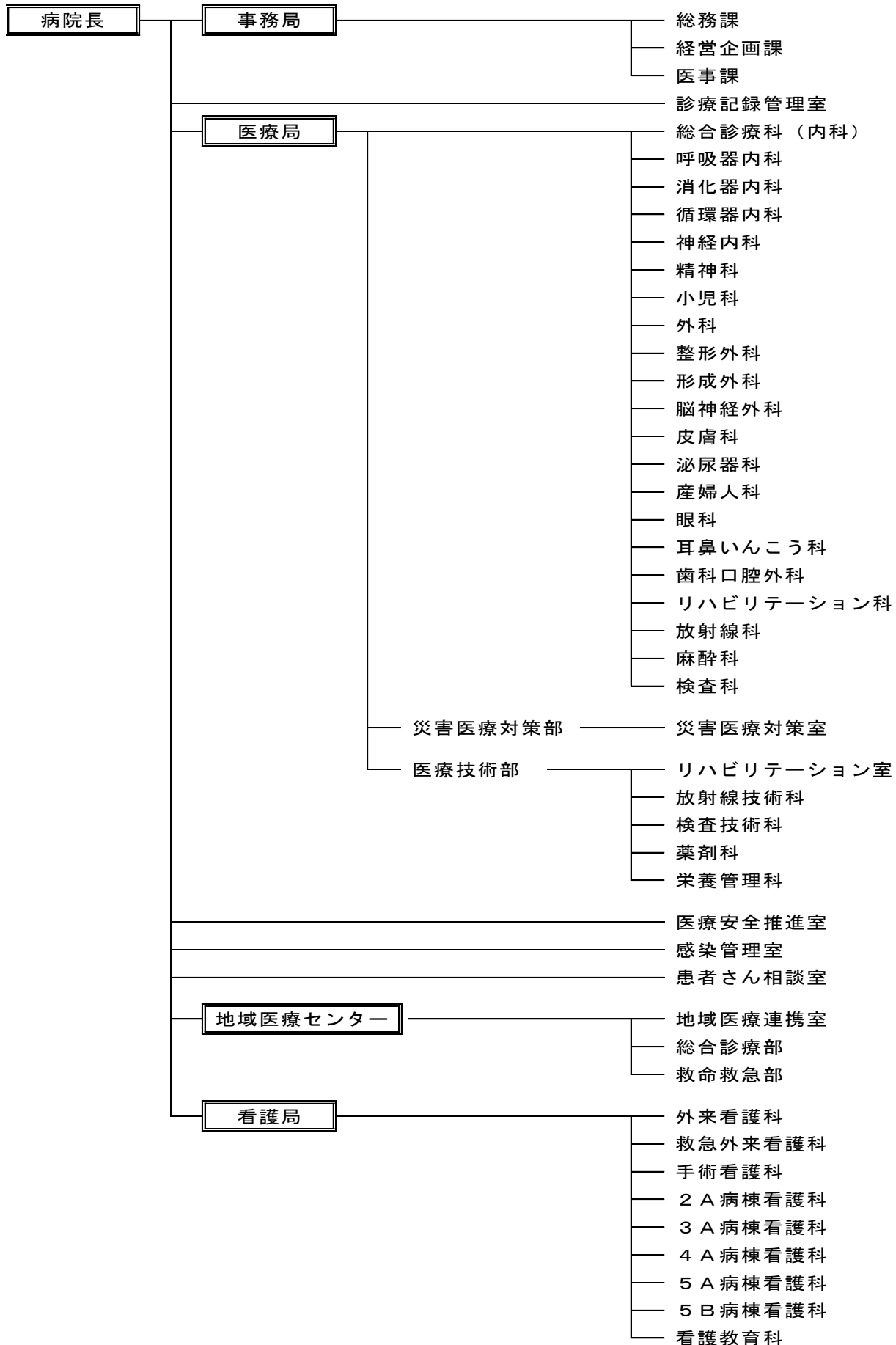
200床以上病院の未紹介患者の初診

特別の療養環境の提供（室料差額）

180日を超える入院の特定療養費

3 機 構

(1) 組 織



(2) 職種別配置表

平成30年4月1日現在

職 種 組 織		総 数	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	薬 剤 師	診 療 放 射 線 職	臨 床 検 査 技 師	栄 養 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 職	看 護 職	看 護 補 助	電 話 交 換 職	自 動 車 運 転 員	病 棟 技 能 職
病 院 長		1			1												
副 院 長 (兼 医 療 局 長)		1			1												
副 院 長 (兼 看 護 局 長)		1											1				
事 務 局	事 務 局 長	1	1														
	副 事 務 局 長	1	1														
	総 務 課	6(2)	4(2)												1	1	
	経 営 企 画 課	7	7														
医 事 課		6(1)	6(1)														
医 療 局	総 合 診 療 科 (内 科)	5<1>			5<1>												
	呼 吸 器 内 科	1			1												
	消 化 器 内 科	6			6												
	循 環 器 内 科	4			4												
	神 経 内 科	1			1												
	精 神 科	0			0												
	小 児 科	1			1												
	外 科	5			5												
	整 形 外 科	6			6												
	形 成 外 科	0			0												
	脳 神 経 外 科	3			3												
	皮 膚 科	1			1												
	泌 尿 器 科	3			3												
	産 婦 人 科	0			0												
	眼 科	2			1							1					
	耳 鼻 い ん こ う 科	0			0												
	歯 科 口 腔 外 科	0			0												
	リハビリテーション科	0			0												
	放 射 線 科	0			0												
	麻 酔 科	2			2												
	検 査 科	1			1												
災害医療対策部																	
災害医療対策室		<1>			<1>												
局	医療技術部																
	リハビリテーション室	11<1>			<1>					9	2						
	放射線技術科	14					14										
	検査技術科	14(1)					14(1)										
	薬剤科	21				21											
栄養管理科		3							3								
医 療 安 全 推 進 室		1											1				
感 染 管 理 室		1											1				
患 者 さ ん 相 談 室		(1)		(1)													
地域医療センター																	
地 域 医 療 連 携 室		9(2)<1>		1(1)	<1>								8(1)				
総 合 診 療 部																	
救 命 救 急 部		1			1												
看 護 局	副 看 護 局 長	2											2				
	外 来	5(2)											5(2)				
	救 急 外 来	16(2)											16(2)				
	手 術 室	16(1)											16	(1)			
	病 棟	166(4)											161(2)	(2)			5
看 護 教 育 科		3<1>											3<1>				
そ の 他		16											16				
現 員 計		364(16)<5>	19(3)	1(2)	43<4>	21	14	14(1)	3	9	2	1	230(7)<1>	(3)	1	1	5
定 員		348	18	1	50	18	14	14	3	9	2	1	207	—	2	1	8

()は外数で契約職員

< >は外数で兼務職員

(3) 院内各種会議

病院の管理運営の円滑化を図るため、次の会議を設置している。

平成30年4月1日現在

	会議等の名称	会長・委員長等	事務局	構成員数	開催時期
1	幹部会議	病院長	総務課	12	毎週水曜日
2	運営会議	病院長	総務課	43	毎月第3木曜日
3	病棟運営会議	医師	医事課	15	随時
4	外来運営会議	医師	医事課	10	随時
5	診療報酬適正検討会議(兼コーディネイト委員会)	病院長	医事課	8	随時
6	診療録管理委員会	副院長	医事課	10	随時
7	倫理会議	副院長	総務課	9	随時
8	感染対策会議	病院長	感染管理室	16	毎月第4水曜日
9	HIV/AIDS委員会	医師	薬剤科	9	隔月
10	治験審査委員会	副院長	薬剤科	8	随時
11	受託研究審査会議	副院長	薬剤科	9	随時
12	災害医療対策会議	医師	総務課	17	随時
13	診療材料検討会議	病院長	経営企画課	9	随時
14	栄養管理会議	看護局長	栄養管理科	11	毎月第2火曜日
15	輸血療法委員会	医師	検査技術科	12	年6回
16	薬事検討会議	副院長	薬剤科	9	年4回
17	医療安全管理会議	医師	医療安全推進室	17	毎月第4水曜日
18	医療ガス安全管理会議	事務局長	経営企画課	15	随時
19	医療機器安全管理会議	事務局長	経営企画課	15	随時
20	リスクマネジメント会議	医師	医療安全推進室	18	毎月第3金曜日
21	臨床検査検討会議	医師	検査技術科	8	随時
22	手術室運営会議	医師	手術室	9	隔月
23	内視鏡運営会議	医師	救急外来	8	年4回
24	救命救急運営会議	医師	医事課	13	随時
25	クリニカルパス検討会議	医師	看護局・医事課	20	毎月第4月曜日
26	臨床研修委員会	副院長	総務課	10	随時
27	院内臨床研修管理委員会	副院長	総務課	12	随時
28	衛生委員会	事務局長	総務課	11	毎月第1月曜日
29	ボランティア調整会議	副事務局長	総務課	9+α	年4回
30	機種等選定会議	病院長	経営企画課	8	随時
31	電子カルテ運用調整会議	副院長	医事課	14	随時
32	放射線運営会議	医師	放射線技術科	7	随時
33	がん化学療法検討会議	医師	薬剤科	13	隔月
34	糖尿病対策会議	医師	看護局	17	5、9、2月第1火曜日
35	臨床・病理症例検討会	医師	検査技術科	4	随時
36	地域医療センター運営会議	医師	地域医療連携室	14	随時
37	院内助産運営委員会	病院長	副事務局長	3	随時
38	地域包括ケア病棟運営会議	医師	医事課	7	随時
39	褥瘡対策会議	医師	看護局	9	毎月
40	NST・摂食嚥下対策会議	医師	栄養管理科	9	5、9、12、3月第1金曜日
41	HCU運営会議	医師	医事課	3	随時
42	超音波検査検討会議	医師	検査技術科	9	随時
43	看護の日等記念行事実行委員会	事務局長	看護局	7	随時

4 平成29年度の職員の状況

(1) 年度当初現員数

部門	職種	平成27年度	28年度	29年度	(参考) 30年度
医 師	医師	47	45	42	43
看 護	看護師	214(5)	214(8)	211(7)	230(7)
	病棟技能職	6(2)	6(2)	5(2)	5
	看護補助	(1)	(1)	(1)	(3)
薬 剤	薬剤師	14	15	17	21
事 務	一般事務職	18	17	18	19(3)
給 食	栄養士	2	2	3	3
	調理職	—	—	—	—
放射線	診療放射線職	13	13	14	14
検 査	臨床検査技師	14(2)	14(2)	14(2)	15(1)
その他	福祉職	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)
	理学療法士	5	6	10	9
	作業療法士	2	2	2	2
	マッサージ師	—	—	—	—
	視能訓練士	1	1	1	1
	保育士	—	—	—	—
	自動車運転員	1	1	1	1
	電話交換職	1	1	1	1
		339(12) 計 351	338(15) 計 353	340(14) 354	365(16) 計 381

各年度当初(4月1日現在)の現員。()は契約職員で外数。

(2) 病床100床当りの部門別職員数

	平成27年度 (264床)		28年度 (264床)		29年度 (264床)		(参考) 30年度 (264床)	
	職員数	100床当 り職員数	職員数	100床当 り職員数	職員数	100床当 り職員数	職員数	100床当 り職員数
医 師	47	17.8	45	17	42	15.9	43	16.3
看護師	219	83	222	84.1	218	82.6	237	89.8
薬剤師	14	5.3	15	5.7	17	6.4	21	8.0
事務職	18	6.8	17	6.4	18	6.8	22	8.3
栄養士	2	0.8	2	0.8	3	1.1	3	1.1
放射線	13	4.9	13	4.9	14	5.3	14	5.3
検 査	16	6.1	16	6.1	15	5.7	15	5.7
その他	22	8.3	23	8.7	26	9.8	25	9.5
総 数	351	133	353	133.7	353	133.7	380	143.9

- (注) 1. 職員数は、年度当初(4月1日現在)現員であり、契約職員を含む。
2. 「病床100床当りの職員数」の算定の基準となる病床数は、稼動病床数を利用した。
なお、年度内に稼動病床数の変動が生じた場合には、年度末の病床数を用いた。

(3) 部門別1人1日平均取扱患者数

	平成27年度			平成28年度				平成29年度			
	入院	外来 (243日)	計	入院	外来 (243日)	計	対前年度比 (%)	入院	外来 (244日)	計	対前年度比 (%)
患者延数	74,061	140,184	214,245	73,371	134,719	208,090	※△6,155人	74,812	128,681	203,493	※△4,597人
医 師	4.3	12.3	16.6	4.5	12.3	16.8	101.2	4.9	12.6	17.5	104.2
看護師	0.9	2.6	3.5	0.9	2.5	3.4	97.1	0.9	2.4	3.3	97.1
薬剤師	14.5	41.2	55.7	13.4	37	50.4	90.5	12.1	31	43.1	85.5
事務職	11.3	32	43.3	11.8	32.6	44.4	102.5	11.4	29.3	40.7	91.7
栄養士	101.5	—	101.5	100.2	—	100.2	98.7	68.3	—	68.3	68.2
全職員	0.6	1.6	2.2	0.6	1.6	2.2	100.0	0.6	1.5	2.1	95.5

注1) ※は前年度との増減数を記載

注2) ()は外来診療日数

注3) 平成28年度は閏年のため366日

$$(注) \text{ 1人1日平均取扱患者数 入院} = \frac{\text{入院患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{365} \text{ 注3)}$$

$$\text{外来} = \frac{\text{外来患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{\text{外来診療日数}}$$

5 診療体制

(1) 開設の許可・承認等

平成30年4月1日

区 分		内 容	
開 設 年 月 日		昭和25年4月1日 (独立行政法人化後の病院開設許可 平成22年4月1日)	
診 療 科 目		総合診療科（内科）、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、 循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、歯科口腔外科	
病 床 数	一 般	(許可) 290床	(稼動) 258床
	感 染 症	6床	6床
	計	296床	264床
一般病棟入院基本料		7対1入院基本料	
特定入院料		ハイケアユニット入院医療管理料、地域包括ケア病棟入院料	
業 務 内 容		1. 患者の診察（助産を含む）及び看護 2. 健康相談及び保健衛生指導 3. 検査の受託	
指定医療機関の種類		健保、国保、生保、結核、労災、養育、育成、更生、原爆、救急、精神、 公害	

(2) 診療体制

平成30年4月1日

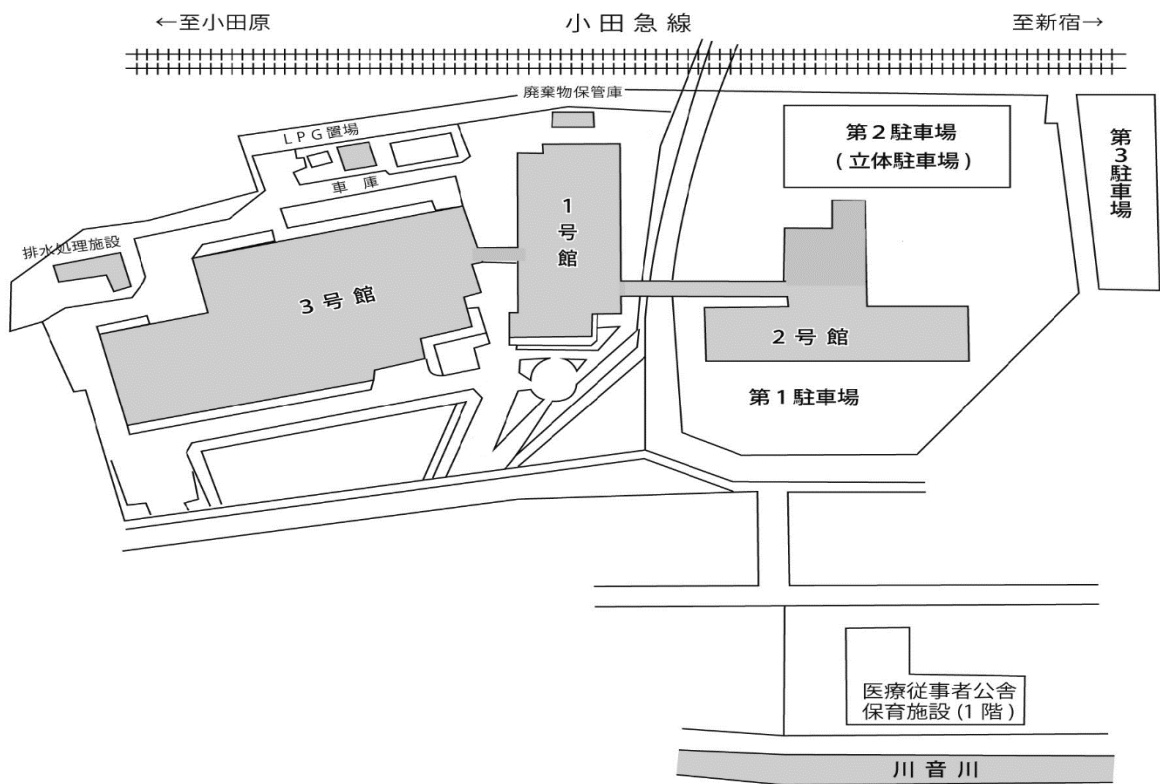
区 分		内 容
診 療 の 基 準		県立病院における診療は、健康保険法第72条に定める診療の基準に従って行なっている。
診 療 の 受 付 時 間 等	診療の受付時間	新 患 午前8時30分～午前11時まで（平日） 再来患者 午前7時30分～午前11時まで（平日） （自動再診受付機で受付）
	休 診 日	1. 国民の祝日に関する法律に規定する休日 2. 土曜日及び日曜日 3. 1月2日、同月3日及び12月29日～同月31日まで
	急 患 受 付	24時間の当直体制をとっている。
面 会 時 間		一般病棟 14時～19時30分（土・日・祝日は13時～） 小児病棟 14時～20時00分（土・日・祝日は11時～）
特 別 入 院 施 設 の 提 供		区 分
		個室B
		個室C
		個室D
		個室E
		2人室
		室 料
		9,700円
		8,800円
		8,100円
		7,600円
		3,500円
		（1日につき）
		6床
		1床
		7床
		1床
		2床

(3) 使用料及び手数料（中期計画第7）

区分	種 別		単 価
使 用 料	一般診療・労災診療・公害健康被害診療 医療観察診療		地方独立行政法人神奈川県立病院機構 中期計画第7 料金に関する規定による
	自動車損害診療		健康保険診療費等に1.5を乗じて得た額
	分べん	時間内 (()内多胎加算)	180,000(90,000)円
	の介助	時間外・休日等 (//)	216,000(108,000)円
	初診特定療養費		1,620円
	新生児の保育		800円
	新生児被服の貸与		400円
	えな、その他出産に伴う産あい物の処理		2,000円
手 数 料	診断書	普 通 診 断 書	1,700円
		身体障害者診断書・意見書	5,000円
		自 賠 責 診 断 書	5,000円
	証明書	通 院 証 明 書	1,150円
		家族療養費支給証明書	1,700円
		自賠責診療費明細書	3,300円
	死 亡 診 断 書		3,400円
	診 察 券 の 再 交 付		150円

6. 配置図

土地（平成30年 4 月 1 日現在）



建物断面図（平成30年4月1日現在）

	3号館		1号館	2号館
5 階	5A病棟	5B病棟	病院長室 事務局長室 副院長室 副院長兼看護局長室 総務課・経営企画課 医局 看護局	
4 階	4A病棟	4B病棟(休床) 医療安全推進室長室 医療安全推進室 感染管理室 言語訓練室	内視鏡室 生理検査室	
3 階	3A病棟	地域医療連携室 作業療法室 (足柄上医師会) 足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター	外来 外来化学療法室 栄養指導室 患者さん相談室 地域医療センター	外来ナースステーション 薬剤科分室 研修医医局
2 階	2A病棟(救急・HCU) 手術室		外来 中央処置室	リハビリテーション科 講義室・研修室
1 階	1A病棟 放射線科(X線・CT・MRI・血管造影) 検体検査室 輸血検査室 解剖室 入退院支援センター 機能訓練室 緊急処置室 救急受付 売店		総合案内 総合受付 医事課 薬局	病理検査室 細菌検査室 診療情報管理室 図書室 食堂
地 階	中央監視室 栄養管理科 厨房 放射線科(RI・リニアック) 機械室 電気室 洗浄滅菌室 物品供給室		カルテ庫 空調機械室	

7 施設の概況

(1) 土 地

科目	所 在 地	用 途	面 積
土 地	足柄上郡松田町松田惣領 866番地の1 ほか1筆	2号館、立体駐車場	7,230.72㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 1030番地の2 ほか42筆	1号館、3号館	8,984.02㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 875番地 ほか2筆	医療従事者公舎敷地	2,851.86㎡
	計		19,066.60㎡

(2) 建 物

科目	所 在 地		構 造	面 積
建 物	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	1号館	S R C 地下1階 地上5階	5,343.35㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	2号館	R C 地上3階	3,402.99㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	3号館	S R C 地下1階 地上5階	15,093.72㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領875・882・883番地	医療従事者公舎 (預かり施設併設)	R C 地上6階	6,014.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	立体駐車場	S 地上1階	1,725.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	連絡棟	R C 地上3階	170.04㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1ほか	その他付帯施設		379.94㎡
	計 (19棟)			32,129.04㎡

(3) 設 備

ア 衛生設備

(ア) 給水設備	受水槽	250m ³	1基
	高架水槽	16m ³	1基
	〃 (井水)	21m ³	1基
	〃	5m ³	2基
(イ) 給湯施設	給湯槽	4,500 ℓ (2・3号館)	2基
	〃	1,500 ℓ (1号館)	2基
(ウ) 排水設備	厨房排水処理		1基
	感染排水処理		1基
	R I 排水処理		1基
(エ) 医療ガス設備	酸素、笑気、窒素、吸引、空気 (液酸タンク256.5m ³)		
	医療用コンプレッサー		2基
	エアードライヤー		2基

イ 機械設備

(ア) 熱源設備	炉筒煙管ボイラー2.5トン (常用圧力0.78MPa) 伝熱面積29.5m ²	2基
(イ) 熱交換設備	445.12kW・0.149m ³	2基
(ウ) 冷房設備	水冷チーリングユニット冷凍機能力 348kW フロンガスR22 (3号館24時間系統)	2基
(エ) 冷暖房設備	吸収式冷温水発生機 (冷房1196.0kW・暖房1045.0kW (2・3号館))	2基
〃	ヒートポンプチラー冷凍能力191,000kcal/h (1号館) フロンガスR22	2基
(オ) 空調設備	空調機 (エアハンドリングユニット)	41台
	パッケージ型空調機	80台
	ファンコイル	556台
(カ) オイルタンク (灯油) 1号館 (48,000ℓ) 3号館 (112,000ℓ)		

ウ 防災設備

(ア) 警報設備	自動火災報知機	88回線
	ガス漏れ感知器	45回線
	防火戸・防煙・排煙・防火ダンパ	98回線
(イ) 消火設備	屋内消火栓設備	
	スプリンクラー設備 (1・2号館全館、3号館全館)	
	二酸化炭素消火設備 (変電室・コンピュータールーム)	
(ウ) 防火監視設備	中央監視室、管理当直室、総務課事務室に設置	
(エ) 防火用井戸	水中ポンプ250ℓ/分 (受水槽 12m ³)	

エ 電気設備

(ア) 受変電設備	受電方式	3相3線式 6.6KV	1回線
	契約電力	1,202KW	
(イ) 自家発電設備	3相6.6KV	750KVA	1台
	3相6.6KV	1250KVA	1台
	3相6.6KV	500KVA (保守用)	1台
(ウ) 蓄電池設備	据置シール鉛蓄電池	54セル 100Ah (1号館用)	
(エ) 幹線設備	動力3相3線		
	〃	210V (蓄熱動力、X線、医療用、コンピュータ)	
	〃	210V (動力用)	
	単相3線210V/105V	(電灯用)	
(オ) 弱電設備			
放送設備	業務放送、防災放送兼用型		
ナースコール	壁掛ボード型同時通話兼交互通話式		

オ 主な備付医療機器等 (1,000 万円以上)

設置箇所	名称	会社名	機種	数量
放射線技術科	デジタルX線TVシステム ①	東芝	ZEXIRA/DREX-ZX80	1式
	R I 体外測定装置 (ガンマカメラ) ②	シーメンス	Symbia E	1式
	乳房X線撮影装置 ③	G E	Senographe Pristina	1式
	多目的X線透視撮影装置	日立メディコ	Versi Flex VISTA	1式
	コンピュータ画像処理装置 ④	富士	CALNEO U.MT	1式
	血管撮影装置 ⑤	シーメンス	Artis Zee BA PURE	1式
	磁気共鳴断層撮影装置 ⑥	シーメンス	MAGNETOM Skyra	1式
	全身用 CT 撮影装置 ⑦	フィリップス	Brilliance iCT SP	1式
	骨密度測定装置 ⑧	ホロジック	Discovery HORIZON	1式
手術室	眼科用手術顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI VISU160	1式
	手術用顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	超音波白内障手術装置	日本アルコン	インフィニティ	1式
	手術用ナビゲーションシステム	ストライカー	NAV3i	1式
内視鏡室	内視鏡用超音波観測装置	オリンパス	EU-ME2、GF-UCT260	1式
検査技術科	心臓用超音波診断装置	フィリップス	iE33	1式
眼科外来	マルチカラーレーザー光凝固装置	日本ルミナス	ノーバスヴァリア	1式

①デジタルX線TVシステム ZEXIRA/DREX-ZX80



検出面サイズ43×43cmのFPD(Flat Panel Detector X線平面検出器)を搭載している。半切サイズを含む大きな領域での透視・撮影が可能であるため、泌尿器および大腸全体などを容易に観察することができる。

②RI体外測定装置 ガンマカメラE-CAM



ガンマカメラはガンマ線を放出する少量の放射性医薬品を利用し、体内臓器や組織の生化学的機能の変化をコンピュータにより画像化し診断する。脳血流の測定や狭心症の判定など全身を非侵襲的に検査が行える。

③乳房X線撮影装置 Senographe Pristina



量子検出効率が高いフラットパネルの使用により低線量で検査できる装置である。加えて感度と特異度を向上させるトモシンセス機能も備えている。撮影の操作性が向上したことにより、検査時間が短縮された。

④コンピュータ画像処理装置 CALNEO U.M.T



CALNEOシステムはFPDを搭載したデジタルラジオグラフィ装置で、診断目的に合わせた画像処理や画像の保管、画像の再出力などが容易に行え、被爆軽減にも役立つ。

⑤血管撮影装置 Artis Zee BA PURE



X線検出器(フラットパネルディテクタ:FPD)を搭載している。画像解像度が高く、診断・治療の精度向上が期待される。パイプラインによる2方向の同時撮影が可能で、被ばく線量の低減に貢献している。搭載されている様々なアプリケーションは各科の検査手技の補助に有効活用されている。

⑥磁気共鳴断層撮影装置 MAGNETOM Skyra(3テスラ)



磁気共鳴断層装置(MRI装置)は、放射線を一切使用せずに、強力な磁石と電波を用いて人体の様々な情報を画像化、解析が可能な画像診断装置である。また、高磁場3テスラMRI装置なので、より高精細で組織内部の識別能が高く、様々な部位の検査や疾患の診断に大変有用である。

⑦全身用CT撮影装置 Brilliance iCT SP、64列128スライス



新型CT装置は、従来に比べ非常に細かく検査でき、64列128スライスで1ミリ程度の微細病変も検出可能となり、更に同時3方向表示による観察ができる。短時間検査とX線量の低減を実現し、更なる診断能力の向上を目指すことを目標にしている。検査した画像は瞬時に画像配信により外来や病棟にてモニター画像で確認でき、検査後に必要な部位を3次元画像に再構成する機能も幅広く活用できるようになっている。

⑧骨密度測定装置 Discovery HORIZON



骨粗しょう症の診断及び治療効果判定の精度に優れているDEXA法を用いた装置である。体位変換することなく腰椎側面の検査ができる機能も有しており、患者さんに負担の少ない検査が可能となっている。

第2章 経理の状況

(1) 収益・費用の構成

収益構成（単位％）

年度

27	入院収益 59.0	外来収益 23.4	その他医業収益 2.1		営業外収益・臨時利益 2.4	
			その他営業収益 13.1			
28	入院収益 60.1	外来収益 23.0	その他医業収益 1.9		営業外収益・臨時利益 2.1	
			その他営業収益 12.9			
29	入院収益 59.7	外来収益 22.2	その他医業収益 1.6		営業外収益・臨時利益 1.9	
			その他営業収益 14.6			

費用構成（単位％）

年度

27	給与費 53.4	材料費 17.3	営業外費用・臨時損失 2.1	
			その他営業費用 27.2	
28	給与費 55.7	材料費 17.9	営業外費用・臨時損失 1.9	
			その他営業費用 24.5	
29	給与費 56.2	材料費 18.0	営業外費用・臨時損失 1.6	
			その他営業費用 24.2	

(2) 収 益

(単位:円)

年度 区分 項 目		27年度		28年度		29年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
収 益 構 成	営業収益	5,874,890,335	97.6%	5,815,356,466	97.9%	5,930,679,651	98.1%
	医業収益	5,089,417,557	84.5%	5,047,591,020	85.0%	5,051,585,479	83.5%
	入院収益	3,554,635,136	59.0%	3,568,854,304	60.1%	3,609,335,622	59.7%
	外来収益	1,408,373,528	23.4%	1,363,517,071	23.0%	1,342,926,769	22.2%
	その他医業収益	126,408,893	2.1%	115,219,645	1.9%	99,323,088	1.6%
	運営費負担金収益	745,395,000	12.4%	736,848,000	12.4%	849,746,000	14.1%
	補助金等収益	16,820,000	0.3%	12,620,000	0.2%	12,749,000	0.2%
	資産見返戻入	23,191,307	0.4%	18,297,446	0.3%	16,199,172	0.3%
	寄附金収益	66,471	0.0%	0	0.0%	400,000	0.0%
	営業外収益	144,623,299	2.4%	125,320,802	2.1%	116,713,036	1.9%
	運営費負担金収益	84,168,000	1.4%	76,774,000	1.3%	69,188,000	1.1%
	不用品売却益	414,839	0.0%	56,922	0.0%	716,514	0.0%
	受取利息及び配当金	5,297	0.0%	242	0.0%	217	0.0%
	雑 益	60,035,163	1.0%	48,489,638	0.8%	46,808,305	0.8%
	臨時利益	519,711	0.0%	269,303	0.0%	0	0.0%
計		6,020,033,345	100.0%	5,940,946,571	100.0%	6,047,392,687	100.0%

(3) 費 用

(単位:円)

年度 区分 項 目		27年度		28年度		29年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
費 用 構 成	営業費用	6,763,758,115	97.9%	6,752,956,103	98.1%	6,619,596,848	98.4%
	医業費用	6,557,035,533	94.9%	6,547,379,667	95.1%	6,410,164,788	95.3%
	給与費	3,688,081,291	53.4%	3,834,141,444	55.7%	3,781,793,359	56.2%
	材料費	1,193,084,596	17.3%	1,233,777,853	17.9%	1,208,282,441	18.0%
	経 費	1,024,776,620	14.8%	981,075,269	14.3%	1,026,626,328	15.3%
	減価償却費	633,304,220	9.2%	480,290,502	7.0%	379,059,765	5.6%
	研究研修費	17,788,806	0.3%	18,094,599	0.3%	14,402,895	0.2%
	寄附金支出	61,584	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	控除対象外消費税	206,660,998	3.0%	205,576,436	3.0%	209,432,060	3.1%
	営業外費用	127,256,911	1.8%	116,223,329	1.7%	104,839,483	1.6%
	支払利息	127,212,154	1.8%	116,223,329	1.7%	104,839,483	1.6%
	雑支出	44,757	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時損失	19,013,298	0.3%	12,841,900	0.2%	4,351,897	0.1%
	計	6,910,028,324	100.0%	6,882,021,332	100.0%	6,728,788,228	100.0%
材 料 費 内 訳	薬品費	652,691,668	54.7%	647,908,629	52.5%	625,620,146	51.8%
	診療材料費	488,508,762	40.9%	531,466,346	43.1%	522,274,862	43.2%
	たな卸資産減耗費	3,484,537	0.3%	2,965,793	0.2%	1,820,502	0.2%
	給食材料費	45,159,469	3.8%	45,840,090	3.7%	47,779,337	4.0%
	医療消耗備品費	3,240,160	0.3%	5,596,995	0.5%	10,787,594	0.9%
収益費用差額		△ 889,994,979	-	△ 941,074,761	-	△ 681,395,541	-

(4)経営分析状況

(単位：円、%)

年度 区分 項目		27年度		28年度		29年度	
		金額等	前年比(%)	金額等	前年比(%)	金額等	前年比(%)
損益額		△ 889,994,979	437.3	△ 941,074,761	105.7	△ 681,395,541	72.4
患者一人当たり	医業収益	23,755	99.2	24,257	102.1	24,824	102.3
	入院収益	47,996	97.4	48,641	101.3	48,245	99.2
	外来収益	10,047	106.4	10,121	100.7	10,436	103.1
	医業費用	30,605	101.5	31,464	102.8	31,501	100.1
	材料費	5,569	99.7	5,929	106.5	5,938	100.1
	薬品費	3,046	109.4	3,114	102.2	3,074	98.7
	診材費	2,280	89.0	2,554	112.0	2,567	100.5
	経費	4,783	101.7	4,715	98.6	5,045	107.0
医業収益百円あたりにかかる費用	医業費用	128.8	102.3	129.7	100.7	126.9	97.8
	給与費	72.5	104.0	76.0	104.8	74.9	98.6
	材料費	23.4	100.4	24.4	104.3	23.9	97.9
	薬品費	12.8	110.2	12.8	100.1	12.4	96.5
	診材費	9.6	89.6	10.5	109.7	10.3	98.2
	経費	20.1	102.5	19.4	96.5	20.3	104.6
病床利用率（稼働）		76.6	97.6	76.1	99.3	77.6	102.0
平均通院日数（日）		3.8	103.9	3.8	99.3	3.8	100.0
平均在院日数（日）		12.5	103.3	13.3	106.4	14.4	108.3
延患者数	患者総数（人）	214,245	98.6	208,090	97.1	203,493	97.8
	入院患者数（人）	74,061	97.9	73,371	99.1	74,812	102.0
	外来患者数（人）	140,184	99.0	134,719	96.1	128,681	95.5

第3章 患者の概況

平成29年度

(1) 年齢別患者数

(単位：人：％)

年度	区分	合計	10歳未満		10歳以上 20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満	
			患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
27	入院	6,114	436	7.1	78	1.3	153	2.5	239	3.9	367	6.0
	外来	36,648	1,497	4.1	1,362	3.7	1,608	4.4	2,406	6.6	3,451	9.4
	計	42,762	1,933	4.5	1,440	3.4	1,761	4.1	2,645	6.2	3,818	8.9
28	入院	5,710	100	1.8	73	1.3	123	2.2	210	3.7	275	4.8
	外来	35,579	1,027	2.9	1,231	3.5	1,582	4.4	2,109	5.9	3,485	9.8
	計	41,289	1,127	2.7	1,304	3.2	1,705	4.1	2,319	5.6	3,760	9.1
29	入院	5,364	31	0.6	54	1.0	89	1.7	119	2.2	245	4.6
	外来	34,120	794	2.3	1,064	3.1	1,436	4.2	1,815	5.3	2,996	8.8
	計	39,484	825	2.1	1,118	2.8	1,525	3.9	1,934	4.9	3,241	8.2

年度	区分	50歳以上 60歳未満		60歳以上 70歳未満		70歳以上 80歳未満		80歳以上	
		患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
27	入院	371	7.7	954	19.7	1,628	33.6	1,888	39.0
	外来	3,668	13.9	6,793	25.8	8,855	33.6	7,008	26.6
	計	4,039	13.0	7,747	24.9	10,483	33.6	8,896	28.5
28	入院	412	7.2	959	16.8	1,687	29.5	1,871	32.8
	外来	3,571	10.0	6,512	18.3	8,849	24.9	7,213	20.3
	計	3,983	9.6	7,471	18.1	10,536	25.5	9,084	22.0
29	入院	388	7.2	884	16.5	1,553	29.0	2,001	37.3
	外来	3,490	10.2	6,106	17.9	8,773	25.7	7,646	22.4
	計	3,878	9.8	6,990	17.7	10,326	26.2	9,647	24.4

(2) 地域別患者数

入院

(単位：人：%)

	27		28		29	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	1,451	23.7	1,332	23.3	1,314	24.5
足柄上郡	2,879	47.1	2,701	47.3	2,518	46.9
中井町	94	1.5	97	1.7	69	1.3
大井町	745	12.2	709	12.4	590	11.0
松田町	708	11.6	636	11.1	633	11.8
山北町	686	11.2	631	11.1	602	11.2
開成町	646	10.6	628	11.0	624	11.6
1市5町計	4,330	70.8	4,033	70.6	3,832	71.4
秦野市	384	6.3	441	7.7	397	7.4
小田原市	972	15.9	831	14.6	832	15.5
その他	241	3.9	234	4.1	151	2.8
県内計	5,927	96.9	5,539	97.0	5,212	97.2
県外計	187	3.1	171	3.0	152	2.8
合計	6,114	100.0	5,710	100.0	5,364	100.0

外来

(単位：人：%)

	27		28		29	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	8,227	22.4	7,858	22.1	7,532	22.1
足柄上郡	18,955	51.7	18,139	51.0	17,307	50.7
中井町	495	1.4	539	1.5	445	1.3
大井町	4,822	13.2	4,524	12.7	4,306	12.6
松田町	5,254	14.3	5,157	14.5	4,811	14.1
山北町	3,853	10.5	3,568	10.0	3,477	10.2
開成町	4,531	12.4	4,351	12.2	4,268	12.5
1市5町計	27,182	74.2	25,997	73.1	24,839	72.8
秦野市	2,373	6.5	2,580	7.3	2,441	7.2
小田原市	4,789	13.1	4,661	13.1	4,777	14.0
その他	1,308	3.6	1,376	3.9	1,172	3.4
県内計	35,652	97.3	34,614	97.3	33,229	97.4
県外計	996	2.7	965	2.7	891	2.6
合計	36,648	100.0	35,579	100.0	34,120	100.0

(3) 診療科別患者数

入院

(単位：人：％)

	27			28			29		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	28,820	78.7	38.9	30,013	82.2	40.9	30,754	84.3	41.1
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
神経内科	2,771	7.6	3.7	2,810	7.7	3.8	3,263	8.9	4.4
循環器科	7,526	20.6	10.2	7,219	19.8	9.8	7,240	19.8	9.7
小児科	858	2.3	1.2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
外科	9,165	25.0	12.4	8,709	23.9	11.9	6,592	18.1	8.8
整形外科	13,713	37.5	18.5	14,710	40.3	20.0	16,341	44.8	21.8
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	5,213	14.2	7.0	4,561	12.5	6.2	5,374	14.7	7.2
皮膚科	805	2.2	1.1	556	1.5	0.8	503	1.4	0.7
泌尿器科	3,591	9.8	4.8	3,238	8.9	4.4	4,050	11.1	5.4
産婦人科	1,196	3.3	1.6	1,180	3.2	1.6	333	0.9	0.4
眼科	403	1.1	0.5	375	1.0	0.5	362	1.0	0.5
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合計	74,061	202.4	100.0	73,371	201.0	100.0	74,812	205.0	100.0

外来

(単位：人：％)

	27			28			29		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	39,021	160.6	27.9	39,798	163.8	29.7	39,836	163.3	31.1
精神科	245	1.0	0.2	193	0.8	0.1	181	0.7	0.1
神経内科	5,760	23.7	4.1	5,115	21.0	3.8	5,584	22.9	4.4
循環器科	12,443	51.2	8.9	12,889	53.0	9.6	11,563	47.4	9.0
小児科	5,268	21.7	3.8	2,255	9.3	1.7	1,837	7.5	1.4
外科	13,308	54.8	9.5	12,344	50.8	9.2	10,613	43.5	8.3
整形外科	20,456	84.2	14.6	20,504	84.4	15.3	21,712	89.0	17.0
形成外科	215	0.9	0.2	279	1.1	0.2	175	0.7	0.1
脳神経外科	6,539	26.9	4.7	6,703	27.6	5.0	5,625	23.1	4.4
皮膚科	9,801	40.3	7.0	8,980	37.0	6.7	9,063	37.1	7.1
泌尿器科	12,185	50.1	8.7	12,786	52.6	9.5	12,379	50.7	9.7
産婦人科	6,474	26.6	4.6	5,051	20.8	3.8	3,265	13.4	2.6
眼科	3,564	14.7	2.6	3,110	12.8	2.3	2,869	11.8	2.2
耳鼻咽喉科	2,678	11.0	1.9	2,386	9.8	1.8	2,466	10.1	1.9
リハビリテーション科	444	1.8	0.3	269	1.1	0.2	309	1.3	0.2
放射線科	1,315	5.4	0.9	1,418	5.8	1.1	421	1.7	0.3
麻酔科	29	0.1	0.0	29	0.1	0.0	29	0.1	0.0
合計	139,745	575.1	100.0	134,109	551.9	100.0	127,927	524.3	100.0

歯科口腔外科	439	1.8	---	610	2.5	---	754	3.1	0.6
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況

平成27年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	28,820	78.7	1,158,810,378	40,209	39,021	160.6	506,546,866	12,981
精神科	0	0.0	200	---	245	1.0	1,116,369	4,557
神経内科	2,771	7.6	124,266,638	44,845	5,760	23.7	59,974,437	10,412
循環器科	7,526	20.6	473,772,748	62,951	12,443	51.2	147,847,375	11,882
小児科	858	2.3	34,376,580	40,066	5,268	21.7	58,362,350	11,079
外科	9,165	25.0	617,228,923	67,346	13,308	54.8	197,535,564	14,843
整形外科	13,713	37.5	631,766,251	46,071	20,456	84.2	148,151,040	7,242
形成外科	0	0.0	0	---	215	0.9	1,156,680	5,380
脳神経外科	5,213	14.2	267,183,857	51,253	6,539	26.9	59,218,564	9,056
皮膚科	805	2.2	25,035,868	31,100	9,801	40.3	20,978,913	2,140
泌尿器科	3,591	9.8	160,187,399	44,608	12,185	50.1	151,989,534	12,473
産婦人科	1,196	3.3	81,244,662	67,930	6,474	26.6	42,229,790	6,523
眼科	403	1.1	37,733,648	93,632	3,564	14.7	19,463,185	5,461
耳鼻咽喉科	0	0.0	24,000	---	2,678	11.0	12,224,133	4,565
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	444	1.8	939,520	2,116
放射線科	0	0.0	756,110	---	1,315	5.4	18,243,080	13,873
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	78,680	2,713
合 計	74,061	202.4	3,612,387,262	48,776	139,745	575.1	1,446,056,080	10,348

歯科口腔外科	439	1.8	1,552,400	3,536
--------	-----	-----	-----------	-------

平成28年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	30,013	82.2	1,225,709,199	40,839	39,798	163.8	533,694,997	13,410
精神科	0	0.0	1,700	---	193	0.8	885,360	4,587
神経内科	2,810	7.7	118,341,384	42,114	5,115	21.0	52,583,494	10,280
循環器科	7,219	19.8	451,078,315	62,485	12,889	53.0	148,973,715	11,558
小児科	0	0.0	1,025,060	---	2,255	9.3	34,528,090	15,312
外科	8,709	23.9	545,930,282	62,686	12,344	50.8	180,944,881	14,659
整形外科	14,710	40.3	753,326,710	51,212	20,504	84.4	153,235,968	7,473
形成外科	0	0.0	0	---	279	1.1	1,027,418	3,683
脳神経外科	4,561	12.5	236,161,682	51,778	6,703	27.6	53,303,690	7,952
皮膚科	556	1.5	17,088,436	30,735	8,980	37.0	19,473,950	2,169
泌尿器科	3,238	8.9	148,198,132	45,768	12,786	52.6	157,513,269	12,319
産婦人科	1,180	3.2	70,703,490	59,918	5,051	20.8	33,797,840	6,691
眼科	375	1.0	29,022,164	77,392	3,110	12.8	17,334,968	5,574
耳鼻咽喉科	0	0.0	6,560	---	2,386	9.8	10,529,280	4,413
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	269	1.1	446,930	1,661
放射線科	0	0.0	1,084,440	---	1,418	5.8	17,339,565	12,228
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	51,840	1,788
合 計	73,371	201.0	3,597,677,554	49,034	134,109	551.9	1,415,665,255	10,556

歯科口腔外科	610	2.5	2,415,380	3,960
--------	-----	-----	-----------	-------

平成29年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	30,754	84.3	1,231,937,046	40,058	39,836	163.3	538,572,713	13,520
精神科	0	0.0	0	---	181	0.7	996,269	5,504
神経内科	3,263	8.9	125,916,488	38,589	5,584	22.9	61,734,090	11,056
循環器科	7,240	19.8	407,050,851	56,222	11,563	47.4	122,535,375	10,597
小児科	0	0.0	421,520	---	1,837	7.5	39,811,080	21,672
外科	6,592	18.1	420,982,755	63,863	10,613	43.5	168,873,231	15,912
整形外科	16,341	44.8	921,140,765	56,370	21,712	89.0	173,575,170	7,994
形成外科	0	0.0	0	---	175	0.7	661,264	3,779
脳神経外科	5,374	14.7	252,043,630	46,901	5,625	23.1	43,805,203	7,788
皮膚科	503	1.4	15,544,179	30,903	9,063	37.1	17,660,238	1,949
泌尿器科	4,050	11.1	196,659,472	48,558	12,379	50.7	148,652,135	12,008
産婦人科	333	0.9	21,883,770	65,717	3,265	13.4	20,070,720	6,147
眼科	362	1.0	27,738,570	76,626	2,869	11.8	14,872,708	5,184
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,466	10.1	10,779,530	4,371
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	309	1.3	554,530	1,795
放射線科	0	0.0	136,200	---	421	1.7	7,448,070	17,691
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	55,570	1,916
合 計	74,812	205.0	3,621,455,246	48,407	127,927	524.3	1,370,657,896	10,714

歯科口腔外科	754	3.1	3,919,800	5,199
--------	-----	-----	-----------	-------

(5) 診療科別月別患者数

入院患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
総合診療科	2,318	77.3	39.4	2,534	81.7	39.5	2,466	82.2	41.6	2,489	80.3	39.0	2,824	91.1	45.1	2,389	79.6	39.6
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
神経内科	292	9.7	5.0	296	9.5	4.6	327	10.9	5.5	454	14.6	7.1	231	7.5	3.7	211	7.0	3.5
循環器科	617	20.6	10.5	665	21.5	10.4	385	12.8	6.5	518	16.7	8.1	397	12.8	6.3	574	19.1	9.5
小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
外科	718	23.9	12.2	571	18.4	8.9	462	15.4	7.8	590	19.0	9.3	653	21.1	10.4	690	23.0	11.4
整形外科	1,069	35.6	18.1	1,310	42.3	20.4	1,360	45.3	23.0	1,502	48.5	23.6	1,360	43.9	21.7	1,279	42.6	21.2
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	471	15.7	8.0	549	17.7	8.6	350	11.7	5.9	315	10.2	4.9	423	13.6	6.8	403	13.4	6.7
皮膚科	49	1.6	0.8	92	3.0	1.4	93	3.1	1.6	25	0.8	0.4	31	1.0	0.5	16	0.5	0.3
泌尿器科	256	8.5	4.3	339	10.9	5.3	390	13.0	6.6	439	14.2	6.9	304	9.8	4.9	419	14.0	6.9
産婦人科	64	2.1	1.1	25	0.8	0.4	45	1.5	0.8	8	0.3	0.1	15	0.5	0.2	10	0.3	0.2
眼科	36	1.2	0.6	27	0.9	0.4	44	1.5	0.7	36	1.2	0.6	20	0.6	0.3	40	1.3	0.7
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
リハビリ科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合 計	5,890	196.3	100.0	6,408	206.7	100.0	5,922	197.4	100.0	6,376	205.7	100.0	6,258	201.9	100.0	6,031	201.0	100.0

外来患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
総合診療科	3,089	154.5	30.4	3,275	163.8	30.1	3,340	151.8	30.1	3,428	171.4	31.1	3,452	156.9	30.5	3,277	163.9	30.6
精神科	17	0.9	0.2	11	0.6	0.1	12	0.5	0.1	17	0.9	0.2	16	0.7	0.1	13	0.7	0.1
神経内科	460	23.0	4.5	484	24.2	4.4	477	21.7	4.3	450	22.5	4.1	463	21.0	4.1	504	25.2	4.7
循環器科	981	49.1	9.6	1,000	50.0	9.2	979	44.5	8.8	972	48.6	8.8	926	42.1	8.2	959	48.0	8.9
小児科	164	8.2	1.6	135	6.8	1.2	171	7.8	1.5	124	6.2	1.1	197	9.0	1.7	156	7.8	1.5
外科	877	43.9	8.6	917	45.9	8.4	887	40.3	8.0	934	46.7	8.5	988	44.9	8.7	913	45.7	8.5
整形外科	1,475	73.8	14.5	1,819	91.0	16.7	1,925	87.5	17.4	1,994	99.7	18.1	2,046	93.0	18.1	1,825	91.3	17.0
形成外科	17	0.9	0.2	20	1.0	0.2	19	0.9	0.2	10	0.5	0.1	12	0.5	0.1	13	0.7	0.1
脳神経外科	540	27.0	5.3	545	27.3	5.0	475	21.6	4.3	470	23.5	4.3	482	21.9	4.3	449	22.5	4.2
皮膚科	680	34.0	6.7	793	39.7	7.3	834	37.9	7.5	853	42.7	7.7	904	41.1	8.0	810	40.5	7.6
泌尿器科	1,013	50.7	10.0	1,036	51.8	9.5	1,127	51.2	10.2	1,017	50.9	9.2	1,048	47.6	9.3	1,093	54.7	10.2
産婦人科	264	13.2	2.6	292	14.6	2.7	265	12.0	2.4	252	12.6	2.3	265	12.0	2.3	254	12.7	2.4
眼科	248	12.4	2.4	253	12.7	2.3	259	11.8	2.3	265	13.3	2.4	239	10.9	2.1	244	12.2	2.3
耳鼻咽喉科	242	12.1	2.4	188	9.4	1.7	232	10.5	2.1	193	9.7	1.8	216	9.8	1.9	172	8.6	1.6
リハビリ科	30	1.5	0.3	18	0.9	0.2	36	1.6	0.3	28	1.4	0.3	29	1.3	0.3	13	0.7	0.1
放射線科	71	3.6	0.7	95	4.8	0.9	42	1.9	0.4	18	0.9	0.2	26	1.2	0.2	23	1.2	0.2
麻酔科	2	0.1	0.0	1	0.1	0.0	3	0.1	0.0	3	0.2	0.0	3	0.1	0.0	2	0.1	0.0
合 計	10,170	508.5	100.0	10,882	544.1	100.0	11,083	503.8	100.0	11,028	551.4	100.0	11,312	514.2	100.0	10,720	536.0	100.0

歯科口腔外科	50	2.3	0.5	43	2.0	0.4	69	3.1	0.6	80	4.0	0.7	52	2.4	0.5	47	2.4	0.4
--------	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
2,290	73.9	36.6	2,464	82.1	39.5	2,652	85.5	42.5	2,977	96.0	45.8	2,472	88.3	40.4	2,879	92.9	43.7	30,754	84.0	41.1
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
220	7.1	3.5	227	7.6	3.6	150	4.8	2.4	264	8.5	4.1	305	10.9	5.0	286	9.2	4.3	3,263	8.9	4.4
536	17.3	8.6	569	19.0	9.1	716	23.1	11.5	880	28.4	13.5	701	25.0	11.5	682	22.0	10.4	7,240	19.8	9.7
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
573	18.5	9.2	599	20.0	9.6	508	16.4	8.1	384	12.4	5.9	400	14.3	6.5	444	14.3	6.7	6,592	18.0	8.8
1,566	50.5	25.0	1,394	46.5	22.4	1,340	43.2	21.5	1,332	43.0	20.5	1,383	49.4	22.6	1,446	46.6	22.0	16,341	44.6	21.8
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
480	15.5	7.7	564	18.8	9.0	462	14.9	7.4	416	13.4	6.4	495	17.7	8.1	446	14.4	6.8	5,374	14.7	7.2
29	0.9	0.5	53	1.8	0.9	5	0.2	0.1	20	0.6	0.3	30	1.1	0.5	60	1.9	0.9	503	1.4	0.7
503	16.2	8.0	323	10.8	5.2	341	11.0	5.5	186	6.0	2.9	259	9.3	4.2	291	9.4	4.4	4,050	11.1	5.4
31	1.0	0.5	20	0.7	0.3	41	1.3	0.7	15	0.5	0.2	43	1.5	0.7	16	0.5	0.2	333	0.9	0.4
33	1.1	0.5	20	0.7	0.3	25	0.8	0.4	21	0.7	0.3	27	1.0	0.4	33	1.1	0.5	362	1.0	0.5
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
6,261	202.0	100.0	6,233	207.8	100.0	6,240	201.3	100.0	6,495	209.5	100.0	6,115	218.4	100.0	6,583	212.4	100.0	74,812	204.4	100.0

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
3,435	163.6	31.0	3,290	164.5	31.5	3,322	166.1	31.4	3,323	174.9	32.3	3,139	165.2	33.0	3,466	165.0	32.1	39,836	163.3	31.1
21	1.0	0.2	15	0.8	0.1	16	0.8	0.2	17	0.9	0.2	19	1.0	0.2	7	0.3	0.1	181	0.7	0.1
428	20.4	3.9	474	23.7	4.5	513	25.7	4.8	447	23.5	4.3	431	22.7	4.5	453	21.6	4.2	5,584	22.9	4.4
1,047	49.9	9.4	897	44.9	8.6	966	48.3	9.1	950	50.0	9.2	891	46.9	9.4	995	47.4	9.2	11,563	47.4	9.0
144	6.9	1.3	136	6.8	1.3	154	7.7	1.5	151	7.9	1.5	147	7.7	1.5	158	7.5	1.5	1,837	7.5	1.4
921	43.9	8.3	867	43.4	8.3	817	40.9	7.7	839	44.2	8.1	769	40.5	8.1	884	42.1	8.2	10,613	43.5	8.3
1,842	87.7	16.6	1,784	89.2	17.1	1,786	89.3	16.9	1,786	94.0	17.3	1,558	82.0	16.4	1,872	89.1	17.3	21,712	89.0	17.0
10	0.5	0.1	21	1.1	0.2	13	0.7	0.1	8	0.4	0.1	16	0.8	0.2	16	0.8	0.1	175	0.7	0.1
444	21.1	4.0	423	21.2	4.1	467	23.4	4.4	426	22.4	4.1	420	22.1	4.4	484	23.0	4.5	5,625	23.1	4.4
815	38.8	7.3	736	36.8	7.1	714	35.7	6.7	725	38.2	7.0	560	29.5	5.9	639	30.4	5.9	9,063	37.1	7.1
1,149	54.7	10.4	1,002	50.1	9.6	1,039	52.0	9.8	911	47.9	8.8	898	47.3	9.4	1,046	49.8	9.7	12,379	50.7	9.7
283	13.5	2.6	296	14.8	2.8	289	14.5	2.7	255	13.4	2.5	251	13.2	2.6	299	14.2	2.8	3,265	13.4	2.6
270	12.9	2.4	237	11.9	2.3	225	11.3	2.1	225	11.8	2.2	180	9.5	1.9	224	10.7	2.1	2,869	11.8	2.2
241	11.5	2.2	198	9.9	1.9	208	10.4	2.0	195	10.3	1.9	178	9.4	1.9	203	9.7	1.9	2,466	10.1	1.9
17	0.8	0.2	32	1.6	0.3	27	1.4	0.3	25	1.3	0.2	27	1.4	0.3	27	1.3	0.2	309	1.3	0.2
26	1.2	0.2	23	1.2	0.2	24	1.2	0.2	19	1.0	0.2	27	1.4	0.3	27	1.3	0.2	421	1.7	0.3
1	0.0	0.0	2	0.1	0.0	5	0.3	0.0	1	0.1	0.0	4	0.2	0.0	2	0.1	0.0	29	0.1	0.0
11,094	528.3	100.0	10,433	521.7	100.0	10,585	529.3	100.0	10,303	542.3	100.0	9,515	500.8	100.0	10,802	514.4	100.0	127,927	524.3	100.0

93	4.4	0.8	68	3.4	0.7	66	3.3	0.6	76	4.0	0.7	64	3.4	0.7	46	2.2	0.4	754	3.1	0.6
----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----

(6) 病棟別患者数の状況

	病床数	平成27年度		平成28年度		平成29年度					
		患者延数	利用率	患者延数	利用率	患者延数 (4～11月)	利用率	患者延数 (12～3月)	利用率	患者延数 (年累計)	利用率
1A	6	2	0.1	6	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2A	42 (46)	12,302	80.0	12,111	79.0	8,597	83.9	4,418	79.4	13,015	82.3
3A	37 (60)	5,294	39.1	2,597	19.2	246	2.7	4,671	64.3	4,917	30.2
3B	32 (0)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4A	46 (60)	11,316	67.2	14,538	86.6	9,885	88.1	5,608	77.2	15,493	83.8
4B	41 (0)	13,791	91.9	12,886	86.1	9,142	91.4	0	0.0	9,142	91.4
5A	46	15,707	93.3	15,713	93.6	10,796	96.2	5,338	95.9	16,134	96.1
5B	46	15,649	92.9	15,520	92.4	10,713	95.4	5,398	97.0	16,111	96.0
合計	296 (264)	74,061	76.6	73,371	76.1	49,379	76.7	25,433	79.6	74,812	77.6

() 内は平成29年度12月以降の病床数。なお、3B病棟については平成20年度以降の病床数となっている。

利用率は稼働病床数により算定

(7) 稼働状況

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		一般	感染症	計	一般	感染症	計	一般	感染症	計
条例病床数 A		290	6	296	290	6	296	290	6	296
実稼働病床数 B		258	6	264	258	6	264	258	6	264
入院患者	患者延数 C	74,059	2	74,061	73,365	6	73,371	74,812	0	74,812
	前年度からの繰越入院患者数 D	184	0	184	186	0	186	165	0	165
	当年度内新入院患者数 E	5,931	0	5,931	5,523	3	5,526	5,200	0	5,200
	当年度内退院患者数 F	5,926	1	5,927	5,544	3	5,547	5,174	0	5,174
	病床利用率 (条例) $\frac{C}{A \times \text{診療日数}} \times 100$	70.0%	0.1%	68.5%	69.3%	0.3%	67.9%	70.7%	0.0%	69.2%
	稼働利用率 (稼働) $\frac{C}{B \times \text{診療日数}} \times 100$	78.6%	0.1%	76.9%	77.9%	0.3%	76.1%	79.4%	0.0%	77.6%
	平均在院日数 $\frac{C}{1/2(E+F)}$ G	12.5	4.0	12.5	13.3	2.0	13.3	14.4	—	14.4
外来患者	病床回転数 $\frac{\text{暦日}}{G}$	29.2	91.3	29.3	27.4	182.5	27.4	25.3	—	25.4
	患者実数 H	—	—	36,648	—	—	35,579	—	—	34,120
	患者延数 I	—	—	140,184	—	—	134,719	—	—	128,681
	平均通院日数 (I/H)	—	—	3.8	—	—	3.8	—	—	3.8
入院外来患者数比率 (I/C)		—	—	1.89	—	—	1.84	—	—	1.72

(8) 救急患者取扱状況

年度	区分	来院区分				内訳		対前年比(%)	
		時間内	時間外	休日	計	交通事故	その他	交通事故	その他
27	患者延数	3,134	2,465	3,600	9,199	326	8,873	91.6	82.0
	(うち入院数)	1,034	733	795	2,562	20	2,542	－	－
	月平均患者数	261	205	300	767	27	739	－	－
28	患者延数	3,000	2,505	3,244	8,749	288	8,461	88.3	95.4
	(うち入院数)	1,026	656	739	2,421	16	2,405	－	－
	月平均患者数	250	209	270	729	24	705	－	－
29	患者延数	2,910	2,260	3,431	8,601	307	8,294	106.6	98.0
	(うち入院数)	996	567	751	2,314	21	2,293	－	－
	月平均患者数	243	188	286	717	26	691	－	－

(9) 年度別に見た診療科別救急患者

年度	内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	合計
27	4,350	100	1,315	226	830	1,214	508	117	281	246	7	5	0	9,199
28	4,118	99	1,254	85	555	1,580	452	109	327	164	6	0	0	8,749
29	3,899	188	1,257	68	345	1,792	527	102	334	82	4	2	1	8,601

(10) 年度別に見た事由別救急患者

年度	急病	交通事故	一般事故	分娩	その他	合計
27	6,639	326	1,480	191	563	9,199
28	6,129	288	1,787	131	414	8,749
29	5,864	307	1,885	53	492	8,601

(11) 患者死亡件数

区分 診療科	退院患者数			患者死亡件数					
	27年度	28年度	29年度	27年度		28年度		29年度	
				死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)
総合診療科	2,281	2,321	2,128	181	7.9	202	8.7	174	8.2
精神科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
神経内科	121	112	135	3	2.5	5	4.5	9	6.7
循環器科	609	619	540	25	4.1	32	5.2	41	7.6
小児科	425	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外科	830	781	574	31	3.7	38	4.9	48	8.4
整形外科	533	632	741	1	0.2	1	0.2	1	0.1
形成外科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
脳神経外科	308	277	269	17	5.5	13	4.7	6	2.2
皮膚科	55	33	38	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌尿器科	463	460	583	1	0.2	2	0.4	4	0.7
産婦人科	170	184	45	0	0.0	0	0.0	0	0.0
眼科	132	128	121	0	0.0	0	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
放射線科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻酔科	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歯科口腔外科	0	0	0	0	---	0	0.0	0	0.0
合計	5,927	5,547	5,174	259	4.4	293	5.3	283	5.5

(注) 割合 = $\frac{\text{死亡件数}}{\text{退院患者数}} \times 100$

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務

(1) 病棟別栄養アセスメント結果

管理栄養士が入院指示連絡票及び栄養管理リスクアセスメントに基づき、病棟及びベッドサイド訪問等を行うなど入院患者さんの栄養状況を把握し、栄養管理計画書を作成、栄養アセスメントを行い、栄養障害リスクのレベル分けを行いました。

病棟別栄養アセスメント結果(中高リスクのみ)

〔人数〕

年度	高リスク	中リスク	中高リスク合計	2A	3A	4A	4B	5A	5B
27	327	1,979	2,306	386		334	354	669	563
28	481	2,926	3,407	546		765	420	814	862
29	411	1,939	2,350	473	135	392	246	543	561

(2) 栄養サポートチーム(NST)カンファレンス及び回診の実施状況

NST医師を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師により、中高リスク者のうちNST対象者についてカンファレンスおよび回診を行い、安全で効率的な栄養計画を主治医に提案しました。

年度	実施回数	延対象者数(人)	病棟別延対象者数	2A	3A	4A	4B	5A	5B
27	52回 (週1回)	65	人	13	0	12	7	21	12
			(%)	20	0	18	11	33	18
28	49回 (週1回)	136	人	39	0	8	41	46	2
			(%)	29	0	6	30	34	1
29	51回 (週1回)	46	人	23	0	8	4	7	4
			(%)	50	0	17	9	15	9

(3) 入院前の栄養評価

入院を予定している患者さんに、入院前、外来において管理栄養士が患者さんの食事摂取に関して、栄養状態の評価を実施しました。

期 間	件 数
平成28年4月～平成29年3月	1,588件
平成29年4月～平成30年3月	1,697件

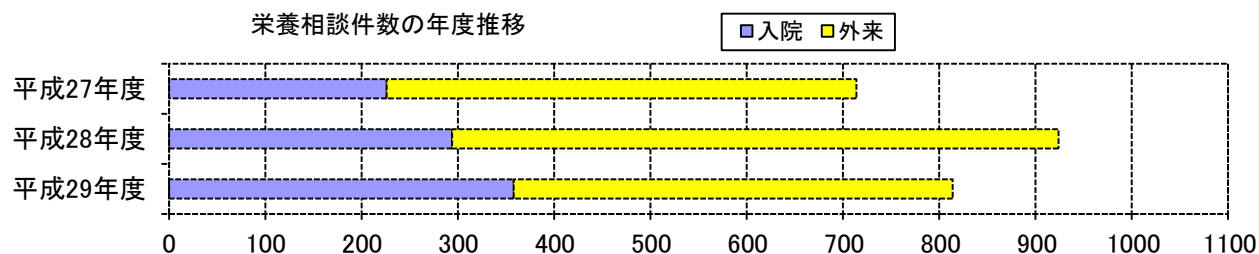
(4) 栄養相談

ア 栄養相談件数と人数の年度推移

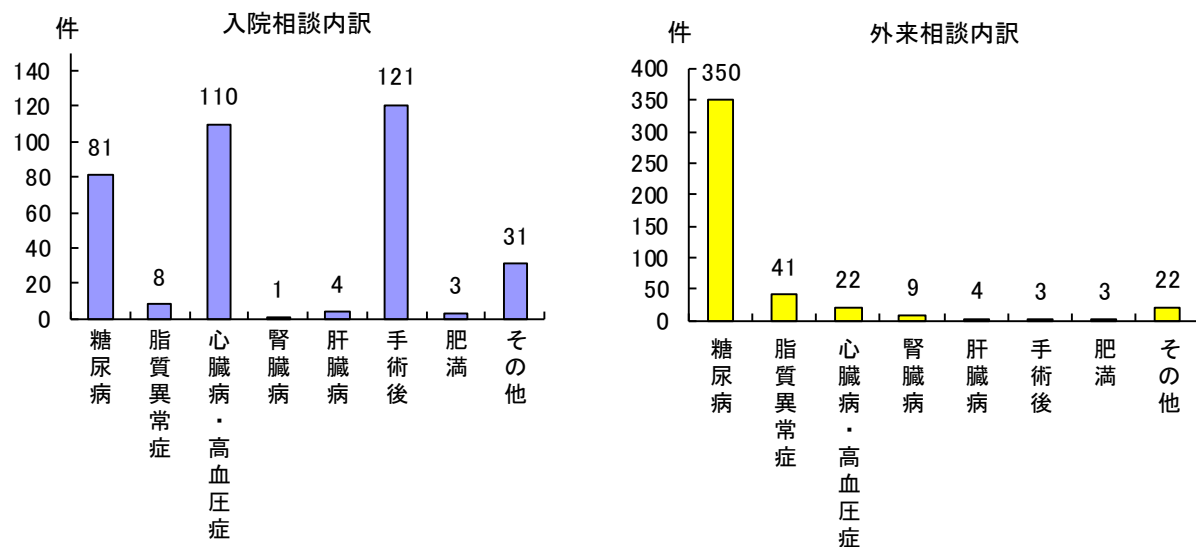
管理栄養士が、医師の指示により入院患者及び外来患者に栄養相談を行いました。

年度	入 院		外 来		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
27	226	336	488	599	714	935
28	294	443	629	708	923	1,151
29	359	501	454	542	813	1,043

栄養相談件数の年度推移



イ 平成29年度相談件数の内訳

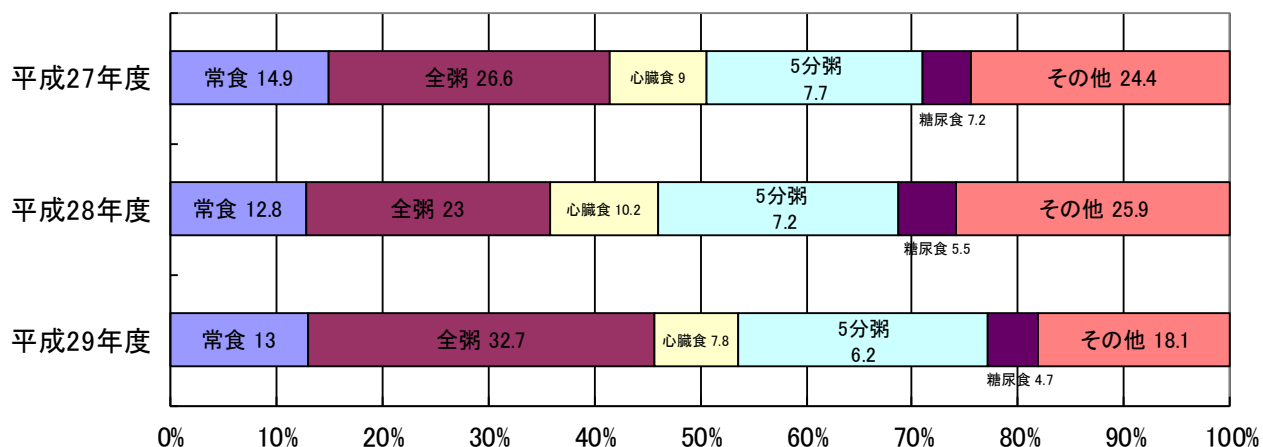


(5) 給食実施状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般食		112,635	103,814	127,056
	常食	26,396	22,101	23,317
	*全粥	46,974	39,781	58,541
	*5分粥	36,114	38,932	42,443
	3分粥	1,547	1,406	1,062
	流動	1,604	1,594	1,693
特別食		60,391	65,452	48,520
	特別食加算	40,125	41,757	31,740
	潰瘍食	5,116	7,111	4,094
	肝臓食	1,681	2,858	1,824
	糖尿食	8,316	9,512	8,537
	脾臓食	29	75	66
	腎臓食	1,632	1,923	1,604
	ネフローゼ食	0	0	0
	心臓食	15,927	17,693	13,953
	検査食	368	238	207
	濃厚流動食	0	0	0
	貧血食	7,056	2,347	1,455
	特別食非加算	20,266	23,695	16,780
	高血圧食	6,689	9,439	4,226
	離乳食	1	0	1
	濃厚流動食	6,641	7,689	7,067
	その他	6,935	6,567	5,486
患者食合計 A		173,026	169,266	175,576
検査及び保存食 B		3,294	3,285	3,285
総合計 A + B		176,320	172,551	178,861

*嚥下訓練食を含む

(6) 食種別構成比率



(7) ランチ講習会

栄養教室【健康づくりのためのおいしく楽しいランチ講習会】の実施。

高齢者及び生活習慣病患者とその家族に対して、栄養バランス等の目的に応じた食事を摂って、健康・栄養に関する理解と正しい知識の習得を図ってもらうための講習会を行ないました。

- 平成 29年 5月23日 ：テーマ「おいしい低カロリーランチ」
 8月22日 ：テーマ「秋におすすめ健康増進の食事」
 11月28日 ：テーマ「減塩食」
 平成 30年 2月27日 ：テーマ「糖尿病スペシャル食」

2 手 術

(1) 総手術件数

年度	総件数	外科	整形外科	産婦人科	泌尿器科	脳外科	眼科	形成外科	皮膚科	耳鼻科	その他
平成27年	1,607	512	443	7	313	137	137	15	1	0	42
平成28年	1,517	391	522	4	322	117	125	9	1	0	26
平成29年	1,714	357	668	0	434	115	129	5	2	0	4

(2) 麻酔別手術件数

麻酔種類 \ 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
全身麻酔	全身麻酔のみ	712	767	881
	＋硬・脊・伝	147	154	160
	小計	859	921	1,041
局所麻酔	脊椎麻酔	203	149	147
	脊椎＋硬膜外麻酔	3	4	0
	浸潤麻酔	542	443	526
	小計	748	596	673
総計		1,607	1,517	1,714
麻酔科管理手術件数		1,065	1,074	1,188

(3) 分娩件数

区分	死産	帝王切開	鉗子	吸引	横位	骨盤位	多胎	正常分娩	院内助産（再掲）	合計
平成27年度	0	7	0	3	0	0	0	137	126	147
平成28年度	0	4	0	2	0	0	0	105	97	111
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	44	44	44

*死産は22週以降を計上

*横位、骨盤位、多胎、その他のうち帝王切開による分娩件数は、帝王切開に計上している。

*多胎は平成17年度以降取り扱いなし。

(4) 各診療科手術件数（各診療科集計）

手術名	年度	27	28	29	手術名	年度	27	28	29
外科					股関節形成術			1	0
食道癌		1	0	1	膝関節				
胃癌（腹腔鏡）		21(3)	31(9)	26(0)	人工関節全置換術		25	38	47
胃十二指腸潰瘍		9	6	6	人工膝関節単顆置換術				4
胃腸吻合、バイパス		4	3	0	人工関節再置換術		1	2	1
結腸癌（腹腔鏡）		47(23)	41(20)	42(5)	鏡視下半月板切除		1	0	0
大腸・直腸腫瘍		0	3	4	鏡視下滑膜切除術			3	0
結腸切除（穿孔・捻転）		14	9	5	脛骨骨切り術		0	0	7
腸閉塞（腹腔鏡）		21(11)	9(1)	15(0)	肩関節				
直腸癌（腹腔鏡）		15(7)	15(8)	11(2)	人工関節、		0	4	1
人工肛門造設・閉鎖		44	30	16	人工骨頭置換術				
小腸潰瘍、小腸切除		15	11	8	関節授動術			1	0
肝腫瘍		6	8	2	足関節				
胆道癌		0	0	1	関節形成術・固定術			1	1
胆石症・胆嚢ポリープ		53(46)	43(33)	50(28)	手関節・肘関節				
（腹腔鏡）					関節形成術・固定術				1
総胆管結石		1	2	0	靱 帯				
膵癌、十二指腸癌		2	1	0	骨盤骨折			2	1
脾摘		1	6	0	大腿骨頸部		16	18	21
肺癌		8	3	5	大腿骨転子部（髓内釘）		63	69	73
気胸、血胸、膿胸		9	3	1	骨幹部		1	6	4
縦隔腫瘍		0	0	0	顆 部		2	6	3
痔核 痔瘻		6	0	3	膝蓋骨骨折		5	11	8
直腸脱		1	0	1	下腿骨骨折				
虫垂炎（腹腔鏡）		53(41)	32(27)	27(22)	顆 部		15	7	6
乳癌		19	21	13	骨幹部		5	3	12
甲状腺、副甲状腺腫瘍		1	1	0	果 部		22	29	21
甲状腺癌		0	2	0	足部骨折				
動脈閉塞		0	0	0	足根部		3	4	5
静脈瘤		0	0	0	足 趾		3	2	6
腹壁癰瘍ヘルニア、臍ヘルニア		8	8	4	鎖骨骨折		11	12	10
鼠径ヘルニア成人（腹腔鏡）		87(72)	74(69)	79(62)	肩鎖関節脱臼		2	1	0
小児		5	0	0	肩甲骨骨折		0	0	1
大腿ヘルニア		0	0	1	肩関節脱臼		0	0	0
腹腔内腫瘍		0	1	2	上腕骨骨折				
試験開腹、ドレナージ		11	9	9	頸 部		7	16	14
気管切開		5	4	0	骨幹部		6	8	6
cvポート		34	26	15	顆 部		6	8	10
他 小手術		72	24	21	前 腕				
計		573	426	368	近位部（橈骨頭）		2	3	0
整形外科					近位部（肘頭）		7	7	6
脊椎脊髄外科					骨幹部		3	2	4
頸 椎					遠位部		16	22	40
前方固定術		1	0	0	手				
椎弓固定術		1	0	0	手根骨		0	0	1
椎弓形成術		2	4	5	手 指		13	16	17
腰 椎					手複合損傷				
椎弓形成		10	17	14	（骨折小腱断裂等）		0	0	1
椎弓切除術		0	0	1	その他				
LOVE		4	7	3	偽関節手術		3	2	2
PLF		2	1	5	手の外科、足の外科手術				
PLIF		3	5	7	手指腱切断、腱縫合術		2	5	5
T L I F		0	0	0	腱移行術・腱移植術				2
脊椎脊髄腫瘍		1	1	1	デュブイトレン		1	0	0
その他		0	0	1	拘縮腱剥離術		0	2	0
関節外科					腱鞘炎手術				
股関節					（パネ指、デケルパン）		13	11	11
人工関節置換術		22	24	55	その他				4
人工関節再置換術		1	1	5	末梢神経				
人工骨頭置換術		31	51	79	手根管症候群手術		9	9	14

手術名	年度	27	28	29	手術名	年度	27	28	29
肘部菅症候群手術		0	4	1	神経線維腫		1	0	3
神経剥離術				1	間葉系腫瘍		7	6	5
筋、腱					軟性線維腫		0	1	1
アキレス腱手術（観血術）		8	11	11	脂肪腫		1	1	1
軟部腫瘍手術					線維脂肪腫		2	1	1
良性軟部腫瘍手術		10	13	15	血管腫		2	1	1
骨腫瘍手術					毛細血管拡張性肉芽腫		1	1	1
良性骨腫瘍手術		3	0	4	血管平滑筋種		1	0	0
転移性骨腫瘍手術		0	0	0	Angiokeratoma		0	1	0
感染症手術					その他		2	0	1
化膿性関節炎手術		1	0	0	子宮内膜症		1	0	0
筋、軟部組織感染症手術		5	6	9	異物肉芽腫		0	0	1
切断術					口腔粘膜粘液嚢腫		1	0	0
下肢		4	2	5	悪性腫瘍切除術		5	6	4
その他（手指、足趾、 断端形成含む）		2	2	2	基底細胞癌		1	0	1
抜釘術		62	52	61	有棘細胞癌		0	2	1
異物除去		1	1	0	ボーエン病		2	2	1
その他（陥入爪、褥創など）		9	3	3	Eccrine porocarcinoma		0	0	1
計		446	536	658	皮膚生検術		25	26	20
脳神経外科					日光角化症		2	2	3
脳腫瘍摘出術（含脊髄、生検）					尋常性天疱瘡		0	1	0
原発性		5	4	6	水疱性類天疱瘡		2	3	1
転移性		1	0	0	血管炎		8	3	3
脳血管障害					転移性皮膚腫瘍		0	1	0
脳動脈瘤クリッピング術		7	4	6	中毒疹		2	0	1
脳動脈奇形摘出術		1	0	0	乳房外Paget病		0	1	0
脳内血腫除去術		3	1	1	悪性リンパ腫		1	8	2
脳室ドレナージ（脳室内出血）		3	0	0	薬疹		0	0	2
頭蓋内血管吻合術		0	1	0	Stevens-Johnson症候群		2	1	0
頭部外傷					非定型抗酸菌症		0	2	0
脳挫傷減圧開頭術及び 急性硬膜下血腫除去術		0	1	0	成人スチル病		0	2	0
慢性硬膜下血腫除去術		24	27	23	好酸球性筋膜炎		0	1	0
その他					Weber christian syndrome		0	1	0
水頭症手術		3	5	5	結節性紅斑		0	0	1
減圧開頭術		0	1	0	Sarcoidosis		0	1	1
脳室ドレナージ（出血以外）		2	0	0	その他		10	1	6
脊椎脊髄手術		152	96	52	植皮術		0	2	0
血管内手術		1	3	2	皮膚潰瘍植皮術		0	2	0
その他		5	4	7	冷凍凝固術		393	335	137
計		207	147	102	計		448	385	185
皮膚科					泌尿器科				
母斑切除術		2	0	5	腎、尿管				
色素性母斑		2	0	3	尿管全摘除術（ラパロ）		1	0	1
脂腺母斑		0	0	2	腎摘出術（ラパロ後）		0	0	4
皮膚良性腫瘍等切除術		23	16	19	ラパロ腹腔		0	0	1
上皮性腫瘍		13	10	10	経皮的腎瘻造設術		20	17	17
脂漏性角化症		2	1	4	尿管ステント留置術		68	106	67
表皮嚢腫		3	4	0	尿管ステント抜去術		30	95	40
石灰化上皮腫		4	1	2	尿管狭窄拡張術		3	0	0
エクリン汗孔腫		2	1	1	経尿道的尿管拡張術		4	0	0
毛包上皮腫		1	0	1	逆行性腎盂造影RP		43	78	40
Papilloma of the skin		1	1	0	順行性尿路造影AP		0	0	1
皮膚混合腫瘍		0	1	0	腎膿瘍穿刺ドレナージ			12	2
ケラトアカントーマ		0	0	1	経皮的腎のう胞穿術		2	4	2
乳頭adenoma		0	0	1	腎盂鏡				1
発疹性軟毛嚢腫		0	1	0	腹腔鏡下腎摘出		1	1	0
神経嚢起原性細胞性腫瘍		1	0	3	腹腔鏡下尿管全摘出術		3	0	0
					腹腔鏡下副腎摘出術		1	1	0

手術名	年度	27	28	29	手術名	年度	27	28	29
膀 胱					眼科				
膀胱鏡		18	24	38	(眼瞼)				
膀胱全摘			1	2	麦粒腫切開術				1
経皮的膀胱瘻造設術		7	4	1	マイボーム腺梗塞摘出術				1
回腸導管		1	2	1	マイボーム腺切開術				1
ネオブラッター				1	(結膜)				
経尿道的膀胱結石破砕術		6	5	7	結膜結石除去術				
膀胱切石術		1	0	0	1. 少数のもの	0	9	6	
経尿道的膀胱止血術		3	0	9	(1眼瞼ごと)				
(TUC)					(角膜、強膜)				
経尿道的膀胱切除術		47	46	66	顕微鏡下角膜抜糸術	1	3	0	
(TUR-BT)					角膜・強膜異物除去術	5	3	1	
膀胱頸部切開 (TUR-Bn)				4	(眼房、網膜)				
膀胱憩室焼灼術				1	網膜光凝固術				
前立腺					1 通常のもの	1	1	0	
経尿道的前立腺切除		36	32	55	2 その他特殊なもの	19	17	7	
(TUR-P)					(一連につき)				
ラパロ前立腺全摘				8	(水晶体、硝子体)				
前立腺全摘除術		8	3	4	水晶体再建術				
前立腺生検査		91	104	140	1 眼内レンズを	135	124	121	
尿 道					挿入する場合				
経尿道的尿道狭窄拡張 (b・d)		1	3	6	硝子体切除術	1	0	2	
尿管鏡下尿管結石破砕術 (f-TUL)			12		計	162	157	140	
尿管鏡下尿管生検			1						
回腸導管ステント留置			1						
カルンクル切除術				3					
陰 の う									
精巣固定術		1	0						
高位除辜術		0	2	3					
陰のう水瘤根治術		0	2	1					
精索水瘤根治術			1						
精囊静脈瘤高位結紮術		0	0						
腹腔鏡下高位結紮術		0	0						
陰のう水腫手術		4	0						
精巣摘出術		1	0						
精巣捻転整復術		1	0						
精管結紮術			2						
陰 茎									
背面切開				1					
環状切除術		2	0	2					
陰茎折症 (白膜縫合術)			1						
皮下膿瘍切開ドレナージ			2	10					
その他									
ESWL		15	27	37					
経膣生検				2					
その他			15						
計		419	604	578					
産婦人科									
腹式帝王切開		7	4	—					
その他		0	0	—					
計		7	4	—					

3 内視鏡

(1) 内視鏡検査件数

年度	上部消化管内視鏡	大腸内視鏡	小腸内視鏡	気管支鏡	EUS	ERCP
27	2,443	1,434	0	55	2	173
28	2,546	1,289	4	63	45	199
29	2,415	1,285	1	39	29	206

(2) 内視鏡処置件数

年度	上部EMR	上部ESD	大腸EMR	大腸ESD	止血術	EVL	EIS	食道ステント	食道バルーン拡張	胆道砕石	胆道ステント	APC	胃ろう造設	胃ろう交換
27	1	31	153	31	60	11	8	9	11	81	107	13	49	16
28	14	32	453	10	102	15	5	10	3	8	26	4	13	7
29	14	27	471	3	100	13	2	10	8	6	41	8	10	6

(3) 泌尿器科外来検査件数

区分	内視鏡			超音波							合計
年度	EF－膀胱尿道			残尿測定検査 (超音波検査による)		胸腹 (断層・心臓除く)		他 (断層・心臓除く)			
	外来	入院	小計	外来	入院	外来	入院	外来	入院	小計	
27	448	19	467	265	10	1,327	134	37	1	1,774	2,241
28	505	30	535	173	20	1,491	141	37	1	1,863	2,398
29	502	37	539	353	5	1,189	163	22	3	1,735	2,274

4 リハビリテーション科業務

(1) 診療科別実数 (平成27年度)

単位:人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	57	341	398	131	74	205	0	1	1	0	0	0
総合診療	3	6	9	0	529	529	3	43	46	0	25	25	16	11	27
脳外科	1	0	1	1	161	162	3	190	193	0	34	34	0	1	1
神経内科	2	0	2	7	96	103	4	84	88	1	23	24	0	1	1
循環器	0	0	0	0	120	120	0	18	18	0	15	15	1	1	2
泌尿器	0	1	1	0	12	12	0	2	2	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	18	18	0	1	1	0	2	2	0	1	1
皮膚科	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11	7	18	66	1,279	1,345	141	412	553	1	100	101	17	15	32

診療科別実数 (平成28年度)

単位:人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	6	0	6	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	1	1	37	417	454	67	78	145	0	0	0	0	0	0
総合診療	3	0	3	4	359	363	1	38	39	0	11	11	17	9	26
脳外科	0	0	0	0	161	161	0	154	154	0	45	45	0	0	0
神経内科	3	0	3	5	82	87	4	74	78	0	32	32	0	2	2
循環器	0	0	0	0	108	108	0	9	9	0	3	3	0	0	0
泌尿器	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	1	1	0	11	11	0	0	0	0	1	1	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12	2	14	47	1,149	1,196	73	353	426	0	92	92	17	11	28

診療科別実数 (平成29年度)

単位:人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	5	0	5	4	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	1	1	81	493	574	74	95	169	0	0	0	0	3	3
総合診療	0	0	0	0	535	535	1	26	27	0	7	7	19	4	23
脳外科	2	0	2	4	169	173	1	202	203	0	86	86	0	3	3
神経内科	1	0	1	2	95	97	1	70	71	1	38	39	0	1	1
循環器	0	1	1	0	153	153	0	3	3	0	1	1	0	0	0
泌尿器	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	18	18	0	0	0	0	2	2	0	3	3
皮膚科	0	1	1	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8	3	11	91	1,468	1,559	79	397	476	1	134	135	19	14	33

(2) 訓練業務の推移（延件数）

理学療法

単位：件

理学療法	請求項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別 リハビリ テーション	運動器リハビリテーションⅠ	7,476	1,219	7,337	617	9,412	1,160
	運動器リハビリテーションⅢ	0	0	1,317	0	0	0
	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	3,563	127	2,882	30	4,445	40
	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ 廃用	2,935	29	11	0	0	0
	廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ			2,522	0	4,689	0
	呼吸器リハビリテーションⅠ	2,144	56	1,160	10	1,923	0
	運動器リハ料Ⅰ（不適合）	0	35	0	86	0	75
	運動器リハ料Ⅱ（不適合）	0	0	0	3	0	0
	脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	0	18	0	0	0	0
	脳血管疾患等リハ料Ⅱ 廃用(不適合)	0	0	0	0	0	0
	早期加算 30日以内	10,678	0	10,771	0	15,749	0
	疾患別リハビリテーション合計	26,796	1,484	26,000	746	36,218	1,275
検査・評価	フローボリュームカーブ	0	0	0	0	0	0
	肺気量分画測定	0	0	0	0	0	0
	平衡機能検査	2	0	0	0	0	0
	重心動揺計	2	1	0	0	0	0
	パワーベクトル分析	1	0	0	0	0	0
	リハビリテーション総合計画評価料	75	0	416	0	405	0
	退院時リハビリテーション指導料	463	0	197	0	115	0
	退院前リハビリテーション指導料	0	0	0	0	0	0
	在宅訪問リハビリ指導管理料	0	0	0	0	0	0
	消炎・鎮痛	0	0	0	0	0	0
	検査・評価合計	543	1	613	0	520	0
総 合 計		27,339	1,485	26,613	746	36,738	1,275

作業療法

単位：件

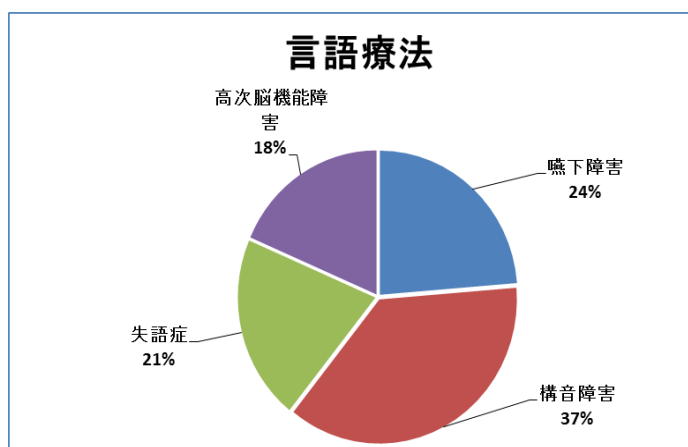
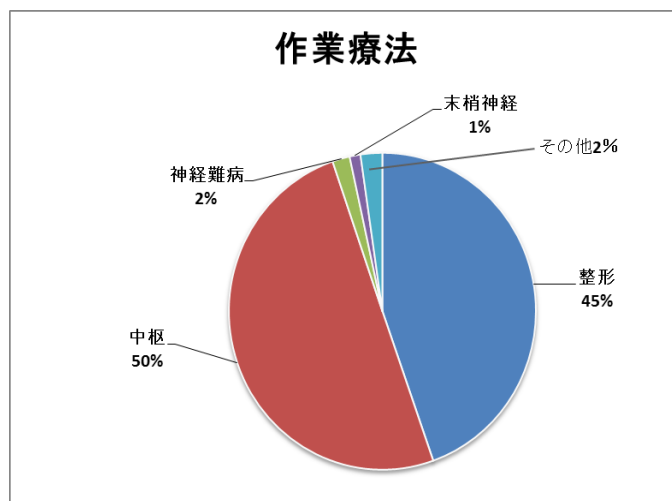
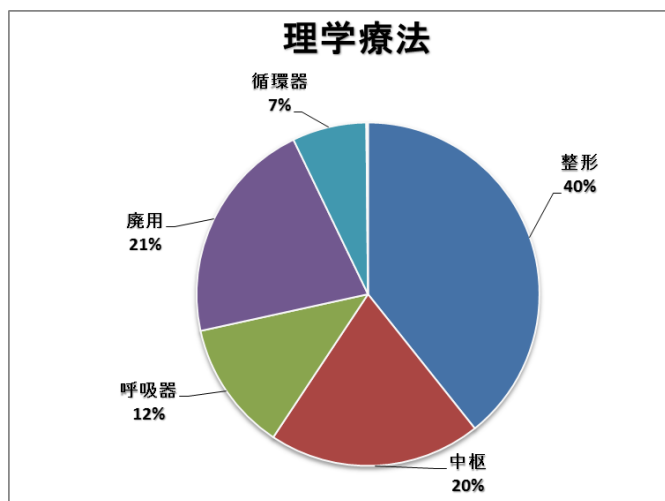
作業療法	請求項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別 リハビリテーシ ョン	運動器リハビリテーションⅠ	1,085	2,338	1,190	1,569	837	1,734
	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	2,778	120	2,559	12	3,341	37
	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ 廃用	88	0	8	0	0	0
	廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ			151	0	80	0
	呼吸器リハビリテーションⅠ	72	0	56	0	22	0
	運動器リハ料Ⅰ（不適合）	0	27	0	27	0	0
	運動器リハ料Ⅱ（不適合）	0	0	0	0	0	0
	脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	0	23	0	85	0	70
	脳血管疾患等リハ料Ⅱ 廃用(不適合)	0	0	0	0	0	0
	早期加算 30日以内	2,872	0	2,920	1	3,020	0
	疾患別リハビリテーション合計	6,895	2,508	6,884	1,694	7,300	1,841
検査・評価	義肢装具採型料	0	0	0	0	0	0
	コース立方体知能検査	19	0	15	0	28	0
	WAIS-R	0	0	0	0	0	0
	ベントン視覚記憶検査	1	0	0	0	3	0
	三宅式記憶検査	3	0	1	0	1	0
	内田・クレペリン精神検査	0	0	0	0	0	0
	検査・評価合計	23	0	16	0	32	0
総 合 計		6,918	2,508	6,900	1,694	7,332	1,841

言語療法

単位: 件

言語療法	請求項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別リハビリ	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	0	0	0	0	0	0
検査	ITPA	0	0	0	0	0	0
	SLTA	26	0	18	0	20	0
	構音検査	0	0	0	0	0	0
	発声発語器官検査	76	1	71	0	108	0
	WAIS-Ⅲ	5	2	2	2	2	0
	WISC-Ⅲ	0	0	0	1	0	0
	聴力検査	0	0	0	0	0	0
	言語発達検査	0	0	0	0	0	0
心理療法	心身医学療法（入院）	392	0	377	0	573	0
	心身医学療法（外来）	0	13	0	10	0	23
	心身医学療法（再診外来）	0	158	0	142	0	38
心理検査	TEG（東大式エコグラム）	3	13	3	15	2	20
	バウム・テスト	0	1	0	1	0	0
	MMPI（CHAPS）	2	3	0	1	0	1
	描画テスト	0	0	0	0	0	0
	PVT	0	0	0	0	0	0
	ベンダー・ゲシタルト検査	0	0	0	0	0	0
	HTP	0	1	0	0	0	0
	CMAS	0	0	0	0	0	0
総 合 計		504	192	471	172	705	82

（３）疾患別分類



心 理 療 法	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数
ターミナル・カウンセリング	4	13	1	12	4	11
その他の心理療法	0	114	27	109	29	156
合 計	4	127	28	121	33	167
心理諸検査（件数）		56		27		45

(4)実習生受入状況

神奈川県立保健福祉大学	1年生	H29.8.10	1日	1名
理学療法学専攻				
国際医療福祉大学小田原校	3年生	H29.8.4 ～9.1	20日	1名
作業療法学科				

5 放射線技術科業務

(1) X線撮影実績（人数及び件数・月別）

			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
単 純 撮 影	頭部	人数	11	7	15	17	12	12
		件数	28	18	35	43	26	30
	耳鼻顔面	人数	4	5	10	10	5	10
		件数	10	14	24	16	11	16
	胸部	人数	1,363	1,409	1,294	1,223	1,243	1,220
		件数	1,775	1,853	1,707	1,532	1,526	1,531
	腹部	人数	336	371	359	344	428	385
		件数	480	524	480	461	568	533
	椎骨	人数	330	387	327	372	399	376
		件数	1,012	1,184	1,017	1,091	1,200	1,055
	四肢骨	人数	611	729	773	820	815	746
		件数	1,590	1,892	2,062	2,104	1,993	1,875
	乳房	人数	39	55	106	115	99	107
		件数	150	210	404	443	380	412
	軟部	人数	5	2	5	1	1	0
		件数	8	3	7	2	1	0
	その他	人数	398	490	534	509	566	492
		件数	704	872	921	887	988	855
	計	人数	3,097	3,455	3,423	3,411	3,568	3,348
		件数	5,757	6,570	6,657	6,579	6,693	6,307
造影・透視撮影		人数	79	105	101	98	100	86
		件数	474	558	627	569	488	517
血管撮影		人数	35	44	20	16	22	22
		件数	324	580	130	112	195	186
放射線治療		人数	42	83	21	0	0	0
		件数	42	83	21	0	0	0
ラジオアイソトープ検査		人数	63	65	75	68	66	63
		件数	667	697	746	691	689	667
CT	単純	人数	873	964	1004	1005	1074	1017
		件数	145,885	159,840	175,500	174,330	184,110	169,290
	造影	人数	181	176	171	180	179	176
		件数	45,470	42,565	47,375	50,315	43,755	49,970
	計	人数	1,054	1,140	1,175	1,185	1,253	1,193
		件数	191,355	202,405	222,875	224,645	227,865	219,260
MRI	単純	人数	249	256	273	229	259	246
		件数	69,272	68,126	69,818	55,552	62,433	64,319
	造影	人数	20	38	34	33	36	26
		件数	7,654	12,793	9,909	10,282	11,786	9,145
	計	人数	269	294	307	262	295	272
		件数	76,926	80,919	79,727	65,834	74,219	73,464

1 0 月	1 1 月	1 2 月	1月	2月	3月	合計
9	12	13	12	13	15	148
21	28	29	28	31	37	354
1	7	10	6	11	6	85
2	14	18	13	21	11	170
1,184	1,134	1,348	1,398	1,220	1,388	15,424
1,455	1,405	1,629	1,658	1,467	1,646	19,184
299	308	349	265	262	359	4,065
403	431	491	387	346	451	5,555
313	307	379	391	348	376	4,305
934	894	1,060	1,097	989	1,079	12,612
751	764	731	816	677	751	8,984
1,873	1,843	1,742	1,993	1,605	1,726	22,298
109	102	75	54	68	195	1,124
420	390	294	210	260	760	4,333
4	0	3	1	1	1	24
7	0	5	2	1	2	38
554	542	528	559	534	556	6,262
958	955	923	969	950	997	10,979
3,224	3,176	3,436	3,502	3,134	3,647	40,421
6,073	5,960	6,191	6,357	5,670	6,709	75,523
69	78	104	69	76	90	1,055
456	435	504	412	525	419	5,984
19	24	36	47	46	40	371
136	206	440	688	699	984	4,680
0	0	0	0	0	0	146
0	0	0	0	0	0	146
62	71	56	62	55	63	769
647	763	616	715	597	710	8,205
954	944	1019	1045	904	1034	11,837
166,690	167,090	181,130	191,960	137,315	143,490	1,996,630
172	190	182	184	183	191	2,165
46,365	59,320	52,626	49,570	44,610	34,580	566,521
1,126	1,134	1,201	1,229	1,087	1,225	14,002
213,055	226,410	233,756	241,530	181,925	178,070	2,563,151
237	252	236	233	207	233	2,910
58,869	66,492	62,045	58,148	54,762	60,742	750,578
28	29	32	30	20	30	356
11,780	10,698	10,373	11,080	7,012	10,798	123,310
265	281	268	263	227	263	3,266
70,649	77,190	72,418	69,228	61,774	71,540	873,888

(2) X線撮影実績（人数及び件数・年度別）

年度 \ 区分		単純撮影	造影透視 撮影	血管撮影	放射線 治療	C T	M R I
平成27年度	人数	40,013	1,243	432	1,037	14,117	3,106
	件数	74,328	8,569	6,190	1,048	2,541,585	744,442
平成28年度	人数	39,591	1,229	421	1,176	14,447	3,267
	件数	74,594	7,513	6,650	1,251	2,659,644	815,469
平成29年度	人数	40,421	1,055	371	146	14,002	3,266
	件数	75,523	5,984	4,680	146	2,563,151	873,888

(3) 時間外救急実績（人数及び件数）

平日（午前8時30分～午後5時15分）、土日祝日（午前8時30分～翌日午前8時30分）の時間帯で実施された検査を集計しています。
昨年までは平日、土日祝日ともに午前8時30分～午後5時15分の時間帯で実施された検査を集計していました。

年度 \ 区分		単純撮影	C T	血管撮影
平成27年度	人数	5,958	2,697	85
	件数	8,729	420,540	1,184
平成28年度	人数	5,662	2,588	101
	件数	8,683	416,485	1,605
平成29年度	人数	5,874	2,732	59
	件数	9,313	418,880	957

(4) 高度医療機器共同利用実績（人数）

年度 \ 区分		C T	M R I	R I
平成27年度	人数	246	72	0
平成28年度	人数	233	57	0
平成29年度	人数	179	60	0

6 検査技術科業務

(1) 臨床検査件数（大分類）

年度	分類	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	生理機能検査	合 計
27	件数	241,536	289,197	81,569	837,339	23,411	14,106	16,920	1,504,078
	構成比(%)	16.1	19.2	5.4	55.7	1.6	0.9	1.1	100.0
28	件数	252,537	314,401	100,526	937,595	23,731	11,147	18,084	1,658,021
	構成比(%)	15.2	19.0	6.1	56.5	1.4	0.7	1.1	100.0
29	件数	234,566	303,692	87,658	884,762	20,395	11,504	17,804	1,560,381
	構成比(%)	15.0	19.5	5.6	56.7	1.3	0.7	1.1	100.0

(2) 緊急検査（土日祝日・時間外）件数

年 度	27年度	28年度	29年度
件 数	7,418	7,091	7,089

(3) 委託

年度	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	そ の 他	合 計
27	1	116	15,383	4,805	359	24	189	20,877
28	4	123	11,540	4,525	346	38	169	16,745
29	18	36	10,115	3,555	246	21	144	14,135

(4) 血液製剤使用量

年度	濃厚赤血球		全 血		洗浄赤血球		新鮮凍結血漿		濃 厚 血 小 板				自己血	
	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml	400ml	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml 由 来	400ml 由 来	5単位	10単位	15単位	20単位	200ml	400ml
27	22	661	0	0	0	15	0	175	1	5	4	4	0	135
28	28	740	0	0	0	2	0	216	3	19	4	2	0	148
29	38	826	0	0	0	0	0	107	0	12	1	1	0	232

(5) 院内研修等

月 日	講 師	テ ー マ
H29.12.7	外部講師	データトラブル事例集
H30.1.5	春成姿子、佐々木由香、小林三恵子	電子カルテ導入に伴う変更点（血液、一般、細菌、迅速、生理）
H30.2.5	大金直樹、田島正輝	電子カルテ導入に伴う変更点（病理、生化学、外注、輸血）

(6) 実習生受入状況

学 校 名	科 名	学年	期 間	日数	人数
相中央学技術専門学校	検査科	3年生	H29.5.8～H29.8.25	77日	1名
麻布大学	臨床検査技術学科	3年生	H30.1.15～H30.3.9	39日	1名

(7) 月別臨床検査数

臨床検査件数調査 29年

大分類	中分類	院内処理	委託件数	受託件数	合 計	4月	5月	6月
1 一般	一般検査	234,566	18		234,584	19,038	20,073	19,971
	A 尿一般検査	233,075			233,075	18,935	19,977	19,824
	B 糞便検査	309	5		314	17	19	43
	C 髄液検査	912			912	66	60	84
	Z その他	270	13		283	20	17	20
2 血液	血液学的検査	303,692	36		303,728	23,600	25,571	25,286
	A 血液一般形態検査	275,200			275,200	21,258	23,047	22,916
	B 凝固線溶関連検査	26,897	36		26,933	2,201	2,396	2,209
	C 血液化学検査	0			0	0	0	0
	Z その他	1,595			1,595	141	128	161
3 生化学	生化学的検査	884,762	1,891		886,653	68,520	73,948	73,686
	A 蛋白・膠質反応	120,541	30		120,571	9,182	9,969	9,755
	B 酵素及び関連物質	257,633	314		257,947	20,030	21,802	21,587
	C 低分子窒素化合物	122,133	6		122,139	9,404	10,123	10,186
	D 糖質及び関連物質	48,469	156		48,625	3,786	4,050	3,991
	E 有機酸	206	17		223	9	21	27
	F 脂質及び関連物質	57,531	133		57,664	4,903	4,887	4,790
	G ビタミンおよび関連物質	0	1,041		1,041	0	0	0
	H 電解質・血液ガス	184,629			184,629	13,967	15,144	15,365
	I 生体微量元素	5,431	14		5,445	447	481	482
	J 生体色素関連物質	87,527			87,527	6,753	7,416	7,441
	K 毒物・産業医学的代謝物質	0			0	0	0	0
	L・M 薬物	599	150		749	38	47	57
	Z その他	63	30		93	1	8	5
4 内分泌	内分泌学的検査	17,013	1,664		18,677	1,366	1,386	1,437
	ホルモン(4Z以外)	10,112	1,492		11,604	820	832	865
	Z その他	6,901	172		7,073	546	554	572
5 免疫	免疫学的検査	87,658	10,115		97,773	6,879	7,313	7,456
	A 免疫グロブリン	2,792	1,003		3,795	221	164	221
	B 補体及び関連物質	789	173		962	58	46	60
	C 血しょう蛋白	37,652	706		38,358	2,887	3,168	3,160
	D 腫瘍関連抗原	9,958	1,728		11,686	754	809	872
	E 感染症(非ウイルス)関連検査	8,467	1,039		9,506	676	750	803
	F ウイルス感染症検査	11,910	1,999		13,909	986	1,001	936
	G 自己免疫関連検査	921	3,191		4,112	62	78	78
	H 免疫血液学的検査	15,169			15,169	1,235	1,297	1,326
	I 細胞免疫検査	0	98		98	0	0	0
	J サイトカイン	0	178		178	0	0	0
	K HLA	0			0	0	0	0
	Z その他	0			0	0	0	0
6 微生物	微生物学的検査	20,395	246		20,641	1,459	1,453	1,734
	A 塗抹・形態検査	2,475			2,475	173	166	203
	B 培養・同定検査	13,961			13,961	1,001	1,016	1,209
	B 核酸同定検査	120	83		203	8	2	6
	C 薬剤感受性検査(一般)	3,720	1		3,721	272	259	306
	C 薬剤感受性検査(抗酸菌)	0	13		13	0	0	0
	Z その他	119	149		268	5	10	10
7 病理	病理学的検査	11,504	21		11,525	781	743	891
	A 細胞診検査	2,963			2,963	183	227	253
	B 病理組織検査(生検組織)	3,752	21		3,773	247	265	283
	B 病理組織検査(試験切除)	34			34	1	2	4
	B 病理組織検査(手術切除)	2,799			2,799	282	156	216
	B 病理組織検査(その他)	1,723			1,723	66	93	129
	C 迅速凍結組織検査	49			49	2	0	6
	D 電子顕微鏡検査	0			0	0	0	0
	Z 解剖(体数)	4			4	0	0	0
	Z 病理組織検査(剖検)	180			180	0	0	0
8 その他	その他検体検査	141	144		285	3	22	8
	A 負荷試験・機能検査	141			141	3	22	8
	B 遺伝子関連検査(染色体)	0	8		8	0	0	0
	C 遺伝子関連検査	0	103		103	0	0	0
	Z その他	0	33		33	0	0	0
9 生理機能	生理機能検査	17,804	0		17,804	1,524	1,731	1,560
	A 循環器機能検査	9,829			9,829	866	1,043	874
	B 脳・神経機能検査	468			468	45	42	46
	C 呼吸機能検査	2,336			2,336	183	203	197
	D 前庭・聴力検査	0			0	0	0	0
	E 眼科関連機能検査	13			13	0	3	2
	F 超音波検査	4,623			4,623	387	404	418
	N 健診関連	534			534	43	36	23
	Z その他	1			1	0	0	0
合 計		1,577,535	14,135	0	1,591,670	123,170	132,240	132,029

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19,925	20,361	20,724	19,777	19,802	19,516	18,555	17,401	19,423	234,566
19,793	20,263	20,571	19,683	19,724	19,350	18,347	17,308	19,300	233,075
37	36	21	29	35	14	25	12	21	309
76	58	108	30	30	116	158	48	78	912
19	4	24	35	13	36	25	33	24	270
26,094	26,384	25,364	25,432	24,167	26,122	26,434	23,092	26,146	303,692
23,595	23,938	23,051	23,191	21,973	23,600	23,939	21,067	23,625	275,200
2,344	2,316	2,175	2,101	2,055	2,397	2,375	1,925	2,403	26,897
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
155	130	138	140	139	125	120	100	118	1,595
75,535	77,091	74,422	73,507	70,938	76,348	76,473	68,089	76,205	884,762
10,149	10,733	10,171	10,111	9,701	10,436	10,545	9,337	10,452	120,541
22,061	22,428	21,544	21,353	20,639	22,254	22,257	19,559	22,119	257,633
10,463	10,552	10,221	10,239	9,817	10,519	10,661	9,418	10,530	122,133
4,060	4,212	4,080	4,006	4,053	4,171	4,139	3,784	4,137	48,469
24	27	18	17	12	15	12	12	12	206
4,765	4,838	5,044	4,857	4,725	4,769	4,617	4,500	4,836	57,531
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15,913	16,138	15,430	15,101	14,531	16,133	16,285	14,486	16,136	184,629
440	465	542	460	447	434	442	398	393	5,431
7,593	7,635	7,318	7,309	6,970	7,556	7,469	6,534	7,533	87,527
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61	54	52	50	43	54	37	54	52	599
6	9	2	4	0	7	9	7	5	63
1,450	1,457	1,413	1,377	1,368	1,398	1,481	1,368	1,512	17,013
871	884	852	812	837	813	863	793	870	10,112
579	573	561	565	531	585	618	575	642	6,901
7,223	7,476	7,232	7,181	6,948	7,432	7,914	7,000	7,604	87,658
265	193	218	233	254	239	246	289	249	2,792
88	68	88	54	58	70	56	88	55	789
3,247	3,277	3,172	3,107	2,954	3,245	3,324	2,917	3,194	37,652
847	863	821	911	826	824	832	767	832	9,958
691	742	678	633	662	712	772	648	700	8,467
825	925	856	882	907	1,005	1,319	1,164	1,104	11,910
73	71	75	78	90	81	76	88	71	921
1,187	1,337	1,324	1,283	1,197	1,256	1,289	1,039	1,399	15,169
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,845	1,987	1,498	1,797	1,676	1,745	1,922	1,465	1,814	20,395
223	258	178	221	194	197	273	180	209	2,475
1,254	1,323	1,009	1,211	1,175	1,253	1,288	998	1,224	13,961
10	8	8	15	14	8	19	8	14	120
348	388	293	334	285	277	332	269	357	3,720
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	10	10	16	8	10	10	10	10	119
751	928	793	913	1,019	1,100	928	939	1,718	11,504
236	245	247	266	318	278	201	204	305	2,963
243	268	237	283	347	342	330	339	568	3,752
9	3	8	5	2	0	0	0	0	34
172	254	187	259	222	286	139	194	432	2,799
91	156	110	72	104	194	213	175	320	1,723
0	2	4	3	3	0	0	27	2	49
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	1	0	1	0	1	4
0	0	0	24	22	0	44	0	90	180
10	3	23	19	8	13	9	12	11	141
10	3	23	19	8	13	9	12	11	141
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,410	1,410	1,430	1,502	1,237	1,341	1,470	1,391	1,798	17,804
734	764	746	806	667	719	821	769	1,020	9,829
41	52	37	38	28	36	33	34	36	468
227	194	202	198	176	194	217	149	196	2,336
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	2	2	1	0	0	0	0	0	13
380	357	403	408	356	360	356	340	454	4,623
25	41	40	51	10	32	42	99	92	534
0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
134,243	137,097	132,899	131,505	127,163	135,015	135,186	120,757	136,231	1,577,535

7 薬剤科業務

(1) 処方箋発行状況

区分 年度	外来				入院処方箋	入院及び外 来処方箋枚 数	入院及び外 来注射箋枚 数
	院内処方箋	院外処方箋	処方箋枚数	院外処方箋発行率			
27	7,097	69,680	76,777	90.76%	35,372	112,149	191,708
28	7,013	67,299	74,312	90.56%	36,497	110,809	208,453
29	6,674	64,132	70,806	90.57%	39,687	110,493	195,678

(2) 薬効別使用状況

薬効名(大)	27年度		28年度		29年度	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
中枢神経系用薬	18,404,207	3.7%	18,920,927	3.9%	21,862,499	4.6%
循環器官用薬	20,388,849	4.1%	26,613,880	5.5%	22,705,557	4.8%
呼吸器官用薬	7,743,409	1.6%	6,004,528	1.2%	5,670,224	1.2%
消化器官用薬	31,784,930	6.4%	35,120,254	7.2%	36,400,240	7.7%
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	60,504,642	12.2%	57,270,862	11.8%	57,732,301	12.2%
ビタミン剤	1,425,086	0.3%	1,196,857	0.2%	687,847	0.1%
滋養強壮薬	10,191,110	2.1%	10,536,670	2.2%	8,677,309	1.8%
血液・体液用薬	30,033,208	6.1%	31,698,157	6.5%	29,389,423	6.2%
その他の代謝性医薬品	37,621,480	7.6%	30,662,626	6.3%	30,119,782	6.4%
腫瘍用薬	120,383,156	24.4%	135,045,011	27.7%	140,075,343	29.7%
アレルギー用薬	1,253,207	0.3%	946,900	0.2%	702,458	0.1%
抗生物質及び化学療法剤	61,630,237	12.5%	52,974,625	10.9%	48,242,800	10.2%
生物学的製剤	41,824,091	8.5%	33,664,530	6.9%	25,704,645	5.5%
診断用薬(体外診断用薬品を除く)	20,778,139	4.2%	19,080,808	3.9%	16,076,105	3.4%
その他	30,082,445	6.1%	27,445,998	5.6%	27,393,814	5.8%
合計	494,048,196	100.0%	487,182,633	100.0%	471,440,347	100.0%

(3) 製剤数

年度	区分	内用散剤 (g)	外用液剤 (mL)	軟膏剤 (g)	注射剤 (mL)	坐剤 (個)	外用散剤 (g)	内用液剤 (mL)
27	製剤数量	0	38,125	19,310	0	65	0	0
	無菌製剤	0	5,185	0	780,882	0	0	0
28	製剤数量	0	40,380	18,726	0	0	0	0
	無菌製剤	0	8,060	0	744,484	0	0	0
29	製剤数量	0	41,310	24,025	0	0	0	0
	無菌製剤	0	6,850	0	694,678	0	0	0

(4) 麻薬使用量(麻薬年間届の数量)

【内用薬】

年度	MSコンチン	MSコンチン	カディアン スティック	オプソ内服液	オプソ内服液	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ
	10mg(錠)	60mg(錠)	30mg(包)	5mg(包)	10mg(包)	10mg(錠)	原末(g)	10倍散(g)
27	199			261	1,518	0	0	0
28	635			381	1,112	0	0	0
29	692	54	33	390	555	0	1.5	7.74

年度	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシ コンチン	オキシ コンチン	オキシ コンチン	オキシ コンチン
	5mg(カプセル)	10mg(カプセル)	20mg(カプセル)	5mg(錠)	10mg(錠)	20mg(錠)	40mg(錠)
27	247	50		1,464	870	459	315
28	1,789	1,665	383	9	3	234	126
29	3,071	2,812	416	0	0		52

年度	オキノーム散	オキノーム散	オキノーム散	アヘンチンキ	コデインリン酸 塩錠	アブストラル舌 下錠	アブストラル舌 下錠
	2.5mg(包)	5mg(包)	10mg(包)	(mL)	20mg(錠)	100 μ g(錠)	200 μ g(錠)
27	887	712	903	0	237	637	367
28	1,072	608	31	0	0	621	258
29	1,635	1,650	547	0	50	305	49

【外用薬】

年度	アンペック坐 剤	アンペック坐 剤	デュロテップ MTパッチ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ
	10mg(個)	20mg(個)	2.1mg(枚)	1mg(枚)	2mg(枚)	4mg(枚)	6mg(枚)	8mg(枚)
27	447	99	114	1,313	765	305	474	330
28	258	20	60	1,621	648	151	404	133
29	171	73	0	1,723	772	203	461	17

【注射薬】

年度	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	オピスタン	ペチジン	フェンタニル	ケタラール 静注用	アルチバ
	10mg(A)	50mg(A)	200mg(A)	35mg(A)	35mg(A)	0.1mg(A)	200mg(V)	2mg(V)
27	662	274	33	1,325	236	4,861	7	1,215
28	958	374	97		1,572	5,909	4	1,243
29	873	259	25		1,427	5,565	2	1,090

(5) 注射薬

区分	室温保存品				冷所保存品			合計(本数)
年度	100mL未満	100mL～ 500mL未満	500mL以上	計(本数)	100mL未満	100mL以上	計(本数)	
27	209,582	42,070	71,096	322,748	10,452	190	10,642	333,390
28	222,705	48,549	74,017	345,271	10,776	141	10,917	356,188
29	209,490	43,810	68,466	321,766	8,708	10	8,718	330,484

(6) 採用品目数

年度	内用	外用	注射	計
27	598	220	484	1,302
28	597	220	487	1,304
29	603	219	490	1,312

(7) 後発品移行状況(後発品採用品目数)

年度	内用	外用	注射	計	総採用数	後発品採用率
27	107	44	94	245	1,302	18.82%
28	60	15	32	107	1,304	8.21%
29	81	17	36	134	1,312	10.21%

(8) 医薬品情報(DI)業務

(単位:件)

年度	問い合わせ件数	錠剤鑑別数
27	2,310	2,243
28	2,070	2,216
29	2,125	2,210

(9) 薬剤管理指導業務

29年度	指導患者数 (人)	全指導数 (件)	薬剤管理指導料 (件)	薬剤管理算定回数 of 患者数 (人)				退院時薬剤情報管理指導料(件)	麻薬加算 (件)
				1回	2回	3回	4回		
4月	297	422	333	231	35	8	2	66	3
5月	319	433	356	250	37	8	2	55	5
6月	310	439	346	228	47	4	3	57	5
7月	266	394	309	181	49	6	3	61	6
8月	328	470	381	240	50	11	2	76	2
9月	306	458	353	217	42	8	7	87	3
10月	315	475	380	252	30	12	8	77	2
11月	253	364	288	169	46	5	3	44	4
12月	286	427	336	208	42	12	2	78	3
1月	272	386	296	186	35	8	4	70	1
2月	200	273	203	138	28	3	0	50	3
3月	265	388	300	208	33	6	2	74	3
累 計	3,417	4,929	3,881	2,508	474	91	38	795	40

(10) 薬剤管理指導・関連業務収益

	27年度	28年度	29年度
薬剤管理指導業務算定件数	2,934	4,143	3,881
〃 収益(円)	9,850,100	13,851,950	13,024,650
退院指導(加算)件数	527	724	795
〃 収益(円)	474,300	651,600	715,500
麻薬指導(加算)件数	44	64	40
〃 収益(円)	22,000	32,000	20,000
合計収益(円)	10,346,400	14,535,550	13,760,150

(11) 無菌製剤業務(抗がん剤混合等)

(単位:件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27	65	65	88	100	64	85	100	79	85	102	99	125	1,057
28	323	270	300	266	282	362	298	300	220	305	287	391	3,604
29	296	293	270	228	314	288	270	345	221	244	214	230	3,213

(12) 実習生受け入れ状況

年度	Ⅰ期(5月～7月)		Ⅱ期(9月～11月)		Ⅲ期(1月～3月)	
27	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	0名	
28	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学
29	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学

8 地域医療センター業務

地域医療センターは、従来からの地域医療連携室に加え、総合診療部・救命救急部・入退院支援センターを併設し運営をしています。

【地域医療連携室】

(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況

[医療連携業務]

①紹介患者データベース作成と管理

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
紹介受数	5,297	5,266	5,188
紹介出数	4,833	5,014	5,034
平均返信率	93.03%	91.02%	92.00%
平均紹介率	49.00%	50.30%	56.00%

②紹介予約診療（FAXによる紹介予約件数）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
診療予約件数	416件	433件	535件
内視鏡予約件数	20件	26件	45件
エコー予約件数	2件	6件	5件

③高度医療機器共同利用の件数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
MRI	73（人）	48（人）	60（人）
CT	205（人）	189（人）	179（人）
計	278（人）	237（人）	239（人）

④近隣地域の医療機関・施設への訪問

医療機関・施設への訪問件数62箇所

連携医療機関・施設204箇所

⑤脳卒中地域連携パス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域連携件数	26件	22件	19件

⑥大腿骨近位部骨折地域連携パス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域連携件数	6件	55件	80件

*平成28年2月より開始

⑦肝疾患地域連携パス

	平成29年度
地域連携件数	20件

*平成29年4月より開始

⑧歯科医師会との連携（周術期口腔機能管理件数）

	平成28年度		平成29年度	
	術前	術後	術前	術後
管理Ⅰ（がん等にかかわる手術を実施する外来患者）	5	0	79	0
管理Ⅱ（がん等にかかわる手術を実施する入院患者）	16	42	80	100
管理Ⅲ（放射線治療や化学療法を実施する患者）	2		31	

*平成28年10月より開始

⑨地域薬剤連携・地域栄養相談・地域リハビリ相談

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域薬剤連携 薬剤連携会議	4	4	4
地域栄養相談件数	入院13・外来10 栄養サマリー5	入院1・外来7 栄養サマリー2	入院14・外来4 栄養サマリー1
地域糖尿病栄養相談件数	2	2	1
地域リハビリ相談件数	1	8	4

[看護保健部門・医療福祉部門の業務]

受診援助、退院後の療養の早期準備、地域との継続的・協働的な療養相談、在宅療養での救急対応、医療・福祉サービスの相談などの実践

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
看護保健部門相談依頼件数	1,545 延べ相談8,466	1,612 延べ相談25,571	1,681 延べ相談19,663
医療福祉部門相談件数	890 延べ相談5,531		

*平成28年度より看護保健部門・医療福祉部門の合計数及び集計方法変更

[地域連への広報活動]

- ・病院情報誌「かけはし」年3回発行（56号～58号）発行部数 各2000部
地域行政機関・医療機関・福祉施設・訪問看護ステーションなど204箇所配布
インターネットへ「かけはし」の掲載 正面玄関など院内各所へ設置
- ・研修会・研究会案内作成・発送
- ・病院・医院・施設等訪問・・・62箇所
- ・足柄歯科医師会との連携

[研修会・研究会を通じての地域との交流]

- 医療・介護地域連絡会・・・4回
- *平成29年度より足柄上地区在宅医療・介護支援センターと共催で実施
地域薬剤師会地域医療連携会議への出席・・・4回

[看護保健部門 医療福祉部門の主な地域関連]

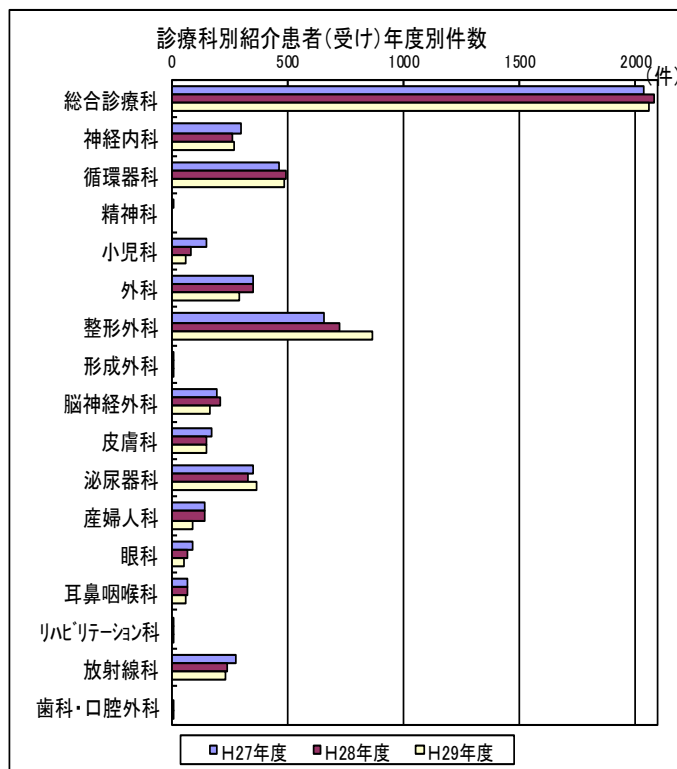
- 院外連携会議・・・22回

[その他]

- 医療通訳派遣システム事業・・・0件

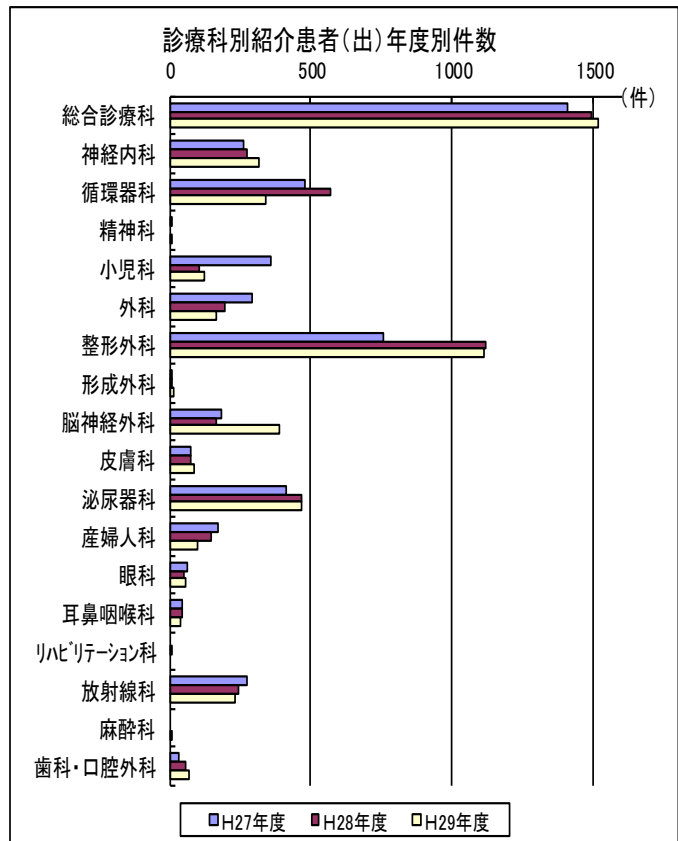
(2) 診療科別紹介患者（受け）件数

診療科	H27年度	H28年度	H29年度
総合診療科	2,040	2,085	2,061
神経内科	299	265	273
循環器科	464	497	486
精神科	1	0	0
小児科	155	84	61
外科	356	357	295
整形外科	659	723	870
形成外科	8	14	7
脳神経外科	198	213	166
皮膚科	175	153	150
泌尿器科	351	334	367
産婦人科	147	146	90
眼科	96	69	59
耳鼻咽喉科	69	74	64
リハビリテーション科	2	4	3
放射線科	277	245	235
歯科・口腔外科		2	1
合計	5,297	5,265	5,188



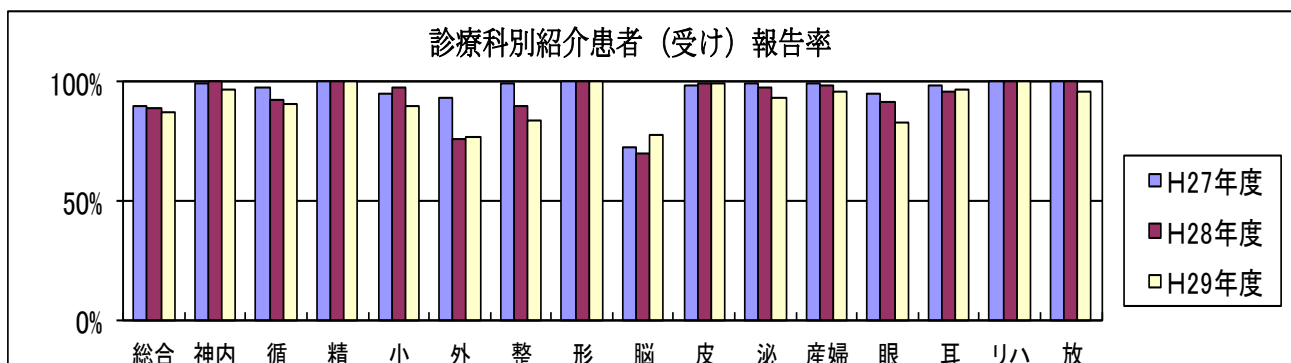
(3) 診療科別紹介患者(出)件数

診療科	H27年度	H28年度	H29年度
総合診療科	1,410	1,492	1,519
神経内科	262	273	317
循環器科	482	567	341
精神科	6	0	4
小児科	361	106	122
外科	293	195	167
整形外科	756	1,119	1,115
形成外科	3	9	14
脳神経外科	182	164	387
皮膚科	76	75	89
泌尿器科	412	469	465
産婦人科	174	145	96
眼科	62	48	55
耳鼻咽喉科	44	45	41
リハビリテーション科	0	4	0
放射線科	276	245	232
麻酔科	0	0	1
歯科・口腔外科	34	58	69
合計	4,833	5,014	5,034



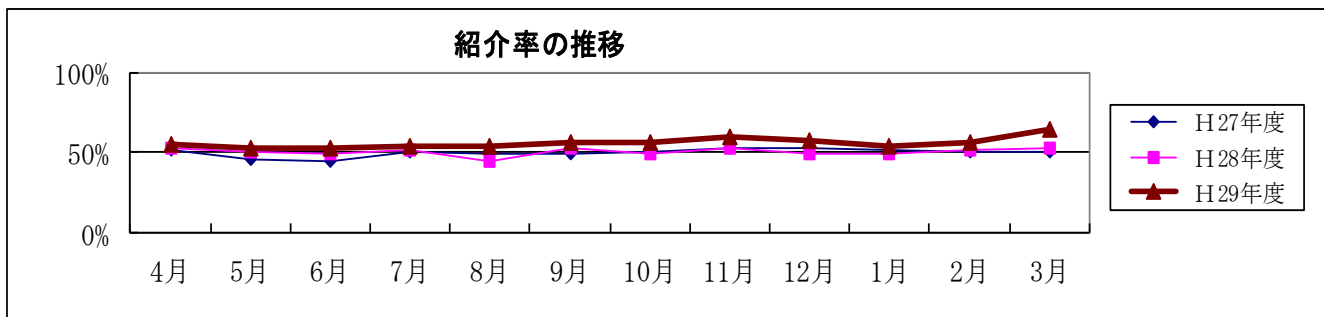
(4) 診療科別紹介患者報告率

報告率	総合	神内	循	精	小	外	整	形	脳	皮	泌	産婦	眼	耳	リハ	放	歯科	平均
H27年度	90%	100%	98%	100%	95%	93%	99%	100%	72%	98%	99%	99%	95%	99%	100%	100%		96%
H28年度	89%	100%	93%	100%	98%	76%	90%	100%	70%	99%	98%	99%	91%	96%	100%	100%	50%	90%
H29年度	87%	97%	91%	100%	90%	77%	84%	100%	78%	99%	93%	96%	83%	97%	100%	96%	100%	92%



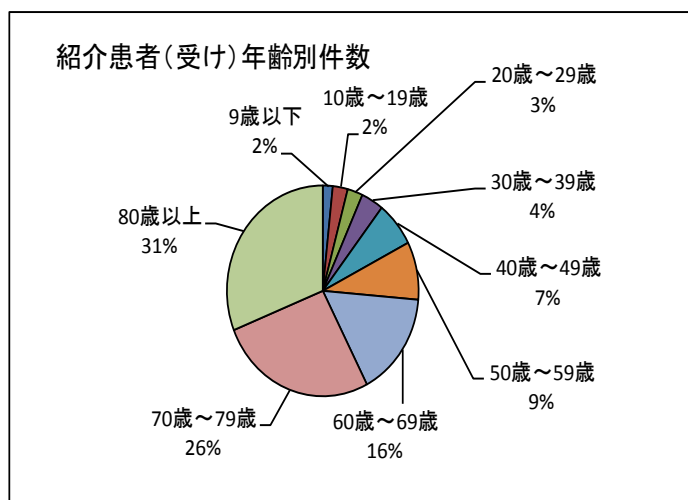
(5) 紹介率の推移

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H27年度	51.1%	45.8%	45.0%	51.0%	49.6%	49.6%	50.6%	52.4%	52.4%	51.2%	50.3%	50.6%
H28年度	52.7%	50.2%	49.5%	51.1%	45.0%	53.3%	49.0%	52.9%	48.7%	48.7%	51.5%	52.5%
H29年度	55.1%	52.6%	52.6%	53.6%	53.5%	56.6%	56.7%	60.2%	58.0%	54.3%	56.0%	65.0%



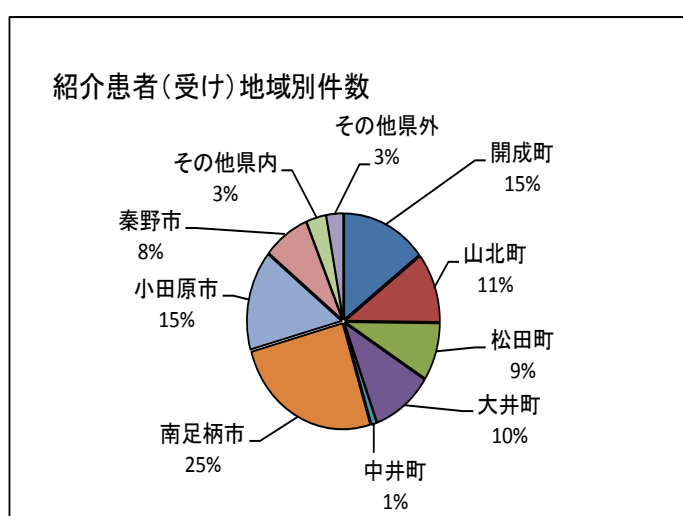
(6) 紹介患者（受け）年齢別件数

年齢	H27年度	H28年度	H29年度
9歳以下	158	96	87
10歳～19歳	163	164	131
20歳～29歳	164	146	134
30歳～39歳	264	244	195
40歳～49歳	362	414	359
50歳～59歳	497	487	461
60歳～69歳	977	943	832
70歳～79歳	1,326	1,295	1,377
80歳以上	1,386	1,476	1,612
計	5,297	5,265	5,188



(7) 紹介患者（受け）地域別件数

市町村	H27年度	H28年度	H29年度
開成町	669	667	755
山北町	531	553	552
松田町	497	505	455
大井町	603	601	541
中井町	65	53	46
南足柄市	1,428	1,312	1,317
小田原市	752	739	787
秦野市	380	422	410
その他県内	196	239	176
その他県外	176	174	149
計	5,297	5,265	5,188



(8) 相談依頼受付状況

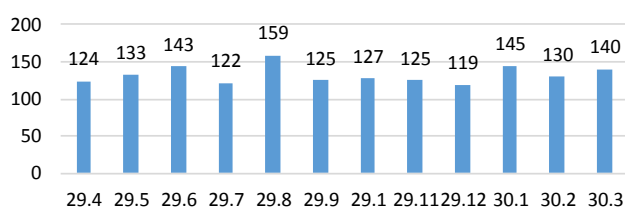
入院・外来実別件数

	件数
入院	1,681
外来	9
総計	1,690

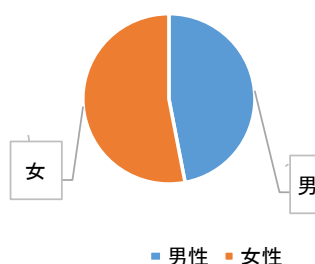
年齢群別

15歳～29歳	1
30歳～39歳	2
40歳～64歳	120
65歳～74歳	240
75歳～84歳	615
85歳～94歳	624
95歳以上	88
合計	1,690
平均年齢	81.1歳

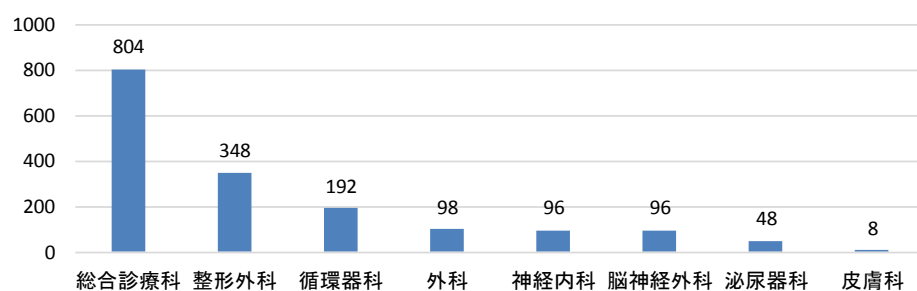
月別新規受付件数N=1,592



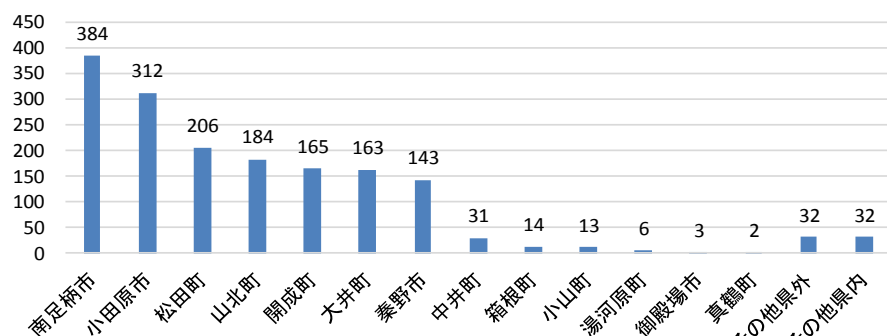
性別N=1690



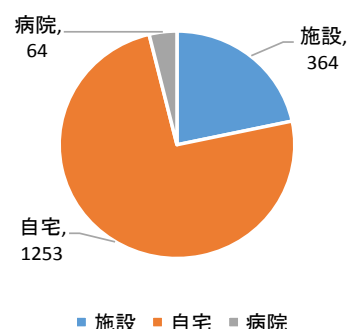
診療科別N=1690



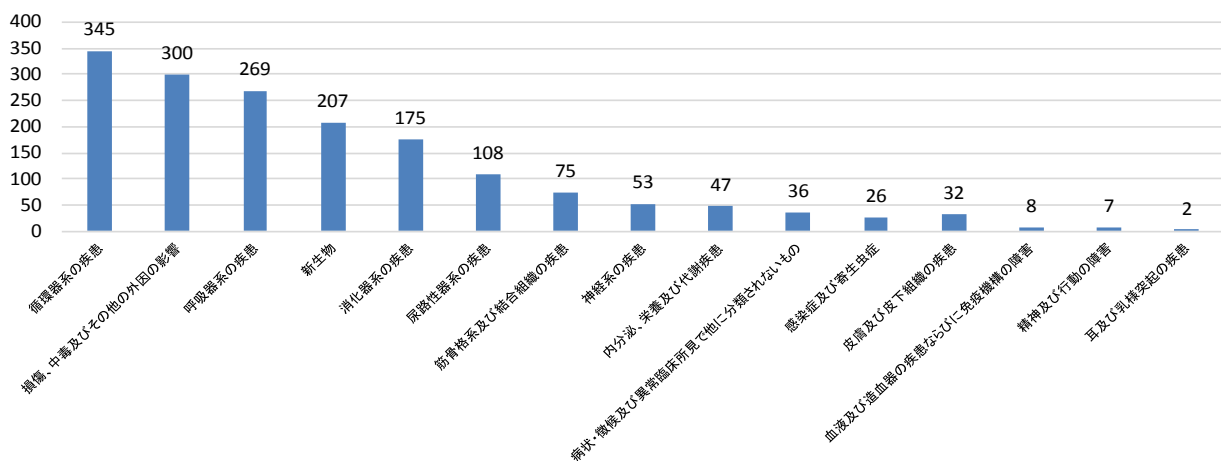
地域別N=1690

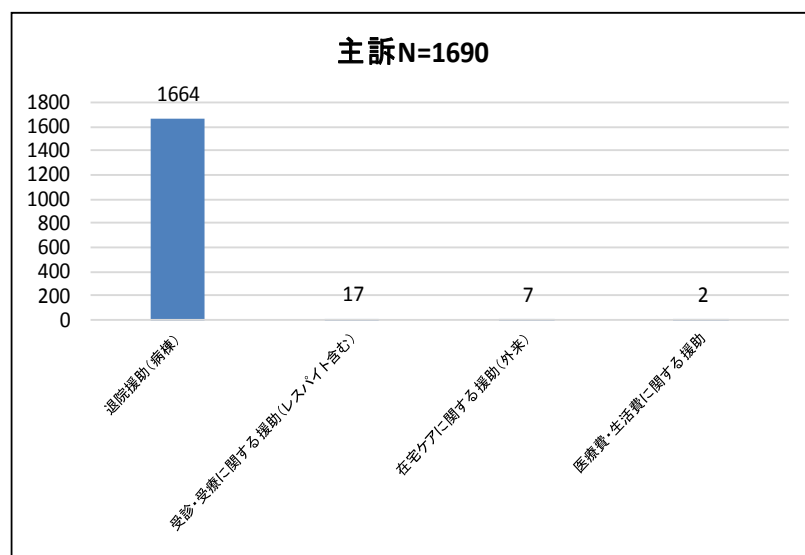
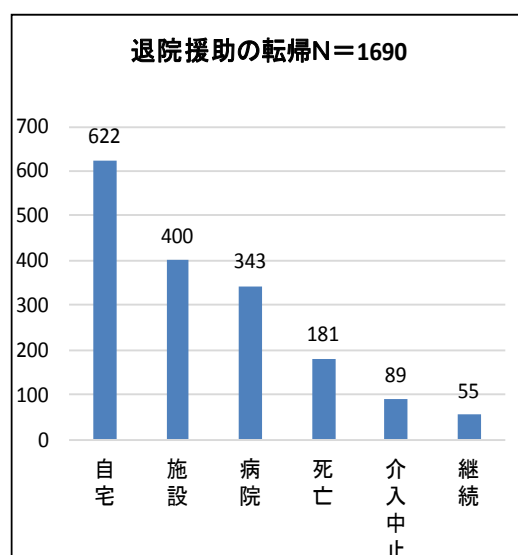
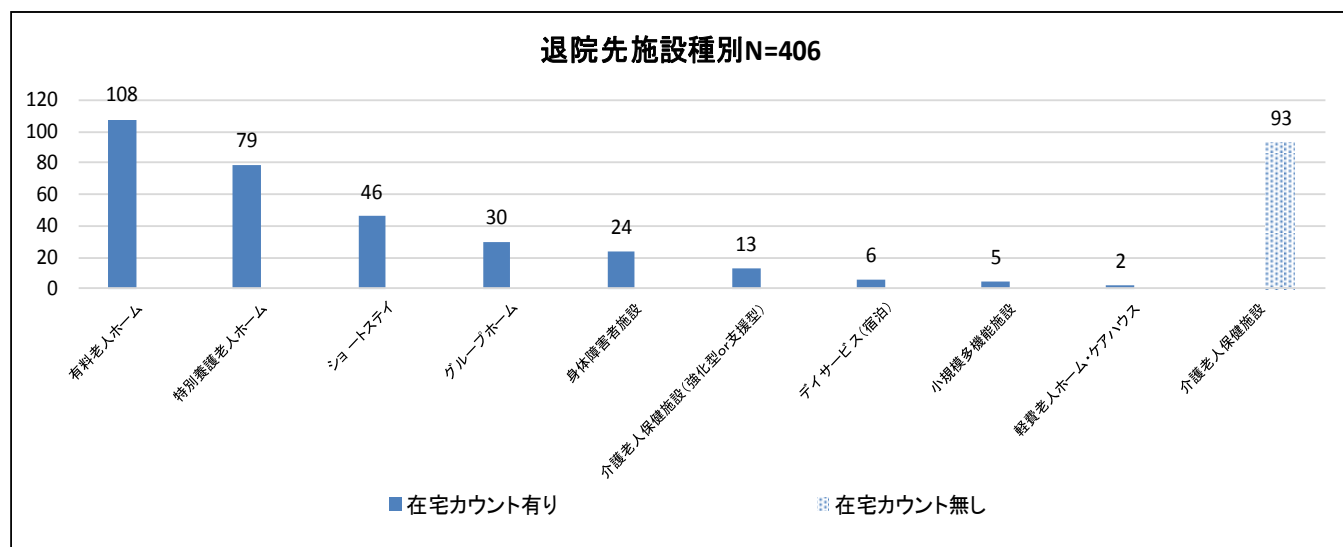


入院前種別N=1681



疾患別相談件数N=1690





(9) 神奈川県在宅難病患者受入病床確保事業・受入状況

受入疾患

パーキンソン病	5名
多系統萎縮症	3名
多巣性運動ニューロパチー	1名
大脳皮質基底核変性症	2名
混合性結合組織病	1名
後縦靱帯骨化症	1名

入院日数	153日
延べ人数	13人
実人数	8人
入院前訪問	2人
18,670円(1人当たり) × 153日	= 2,856,510円
診療報酬	5,584,840円
合計	8,441,350円

(10) 患者さん相談室活動状況

1 平成 29 年度相談件数

～相談 5 割、苦情 4 割～

平成 29 年度の相談総数は 149 件で、その内訳は、D「相談」が 73 件(49%)で最も多く、次は A「職員個人に対する苦情・意見」が 31 件(21%)であった。(表 1、図 1)

A「職員個人に対する苦情・意見」及び B「特定の部署、職種に関する苦情・意見」の内訳としては、「接遇」、「治療・看護内容」、「説明の不足」が 6 割を占める。(図 2)

経年変化をみると、平成 29 年度の相談総数は、これまでで最多であった。内訳では、A「職員個人に対する苦情・意見」、B「特定の部署、職種に関する苦情・意見」及び C「病院への要望」の合計が、64 件となり、対前年度比 9 件、16%増加した。(図 3)

苦情に発展する前の段階で相談に乗るという対応が結果的に苦情を未然に防ぎ、患者さんの早期の問題解決へとつながりやすいと思われる。

患者さん相談室では今後も患者さんからの相談を伺い、患者さんと医師間の相互理解の改善及び促進に向けて支援していきたい。

表 1 平成 29 年度相談総数内訳

項目	
A 職員個人に対する苦情・意見	31
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	6
2 説明の不足 または説明内容	5
3 コミュニケーション、人間関係	1
4 他のスタッフとの連携	0
5 治療、看護の内容	7
6 技術、手技的な問題	2
7 倫理的な問題	4
8 その他	6
B 特定の部署、職種に関する苦情・意見	20
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	6
2 説明の不足 または説明内容	4
3 コミュニケーション、人間関係	0
4 チームの連携	1
5 治療、看護の内容	4
6 技術、手技的な問題	0
7 倫理的な問題	1
8 その他	4
C 病院への要望	13
1 病院の方針、姿勢、対応	2
2 施設・設備などハード面	1
3 診療などのシステム 体制(ソフト面)	5
4 療養環境としての快適性	1
5 その他	4
D 相談	73
E 感謝	0
F その他	12
合計	149

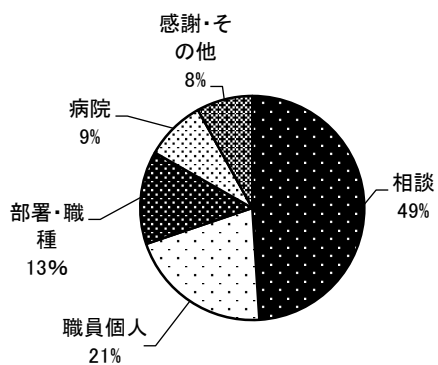


図1 平成29年度 相談総数内訳

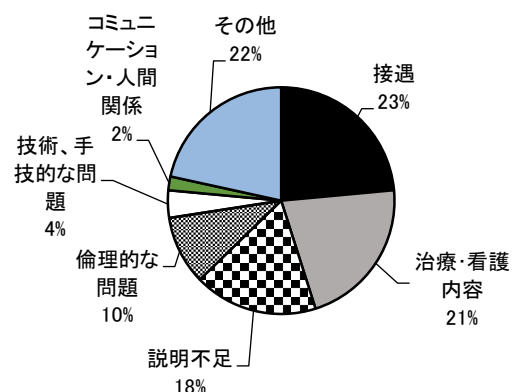
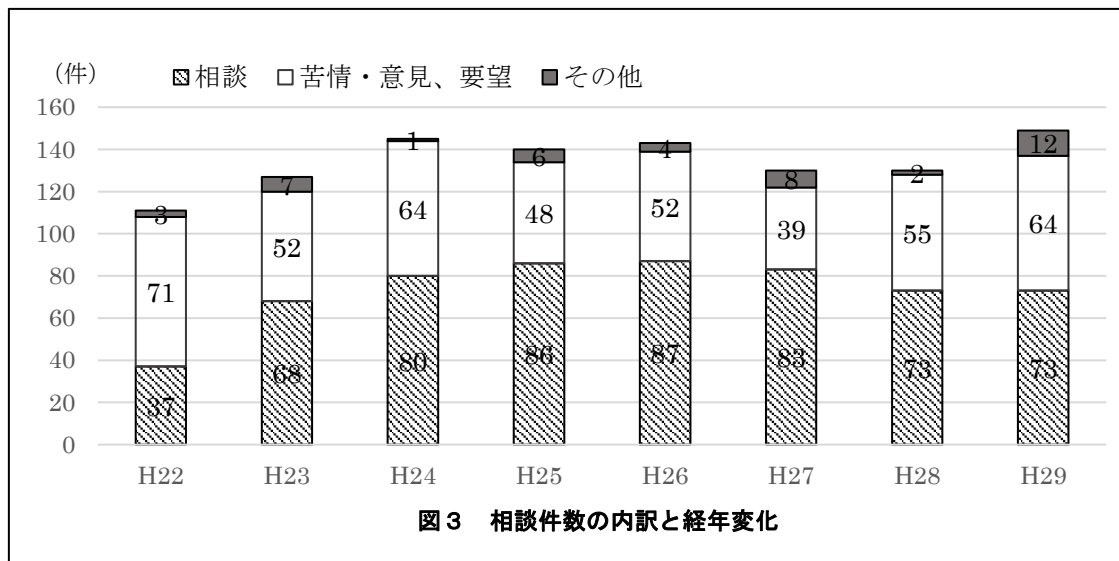


図2 平成29年度 苦情内容内訳



2 平成 29 年度投書件数

平成 29 年度はご意見箱（院内 9 箇所設置）に前年度とほぼ同数の 125 件の投書が寄せられた。内訳は、C「病院への要望」が全体の半分を占め、A「職員個人に対する苦情」と B「特定の部署、職種に関する苦情」を加えると全体の 8 割を占める。（表 2、図 4）

感謝・苦情の割合は、当院の提供している医療、環境に満足いただけているか直接示す指標のひとつである。患者・家族に満足いただける病院に近づくよう、よりよい医療、環境づくりに努めていきたい。

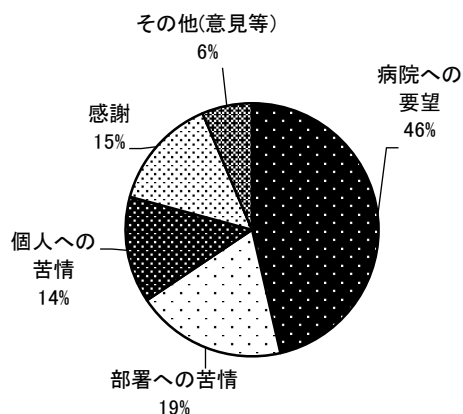


図4 平成29年度 投書内訳

表 2 平成 29 年度投書件数内訳

項目	件数
A 職員個人に対する苦情	17
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	8
2 説明の不足 または説明内容	2
3 コミュニケーション、人間関係	0
4 他のスタッフとの連携	1
5 治療、看護の内容	2
6 技術、手技的な問題	0
7 倫理的な問題	1
8 その他	3
B 特定の部署、職種に関する苦情	24
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	14
2 説明の不足 または説明内容	3
3 コミュニケーション、人間関係	0
4 チームの連携	0
5 治療、看護の内容	1
6 技術、手技的な問題	1
7 倫理的な問題	1
8 その他	4
C 病院への要望	58
1 病院の方針、姿勢、対応	0
2 施設・設備などハード面	23
3 診療などのシステム 体制(ソフト面)	12
4 療養環境としての快適性	19
5 その他	4
D 相談	0
E 感謝	18
F:その他(意見等)	8
合計	125

【入退院支援センター】

入院時から退院後の療養生活を視野に入れ、退院後に患者・家族の望む適切な場での療養先活の実現に向けて情報を収集し、患者・家族を支援する専門職種と情報の共有を図り、入院中早期から退院支援・退院調整を開始することを目的に活動している。それに伴い、入院関連業務の効率化にも取り組んでいる。

対応実績

<緊急入院>

実施内容：平日8:30～16:30までに入院が決定した緊急入院の方を対象に、入院前の生活状況や病歴の聴取、今後の療養生活に関する考え等を伺い、病棟や関連部署と情報を共有する。

実施者：入退院支援センター看護師

平成27年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接件数 (件)	124	123	133	155	141	116	122	134	102	106	126	138	1,520
面接実施率 (%)	91.2	89.1	92.4	95.1	88.7	87.9	92.4	93.7	83.6	89.1	90	93.2	90.7
平均面接数 /日	5.9	6.8	6	7	6.7	6.1	5.8	7.1	5.4	5.6	6.3	6.3	6.3

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接件数 (件)	105	115	137	126	132	132	109	134	130	112	120	128	1,480
面接実施率 (%)	86.1	91.3	92.6	90.6	88	94.3	93.2	88.2	94.2	88.9	96.8	92.8	91.5
平均面接数 /日	5.3	6.1	6.2	6.3	6.0	6.6	5.5	6.7	6.8	5.9	6.0	5.8	6.0

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接件数 (件)	116	98	138	93	106	101	102	90	88	113	113	123	1,281
面接実施率 (%)	85.3	81.0	84.1	79.5	74.6	79.5	77.9	71.4	71.5	88.3	86.3	83.1	80.4
平均面接数 /日	5.8	4.9	6.3	4.7	4.8	5.1	4.9	4.5	4.4	5.9	5.9	5.9	5.3

<予約入院>

実施内容：入院時持参書類への記載がされているかの確認をする。

記載漏れがある場合はその場で追記載を促し、書類を完成させ、病棟へ送り出す。

実施者：医事課職員、クラークおよび看護師

平成27年11月26日から1件/日、平成28年9月16日から2件/日、平成29年3月1日から6件/日と、段階的に対応数を増やした。

平成27年度

	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	3	15	15	16	17	66

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	14	15	19	18	13	18	36	28	22	21	22	77	303

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	117	126	119	100	142	142	145	111	146	98	124	131	1,501

【在宅療養支援部門】

在宅療養後方支援契約状況

1. 契約数

平成27年	53名
平成28年	43名
平成29年	36名

※契約前の死亡例は除く

2. 後方支援契約前に、急変等により当院からの訪問で在宅看取りを行った回数

平成27年	4名
平成28年	1名
平成29年	7名

3. 診療科別数

平成27年	内科	50名
	外科	4名
	神経内科	1名
	循環器内科	1名
平成28年	内科	42名
	循環器内科	7名
平成29年	内科	33名
	循環器内科	3名

4. 訪問診療回数

平成27年	103回
平成28年	63回
平成29年	92回

5. 軽症在宅短期パス使用数

平成28年	8名	総訪問回数	24回
平成29年	21名	総訪問回数	41回

※平成28年度開始

【救命救急部門】

1. 救急患者のうち救急車で搬送された患者

平成27年度	3,073名
平成28年度	2,793名
平成29年度	3,164名

2. 救急患者数(第3章 患者の概況(8)救急患者取扱状況 参照)

9 看護局業務

(1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

(2) 看護局ビジョン

- 1 患者さん、地域の方にとって信頼される安全で安心な医療を提供すると共に、患者さん中心の看護を探究します。
- 2 組織は人なりという考えに立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤とし、相互に人を大切にする組織運営に努めます。
- 3 組織の方針に寄与し、めざす看護を実践し、キャリア形成を主体的に行う自立した看護師の育成を目指します。

(3) 平成 29 年度 看護局目標

- 1 入院・退院支援の充実
- 2 安全で安心な看護の提供
- 3 教育体制の充実

(4) 平成 29 年度 看護局目標評価

1 入院・退院支援の充実

「病床機能に応じた効率的な病床運用」を重点目標にあげ、救急患者受け入れ体制の整備、病棟再編による稼働病床の拡大に取り組んだ。また、ナースステーションから離れた病床の運用を見直し、ベッドコントロールを強化したことで、空床はあるものの個室に空きがなく救急搬送を断るケースが減少した。その結果、病床利用率は 76.1%と昨年度から 1.5%上昇した。また、病棟間の補完体制を築いたり、時間外の入院患者と予定入院患者の入院時間診業務について地域医療連携室と連携して取り組んだ。

2 安全で安心な看護の提供

病棟再編や退職者数を見込んだ看護師採用数目標値がこの数年で最も多いことから、「看護師確保・定着対策の強化」を重点目標にあげて取り組んだ。病院説明会等で当院の魅力をアピールするDVD「足柄上病院恋ダンス 2017 年版」を他部門の協力を得て作成、また、求人ポスター等の充実を図った。特に、当院の特徴としてインターンシップや臨床実習が就職につながっていることから、インターンシップの広報強化及び実習環境の改善にも取り組み 34 名を採用した。

一方、看護補助者の近隣施設への流出等による離職者が相次ぎ、看護師同様に確保対策が必要になり、将来の採用につなげるため近隣の福祉系高校を訪問し体験見学を企画・開催した。

看護業務においては、「安全な電子カルテの導入・運用」を重点目標にあげて、キックオフから稼働まで 6 ヶ月という短期間の中で看護局内会議や他部門と連携して導入の準備をした。中でもクリニカルパスは D P C データを参考に見直し、集中的に作業を進め運用することができた。

3 教育体制の充実

日本看護協会のクリニカルラダーに合わせたステップ評価表に整備し、新ステップ評価表に合わせた院内研修への見直しを進めた。また、過去 3 年間の退職者の状況とステップ取得状況の分析を行うと、経験年数 2 ～ 6 年目、8 年目、13 年目の離職率が高いこと、ステップ未取得者が 18%、ステップⅢ取得までに 10 年以上かかっており、ステップⅢが全体の 30%で、現在担っている役割とキャリアラダーが整合していないことがわかった。これらのことから、人材育成に「キャリア形成の手引き」が活用されていないという問題と次年度の課題を明確にできた。

(5) 看護外来

外来では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・臨床心理士など多職種が協働して患者の療養生活を支えている。その中において看護師も、専門的知識・技術を活かした看護外来を開設し看護ケアを行っている。フットケア外来では、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が糖尿病患者の足病変に対するケアを行い、糖尿病一日教室でもフットケアを実施している。禁煙外来ではカウンセリングを行い、患者が禁煙に立ち向かえるよう支援している。また、皮膚排泄ケア認定看護師による相談室を開設し、日常生活に合わせたケアの方法などを患者家族と共に考え、専門的できめ細やかな指導を行っている。

一方、助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）や母乳育児の支援として母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から後まで継続した支援を行っている。

区分 年度	糖尿病 1 日教室	禁煙外来	フットケア外来	ストーマ外来	がん化学療法 相談室
27 年度	15	95	28	184	7
28 年度	15	86	2	91	—
29 年度	21	42	2	169	—

産科の指導等業務

区分 年度	助産師 外来	ペア クラス	母乳育児 外来	おっぱい 大好き 倶楽部	産後育児 支援のた めの電話 訪問	骨盤体操 クラス	電話相談	合計
27年度	969	252	151	10組	91		144	1,617
28年度	707	178	138	19組	66		125	1,233
29年度	470	67	102	12組	21	8月～開始 33	42	747

＊電話相談以外は、すべて有料で 3 A 病棟が担当

平成 29 年度 院内研修実績

段階	研修名		目的・目標	方法	人数
採用時研修	新採用看護職員 採用時研修		組織の概要を知り、環境に適応できる 専門職業人としての自覚を持つ 安全な看護実践のための具体的な方法を学ぶ	講義・演習・GW	24
	リフレッシュ研修		心身のリフレッシュを図ることができる 3ヶ月間の体験を振り返り、今後への意欲が持てる	散策・語り	12
ステップⅠ	実践	看護過程Ⅰ	ニーズを捉える力を養う 1 V.ヘンダーソンの看護論における中心的概念の捉え方と14項目について理解できる 2 V.ヘンダーソン看護論を使った情報の分類ができる 3 V.ヘンダーソンの看護論14項目を用いたアセスメントの考え方がわかる	事前課題、講義、発表会	12
	教育	教育研修Ⅰ	教育力につながる確実な知識・技術を身につけることができる 1 基礎的な知識と技術を再確認できる 2 基礎的な知識と技術を主体的に学ぶことができる (急変時対応、家族支援、がん性疼痛、緩和ケア、がん化学療法、糖尿病看護)	講義、演習、GW	12
	管理	リーダーシップⅠ	自己理解ができる 1 自己の資質を知ることができる 2 自己の資質を強みとできるような活かし方を考えることができる 3 自己の資質をしっかりと、自セクションにおいて自分にできることを考えることができる 4 資質の効果的な活かし方を知ることができる	事前課題、講義、事後レポート	12
ステップⅡ	実践	看護過程Ⅱ	V.ヘンダーソンの看護論を活用し看護過程が展開できる 1 患者を統合的に捉え、看護問題を明確にすることができる 2 個別性のある看護計画を立案できる。 3 チームと協力し看護実践・評価ができる	事前課題、講義、GW、事例展開、レポート、発表会	12
	教育	教育研修Ⅱ	後輩に寄り添う（支援する）力を養う 1 支援者としての役割が理解できる 2 他者との関係における自己の傾向に気づくことができる 3 学習環境としての自分に気づくことができる 4 どのような支援者でありたいかを表現できる	講義、GW、課題、プロセスレコード検討、レポート	12
	管理	リーダーシップⅡ	チームとは何かがわかる 1 チームの定義を理解できる 2 ひとつの課題・目標に対して、チームで取り組むことを体験できる。 3 チームの一員として活動する際に必要な能力（要素・概念）を理解できる 4 自セクションのチーム活動において、今自身に求められていること、できることが表現できる	講義、GW、発表、レポート	14
ステップⅢ	実践	看護過程Ⅲ	V.ヘンダーソンの看護論を活用し、チームでアプローチすることができる 1 チームで実践したことを振り返り、看護の意味づけができる 2 一連の研修プロセスを経て、自分の言葉で「看護」について表現できる	講義、事例検討、セクションでの共有レポート、発表会、GW	9
	教育	教育研修Ⅲ	後輩を導く（指導する）力を養う 1 指導者としての役割が理解できる 2 対象を捉えることができる 3 対象に合わせた関わりを考えることができる 4 対象に合わせた関わりができる	講義、ロールプレイ、プロセスレコード検討、GW、レポート	10

	管理	リーダーシップ III	組織とは何かがわかる 1 組織の定義を理解できる 2 当院の組織図を理解できる 3 SWOT 分析という手法を知ることができる 4 SWOT を用いて自セクションを分析することができる 5 分析結果をふまえて、実践計画をたてることができる 6 今自身に求められていること、できることが表現できる	講義、GW、課題、 SWOT 分析、レポート	9
ステップ IV	実践	看護過程IV	既存の理論を活用して看護実践を行い、自己の看護を深める 1. 選択した理論の概要について説明できる 2. 看護理論に基づいた看護過程の展開ができる 3. 看護実践を意味づけ、自己の看護観について考えられる	実践、事例研究、発表会	0
	教育	教育研修IV	組織の人材育成に貢献する 1. 教育的関わりを実践する 1) 意図的な関わりを重視した教育計画を立案できる 2) 計画に基づき教育的な関わりを実践できる 3) 意図的に実施した教育的関わりを評価することができる	県立病院機構 看護職員研修会「人材育成」と読み替え	1
	管理	リーダーシップ IV	看護管理に必要な能力・視点を養う 1. 組織のミッション・ビジョンに基づく、自セクションの使命がわかる 1)当院のミッション・ビジョンが理解できる 2)ミッション・ビジョンに基づく自セクションの使命がわかる 2.既存の組織分析手法を用いて、自セクションの分析ができる 1)必要な客観的データを収集できる 2)改善提案に向けた実践計画立案できる 3.改善提案ができる 1)計画に基づく実践ができる	県立病院機構 看護職員研修会「問題解決・リーダーシップ」と読み替え	3
あしかみベ ーシック		フレッシュパートナ ー編	パートナーシップ・マインドを理解し、新人の自己目標・課題達成を支援することが出来る	講義	20
		パートナーシップ・ マインド編	意義・効果について理解し、パートナーシップ・マインドを育む	講義	148
		倫理	看護実践における倫理課題を理解し、その解決策に向けた行動がとれる。	講義、GW	53
		看護研究	現場の事象を捉え、表現する力を培う	講義、GW	44

看護局主催学習会

日程	テーマ	講師	人数
9月19日 17:45～19:45	ストレングスファインダーセミナー ～あなたは本当の自分の強みに 気づいていますか～	ダイヤモンドコーチングサービス 代表 渡辺 久美子 先生	16

平成 29 年度 オープンセミナー 開催実績

研修名	研修内容	講師	参加人数
熊本地震における医療救護班活動 ～看護が求められる アセスメント力～	神奈川県が派遣する医療救護班第2班として活動しました。看護のアセスメント力について事例を用いて考えます	救急看護認定看護師 / DMAT 隊員 生田正美	51
ともに感じてみよう！ 家族看護のおもしろさ～基礎編～	家族の捉え方を『楽しく』学習します	家族支援専門看護師 櫻井大輔	8
災害に強い病院を目指す！ 第1回 ～災害の基礎編～	災害医療を考えていく上での基本的な知識を学習します	救急看護認定看護師 / DMAT 隊員 生田正美	42
がんの痛みを考えよう ～痛みの基礎知識～	がん性疼痛緩和の基本的知識を学ぶ	がん性疼痛看護認定看護師 善波いづみ	9
災害に強い病院を目指す！ 第2回 ～災害のトリアージ編～	災害時トリアージの考えを知り、スタート法を机上学習します	救急看護認定看護師 / DMAT 隊員 生田正美	32
災害に強い病院を目指す！ 第3回 ～災害時の医療体制編～	災害時、病院機能を維持する方法を考えます	救急看護認定看護師 / DMAT 隊員 生田正美	31
がんの痛みを考えよう ～薬の基礎知識～	がん性疼痛緩和の薬の基礎知識を学ぶ	がん性疼痛看護認定看護師 丸岡陽子	19
看取りのケア ～患者編～	看取りのそれぞれの時期において私たちができることを一緒に考えます	緩和ケア認定看護師 曾我輝之・山口ひろみ・桐生光代 家族支援専門看護師 櫻井大輔	17
看取りのケア ～家族編～	事例を用いて看取り時の家族対応について考えます	家族支援専門看護師 櫻井大輔 緩和ケア認定看護師 曾我輝之・山口ひろみ・桐生光代	32
緩和ケアとしての 補完代替療法 ～アロマセラピーの基本知識～	緩和ケアの補完代替療法として、アロマセラピーを実践するための基礎知識・技術を学ぶ	緩和ケア認定看護師 桐生光代 山口ひろみ・曾我輝之	14
がんの痛みを考えよう！ ～事例から全人的痛みについて～	全人的痛みについて事例から考えます	がん性疼痛看護認定看護師 香川仁美	9

平成 29 年度 学会・院外研修 参加実績

<学会>

学 会 名 (分 野)	開催地	開 催 日	人数
日本看護学会 学術集会 急性期看護	岐阜	9 月 7, 8 日	1
日本看護学会 学術集会 ヘルスプロモーション	山口	9 月 21, 22 日	1
第 41 回日本死の臨床研究会年次大会	秋田	10 月 7, 8 日	1
第 22 回日本緩和医療学会学術大会	横浜	6 月 23, 24 日	2
第 31 回日本手術看護学会年次大会	大阪	11 月 3, 4 日	1
第 19 回日本褥瘡学会学術集会	岩手	9 月 14, 15 日	1
2017 年度関東甲信越・東京支部 周術期管理チームセミナー	新宿	9 月 2 日	1
全国自治体病院学会	千葉	10 月 19, 20 日	1

<長期研修派遣>

受 講 分 野	開 催 期 間	人数
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 認定看護管理者教育課程 サードレベル	6 月から 10 月	2
国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	9 月から 3 月	1
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 医療安全管理者養成研修	10 月から 2 月	1
国際医療福祉大学 保健師助産師看護師実習指導者講習会	7 月から 11 月	1

<神奈川県立病院機構 看護職員研修>

コース名	開 催 日	会 場	人数
医療安全	6 月 29 日 9 月 7 日	神奈川県立病院機構本部	2
看護倫理/臨床倫理	7 月 24 日 10 月 30 日	神奈川県立病院機構本部	2
人材育成	6 月 9 日 7 月 28 日 9 月 25 日	神奈川県立病院機構本部	3
問題解決・リーダーシップ	6 月 16 日 11 月 17 日	神奈川県立病院機構本部	5

<神奈川県看護協会>

会場: 神奈川県総合医療

会館

研 修 名	開 催 日	人数
看護記録の本質 ～日々の看護実践を現すために～	6 月 23 日	2
入院から行う退院支援 ～ベッドサイドから地域へ～	6 月 26 日 9 月 29 日	2
【インターネット配信研修/オンデマンド】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	7 月 19, 20 日	3
高齢者支援と認知症患者の看護	7 月 24, 25 日 9 月 4, 5 日	2
リスクセンスを高める ～やってみよう KYT～	7 月 18 日	1
わかりやすい栄養管理 ～栄養代謝のアセスメントとチームアプローチ～	7 月 28 日	2
がん看護の基本 ～がん患者を支えるチーム医療～	10 月 13 日	1
がん化学療法における看護の役割	12 月 15 日	1
めざせ！安全な医療現場 ～ヒューマンエラーを防ごう～	H30 年 1 月 11 日	1
多職種で防ぐ転倒・転落・誤薬	H30 年 2 月 1 日	1
緩和ケアにおける看護の役割	H30 年 2 月 9 日	1
災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～	H30 年 3 月 8, 9 日	1

<その他の研修>

主 催	研 修 名	開 催 日	人数
東海大学看護師 キャリア支援センター	JTAS コース	5 月 20, 21 日 8 月 20, 21 日	3
日本母体救命システム 普及協議会	J-MELS ベーシックコース	5 月 28 日 7 月 2 日 7 月 15, 16 日 9 月 30 日 10 月 6 日 11 月 25 日	6
日本母体救命システム 普及協議会	J-CIMELS ベーシックコース	5 月 28 日	1
神奈川県立 よこはま看護専門学校	実習指導者研修会	8 月 25 日	1
神奈川県看護部長会	神奈川県看護部長会研修会	11 月 9 日	1

	「看護職の働き方・休み方改善と最近の取り組み」 「平成 30 年度診療報酬改定をふまえた戦略的病院経営」		
厚生労働省	これからの医療を支える看護師の特定行為研修	12 月 20 日	3
日本看護職副院長連絡協議会	第 3 回講演会・研修会 「2018 年診療報酬改定 看護職員の役割と院内の運用や地域連携について」 「平成 30 年度診療・介護報酬同時改定について」	H30 年 2 月 16 日	4

＜その他、公開授業への参加、施設見学等＞

研修場所	研修内容	日程	人数
南足柄訪問看護ステーション	訪問看護ステーションでの見学研修	6 月の 2 日間 10 月の 2 日間 11 月の 2 日間 H30 年 2 月の 2 日間	各 1
神奈川県立平塚看護大学校	公開授業 (老年看護学Ⅱ日常生活援助の技術)	9 月 12 日	1
神奈川県立平塚看護大学校	公開授業（卒業前演習）への参加	H30 年 2 月 23 日	3
厚木市立病院 外来 小田原市立病院 産科病棟 秦野赤十字病院 手術室 秦野赤十字病院 救急外来	看護管理者見学研修	9 月 14 日 11 月 13 日 12 月 20 日 12 月 22 日	2 1 1 1
JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院	外来化学療法センター見学	11 月 10 日	2
神奈川県立がんセンター	手術室見学	8 月 16 日	2

平成 29 年度 実務研修 受入実績

研修者所属	研修内容	日程	人数
神奈川県立こども医療センター	手術室管理の見学	8 月 2, 3 日	1
神奈川県立こども医療センター	防災管理等の見学	9-10 月の 2 日間	1
人間総合科大学 人間科学部 心身健康科学科 看護教員養成コース	教育実習	11 月 14, 16, 20 日	1

平成 29 年度 施設見学等 受入実績

インターンシップ (平成 30 年 3 月 31 日現在)

	実施日	人数	参加者の在籍校
第 1 回	4 月 15 日	7	神奈川県立よこはま看護専門学校 厚木看護専門学校、帝京大学
第 2 回	6 月 3 日	7	神奈川県立平塚看護大学校、神奈川工科大学 静岡県立東部看護専門学校、積善会看護専門学校
第 3 回	8 月 1 日	14	神奈川県立平塚看護大学校 神奈川県立よこはま看護専門学校、厚木看護専門学校
第 4 回	8 月 4 日	11	神奈川県立平塚看護大学校、湘南平塚看護専門学校 神奈川県立よこはま看護専門学校、小澤高等看護学院
第 5 回	3 月 20 日	13	神奈川県立平塚看護大学校、神奈川工科大学 神奈川県立よこはま看護専門学校、国際医療福祉大学
第 6 回	3 月 27 日	7	神奈川県立平塚看護大学校、茅ヶ崎看護専門学校 国際医療福祉大学

全 6 回中 6 回開催、59 名参加

病院見学 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数	月	人数
4 月	0	5 月	0	6 月	0	7 月	0	8 月	2
9 月	0	10 月	1	11 月	4	12 月	1	1 月	3
2 月	0	3 月	0	計 11 名					

平成 29 年度 高校生職業体験会 開催実績

高校生一日看護体験「観て、聴いて、感じて!! 看護のお仕事 in 足柄上病院」

目 的	看護師を目指す地域の高校生が体験を通して、医療・看護系進路選択の一助とする
日 程	7 月 28 日（金） 9:00～15:00
内 容	看護師の仕事について、スライド視聴 救急車へ乗車体験、集合写真撮影、病棟体験 手術室見学およびガウンテクニック体験、記念撮影 看護技術体験（点滴接続・滴下、ガーゼ固定） 看護師養成校の説明（神奈川県立よこはま看護専門学校）
参加者の 在籍校	県立足柄高等学校、県立大井高等学校、県立小田原高等学校、県立秦野曾屋高等学校 県立二宮高等学校、新名学園旭丘高等学校、立花学園高等学校
在籍学年	1～3 年
参加者数	12 名

高校生看護補助者体験

目 的	職業体験の機会を通して、医療・介護系進路選択の一助とする
日 程	12 月 15 日（金）、12 月 19 日（火） 14:00～17:00
内 容	記念撮影、病院で働く看護補助者さんの仕事紹介 病棟体験：2A・3A・4A・5A・5B 病院見学
対 象	神奈川県立大井高校
在籍学年	1～3 年生
参加者数	延べ 12 名

2017

10 各種活動報告

(1) 感染症対策会議（感染管理室）活動報告

院内感染とは医療機関において患者が現疾患と別に新たに得た感染症や職員が医療機関において感染した感染症のことです。患者・家族・職員、病院に関わる全ての人に対して適切な感染防御対策に取り組むことを指します。

感染管理室は感染対策室長（副院長・感染症医）、室長補佐（内科医師・感染症医）1名、室員（感染管理認定看護師）1名から構成され活動しています。

1. 感染防止対策加算1・地域連携加算について

感染防止対策加算1・地域連携加算を継続取得。感染防止対策加算1では、陽風会高台病院、財団報徳会西湘病院、温知会間中病院と連携した。会議は4回/年実施した。防止対策地域連携加算では、平塚市民病院を評価し、大和市立病院による評価を受けた。感染防止対策地域連携加算相互評価の総合評価「A:適切に行われている」であった。

2. 神奈川県立病院感染防止対策会議（4回実施/年）

神奈川県保健福祉局保健医療部県立病院課担当、県立病院機構本部職員と6病院（当院・こども医療センター・精神医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター・神奈川リハビリテーション病院）の感染担当で、感染防止対策の推進に向けて情報共有、感染に関する教育の検討などを行った。

3. 感染症対策会議（12回実施/年）

感染症の防止、発生時の措置等（感染症対策）及び感染症対策を推進する組織に関し必要な事項を定める会議である。Infection control team（ICT）ミーティングの報告や感染リンクナース会議の報告を受け、当院の方針を決定した。

4. Infection control team（ICT）ミーティング（46回実施/年）

感染対策室長、室長補佐1名、細菌検査技師（感染制御認定臨床微生物検査技師）1名、薬剤師（感染制御薬剤師）1名、事務職員1名、室員1名から構成される。毎週木曜日にミーティングを開催し、①血液培養結果②耐性菌検出③抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。院内感染防止対策マニュアルの改訂、新型インフルエンザ等の対策、結核接触者健診、その他の感染症対策などを検討し、感染症対策会議に提案した。

5. その他

- ・耐性菌サーベイランスは、感染患者割合（延べ入院患者に対する感染患者数×1,000）に対してMRSA 2.04（昨年 2.00）ESBL 2.03（昨年 2.49）、MRSA は例年通り、ESBL はやや減少傾向であった。
- ・厚労省院内感染防止対策サーベイランス事業（JANIS）では、検査部門・全入院患者部門及び手術部位感染（SSI）部門に参加した。

- ・細菌検査総件数は年間 4,141 件、血液培養は年間 1,617 件であった。特に血液培養の 2 セット採取を推奨し、その結果 2 セット以上採取率は 98.7% と効果があった。
- ・季節性インフルエンザ対策は、「神奈川県インフルエンザ定点報告数」と院内の入院患者状況から面会者にサージカルマスクの着用を義務付け、「咳エチケット」ポスター掲示で啓蒙した。職員のインフルエンザワクチンの接種率は 90%（昨年 91%）、ワクチン供給がなくワクチン接種時期が例年の 10 月下旬から 11 月下旬に延びた影響も考えられる。インフルエンザによる職員の就業制限は 44 名。入院患者の院内感染疑いは 6 事例だった。2 病棟で感染拡大があり、うち 1 病棟の入院制限と関連者に予防内服を実施した。例年通りのインフルエンザ症状が見られない状況もあり 2 月から 3 月中旬まで院内面会禁止とした。その後は感染拡大することはなかった。
- ・結核対策では 2 名（前年度 3 名）の患者が結核と診断され、職員延べ 24 名に接触者健診を実施した。院内感染者はなかった。
- ・抗菌薬の適正使用に対して届出制薬剤は提出率 93%、VCM（バンコマイシン）の TDM（治療薬物モニタリング）解析を 19 名に実施した。
- ・「感染症便り」は 13 回発行し、タイムリーな情報提供に努めることができた。
- ・感染リンクナース会議では、全看護職員に手洗いチェッカーによる手洗いの研修、手指衛生の推進、ノロウイルスに関する勉強会と演習を実施し、看護職員の周知を図った。
- ・研修は院内、院外に向けて実施。院内は、非常勤職員や変則勤務者などが参加できるように、DVD 研修等を企画した。年間計 23 回の研修を実施し、受講者は延べ 1,323 名であった。院外は病院や中井やまゆり園など多施設で実施した。

院内研修

主な研修テーマ	参加人数
新入職者等	1 2 8
感染対策の基本・医療関連感染について	2 7 8
職業感染対策など	3 1 7
結核・エイズ・肝炎等の疾患について	1 8 1
洗浄・消毒・滅菌 内視鏡関連など	1 2 4
環境関連・看護業務関連から	3 8
インフルエンザ感染防止対策・その他	1 9 1
新型インフルエンザ等	6 6

院外研修

施設	研修内容
神奈川県立中井やまゆり園	インフルエンザ・感染性胃腸炎
救急救命士	感染対策の基本

(2) 医療安全推進活動報告

- 医療安全研修は、技術演習、医療機器取り扱いと管理を中心に研修を実施した。医療安全推進室主催の研修は延べ1076人の出席であった。全職員の84.3%（前年度－8.2%）が10ポイントの取得に至った。
- 「医療安全管理会議」「リスクマネジメント会議」を中心に事例検討、医療安全巡回、医療安全推進ニュースの発行を継続し、職員への啓蒙を推進した。
- 有害事象・合併症報告は47件（H28年度49件）であり、内訳は造影剤による副作用が最も多い（22件）。当該部署内では事例の共有や対策検討は行えているが、部門を超えて症例検討会を開催することが課題である。
- 内服薬の誤投薬防止。「経管投与不可または経管投与注意薬剤（錠剤・カプセル剤）」の一覧表を作成し、電子カルテの経管投与不可・経管投与注意薬フォルダに追加した。「グレープフルーツ禁止薬一覧」を作成し周知することで、グレープフルーツ禁止率が53%増加した。
- 患者誤認防止の活動で、1週間の病棟入院患者と放射線科に来る入院患者のリストバンド着用率調査を実施し、着用率はいずれも96%だった。リストバンド着用を注意喚起すると共に、電子カルテではリストバンドのバーコード認証が必要なことの周知を促した。
- 誤配膳防止の取り組みとして、転棟転室の増加を踏まえ患者移動時の連絡方法をルール化した。ピクトグラムの表示間違い事例を報告し注意喚起することが、誤配膳防止につながった。
- 転倒・転落については、毎月の会議で月毎の傾向を共有した。院内ラウンドで転倒・転落に関する記録の内部監査を実施し、決められたタイミングの評価は出来ているが、評価内容を看護に活かすことが課題とわかった。次年度も、転倒転落アセスメント実施率の向上、個別性のある看護計画の立案など職員全員が転倒転落予防対策に臨むようにする。
- 院内急変対応のスキルアップを目的に、救命救急運営会議と連携して、急変時対応BLSを企画した。急変時対応BLSを5月～8月に7回実施。医師への周知・参加を促した結果70%の医師が参加した。急変時シミュレーションは9月～2月に各部署内で5回実施、115名が参加した。合計で224名が研修に参加した。多職種で行ったシミュレーションは、チームリーダーの役割及びコミュニケーションが課題とわかり継続した取組が必要である。
- 離院・離棟時の対応の周知を目的に、2月に離院対象者は当日決定としシミュレーションを実施した。各部署は対応マニュアルに基づいて行動できていた。マニュアルの保管場所がわからない、マニュアルの内容を知らないなどの状況が確認された。シミュレーションを繰り返すことで、無断離院時の対応を身に着ける事を課題として次年度も取り組んでいく。
- 医療安全週間を開催し、患者や来院者を対象に「健口で美味しい食事」についての情報提供と相談に対応する参加型のイベントを企画した。医療安全リーフレットつきマスクを配布し医療安全活動のアピールを行った。各部署は5S活動に関する医療安全取り組みをパネル展示した。

① 会議の開催

医療安全管理会議 毎月1回 第4金曜日 / リスクマネジメント会議 毎月1回 第3金曜日に開催

	開催日	主な検討内容
1	4月21日／ 4月28日	会議要綱確認. 3月分ヒヤリハット医療事故報告. 医療安全推進室目標. 今年度の活動計画検討. 医療安全研修報告. 4月医療安全推進ニュース(案)検討. 平成28年度ヒヤリハット事例医療事故・クレーム集計報告・医療安全研修報告
2	5月19日／ 5月26日	4月分ヒヤリハット医療事故報告. 県立病院機構医療安全推進規定等の制定の趣旨説明. 各チームの活動報告(医療安全週間、転倒転落、食品アレルギー対策、薬品に関する安全管理. 離院発生時の対応. 医療の質と向上. 院内急変対応の整備. 患者誤認防止対策. 講演会・報告会). 医療安全研修計画・医療安全巡回企画案検討. 5月医療安全推進ニュース(案)検討
3	6月16日／ 6月23日	5月分ヒヤリハット医療事故報告. 平成28年度県立病院ヒヤリハット事例及びアクシデント等の公表について. 各チームの活動報告. 医療安全巡回「禁食ピクト、食前検査ピクトが正しく行われているか」. 6月医療安全推進ニュース(案)検討. 診療情報提供書の受け渡し方法. 医療機器時刻合わせについて.

4	7月21日／ 7月28日	6月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回集計報告「禁食ピクト、食前検査ピクトが正しく行われているか」事例検討:放射線科(CT 終了時に急変した事例). 7月医療安全推進ニュース(案)検討.
5	8月書面会議	7月分ヒヤリハット医療事故報告. 機構本部 第2回医療安全ワーキング報告. 各チーム活動報告. 8月医療安全推進ニュース(案)検討.
6	9月15日／ 書面会議	8月分ヒヤリハット医療事故報告. 適時調査に向けて指摘事項の対応について. 各チームの活動報告. 事例検討:看護局(抗がん剤の流速間違いの事例)Im SAFER分析法). 9月医療安全推進ニュース(案)検討.
7	10月20日／ 10月27日	9月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回「転倒転落に関する書類が正しく記載されているか、アセスメントシート等が活用されているか」の調査. 10月医療安全推進ニュース(案)検討.
8	11月17日／ 11月24日	10月分ヒヤリハット医療事故報告. 第2四半期ヒヤリ・ハット事例およびアクシデント報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回集計報告(転倒転落に関する書類が正しく記載されているか、アセスメントシート等が活用されているかの調査). 事例検討:薬剤科(継続指示のある持参薬が1週間内服されずにいた事例). 11月医療安全推進ニュース(案)検討.
9	12月15日／ 12月22日	11月ヒヤリハット医療事故報告. 記録の取り扱いに関すること. 適時調査の指摘事項を受けて. 各チームの活動報告. 事例検討:検査科(ホルター心電図電極により皮膚かぶれが生じた事例). 12月医療安全推進ニュース(案)検討.
10	書面会議／ 1月26日	12月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 1月医療安全推進ニュース(案)検討. 停電発生(1月19日)に関すること
11	2月16日／ 書面会議	1月ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 活動報告会について. 2月医療安全推進ニュース(案)検討.
12	3月16日／ 書面会議	2月ヒヤリハット医療事故報告. 処方カレンダーの運用について. 3月医療安全推進ニュース(案)検討.

② 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	DC(除細動機)の取り扱いと管理	1	47
		全職員	輸液ポンプTE161シリンジポンプの取り扱い	1	23
		全職員	急変時対応BLS・シミュレーション研修	12	224
		全職員	5Sについて理解を深める	1	11
		全職員	明日からできる整形外科看護の実際	1	20
		全職員	AHA BLS ヘルスクエアプロバイダーコース	1	14
		全職員	心電図モニタ講習会	2	78
		全職員	看護補助職員研修	3	37
		全職員	研修医による歩行介助	1	21
		全職員	痛みの基礎知識	1	8
		全職員	NST摂食嚥下の勉強会	1	11
		全職員	経鼻栄養チューブの挿入と管理	1	21
		全職員	IABP勉強会	1	17
		全職員	エコーガイド下中心静脈カテーテルの挿入方法と管理	1	16
		全職員	ケースカンファレンス	1	26
		全職員	急変対応勉強会	1	15
		全職員	術後閉鎖式ドレーン「バック」マルチチャネル「ドレーン」セット」製品導入説明会	2	24
		全職員	各セクションの取り組み展示評価	1	90
		全職員	地域医療連携室における5S取り組み実践発表		9
		全職員	トランスについて	1	10
		全職員	医薬品の安全使用について	1	6
		全職員	CVカテーテルについて ガイドラインを含めて知しましょう	1	6
		全職員	認知症患者の意思決定支援～倫理的側面から考える～	1	28
		全職員	医療ガス供給設備・安全な取り扱い方	1	16
		全職員	褥瘡リスクアセスメント	1	11
		全職員	褥瘡処置	1	11
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員 一部対象限定 看護職員 研修医	高機能エアマットオスカーの取り扱い方法 退院後のケースカンファレンス 腹部アンギオ ユマニチュード ネーザルサイフロア 熊本地震における医療救護活動 病院食試食会 背抜き足抜き介助グローブの活用 敗血症 大腸カメラ用手圧迫法 褥瘡災害の基礎知識 痛みの基礎知識 災害時のトリアージ 酸素療法 糖尿病勉強会 オートパッドの管理 入院治療後の筋力低下 薬の基礎知識 等 計53研修	53	1,027
3	医療安全・感染防止研修		感染症対策委員会活動報告参照		
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	4	53
5	採用時研修 (オリエンテーション)	転入・新採用職員 研修医	転入・新採用職員研修医採用時研修	3	65
6	DVD研修	中途採用	中途採用者研修	5	6
		全職員	医療安全DVD視聴	17	152

③ 医療安全週間

職員の医療安全に対する意識向上と、患者や来院者の医療安全活動への参画推進をテーマに11月8日～11月17日に開催した。期間中は、地域参画を推進するため①近隣児童生徒の絵画コンクール（応募作品10点）、②来院者への医療安全広報（マスク・医療安全リーフレット配布500枚）、参加型イベントを企画した。参加型企画は「健口で美味しい食事を！」をテーマに情報提供と相談対応を外来ホールで実施、約30名の参加があった。各部門の展示は、5S活動の取り組みパネルを作成し、3号館1階の廊下に展示した。19セッション参加があり、テーマを設定したことで具体的な医療安全活動を知る機会となった。

④ 平成29年度事故報告

神奈川県立病院機構においては、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの内容に応じて、そのレベルを以下のように設定しており、当院もそれに準じてデータをまとめた。

【用語の定義】

医療事故

医療法における医療事故の定義と同一とする。すなわち「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であつて、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったものとして厚生労働省令で定めるもの」をいう。なお、医療事故に該当するかどうかの判断に当たっては過誤の有無は問わないから、過誤がなくても医療事故となる場合もあり、過誤があっても医療事故とはならない場合もあることを留意する。

アクシデント

過誤の有無に関わらず、医療の全過程において発生する下記（ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントのレベル）のレベル3b以上の事例のことをいう。

ヒヤリ・ハット事例

ヒヤリ・ハット事例とは、日常診療の場で、患者に医療又は管理を行う上で、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした事例で、アクシデントに至らなかったものをいう。

以上の医療事故、アクシデント、ヒヤリ・ハット事例を包括的に「医療事故等」という。

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントのレベル（表）

区分	レベル		内 容
ヒヤリ・ハット事例	レベル0		間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1		間違ったことが実施したが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
	レベル3	a	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった軽微な処置・治療の必要性が生じた場合
b		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療の必要性が生じた場合	
アクシデント	レベル4		実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5		実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

ア 全体報告数（表1 図1）

リスク感性の向上と報告の透明性を維持するため、レベル0（未然に防げた）と1（患者に影響が無かった）の報告増加とレベル2（患者に影響を及ぼした可能性）以上の報告減少を目標としている。

レベル0の報告件数は216件から303件に増加、レベル0の報告は1,033件から1,231件に増加、全体の報告数は増加した。

表1 インシデント・アクシデント年度別報告数

区分		レベル	27 年度		28 年度		29 年度	
ヒヤリ・ハット事例		0	221	1,118	216	1,249	303	1,516
		1	960		1033		1,213	
		アクシデント		2	163	184	214	235
3a	20			21	21			
3b	1			0	2			
4	0			0	0			
5	0			0	0			
合 計			1,365		1,484		1,720	
レベル 2 以上発生率※ 1			13.5%		15.80%		13.26%	
入院における報告	全発生率 % ※ 2		1.48%		2.00%		2.11%	
	レベル 0,1 発生率% ※ 3		1.28%		1.70%		1.85%	
	レベル 2 以上発生率‰ ※ 4		2.48‰		3.16‰		2.54‰	

※1 アクシデント数／全体数

※2 入院分報告総数／延べ入院患者数

※3 入院分インシデント数／延べ入院患者数

※4 入院分アクシデント数／延べ入院患者数

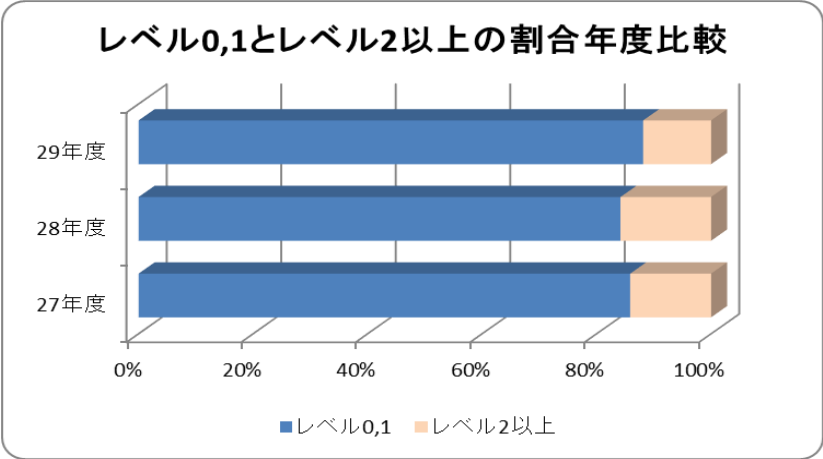


図1 レベル0,1（インシデント）とレベル2 以上（アクシデント）の割合年度比較

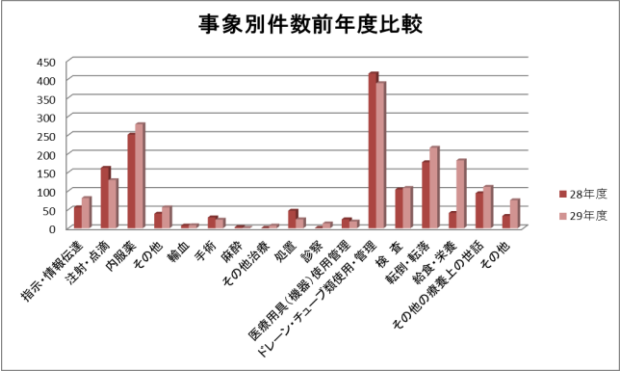
イ 事象別事故報告（表2、図2）

上位3項目は例年と同様でドレーン・チューブ類に関するもの389件（－26件）22.6%が最も報告が多く、2位：内服薬279件（＋28件）16.2%、3位：転倒・転落で216件（＋39件）12.6%。4位は注射・点滴から給食・栄養182件（＋141件）10.6%に変わった。これは、「ピクトグラム」の誤表示により配膳ミスを未然防止した事例報告によるもので、配膳委託業者の適切な表示確認の協力もあり、誤配膳防止につながった。

表2 事象別事故報告件数

事象	①平成29年度		②平成28年度		①－② 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
指示・情報伝達	81	4.7%	56	3.8%	25
薬剤（処方・与薬・調剤・製剤管理）	464	27.0%	452	30.5%	12
注射・点滴	129	7.5%	162	10.9%	-33
内服薬	279	16.2%	251	16.9%	28
その他	56	3.3%	39	2.6%	17
輸血	8	0.5%	7	0.5%	1
治療・処置・診察	68	4.0%	81	5.5%	-13
手術	23	1.3%	29	2.0%	-6
麻酔	1	0.1%	3	0.2%	-2
その他治療	7	0.4%	1	0.1%	6
処置	24	1.4%	47	3.2%	-23
診察	13	0.8%	1	0.1%	12
医療用具（機器）使用管理	18	1.0%	24	1.6%	-6
ドレーン・チューブ類使用・管理	389	22.6%	415	28.0%	-26
検査	108	6.3%	104	7.0%	4
療養上の場面	509	29.6%	312	21.0%	197
転倒・転落	216	12.6%	177	11.9%	39
給食・栄養	182	10.6%	41	2.8%	141
その他	111	6.5%	94	6.3%	17
その他	75	4.4%	33	2.2%	42
合 計	1,720	100.0%	1,484	100.0%	236

図2 事象別件数 前年度比



ウ 時間帯別事故割合（表3、図3）

時間帯別では、12～13時台、次いで10～11時台、16～17時台と勤務交代時間や検査・処置、食事時間の移乗や与薬が重なる時間である。また夜間帯の報告件数も一定の割合で継続し、点滴の自己抜去や排泄行為等に伴う転倒転落が事象の大半を占めている。

表3 時間帯別事故割合

発生時間帯	①平成29年度		②平成28年度		①－② 件数
	件 数	構成比	件 数	構成比	
0～1時台	86	5.0%	79	5.3%	7
2～3時台	59	3.4%	61	4.1%	-2
4～5時台	69	4.0%	58	3.9%	11
6～7時台	135	7.8%	86	5.8%	49
8～9時台	158	9.2%	147	9.9%	11
10～11時台	204	11.9%	190	12.8%	14
12～13時台	244	14.2%	172	11.6%	72
14～15時台	163	9.5%	159	10.7%	4
16～17時台	179	10.4%	196	13.2%	-17
18～19時台	165	9.6%	129	8.7%	36
20～21時台	95	5.5%	75	5.1%	20
22～23時台	89	5.2%	83	5.6%	6
その他(時間帯不明等)	74	4.3%	49	3.3%	25
合 計	1,720	100.0%	1,484	100.0%	236

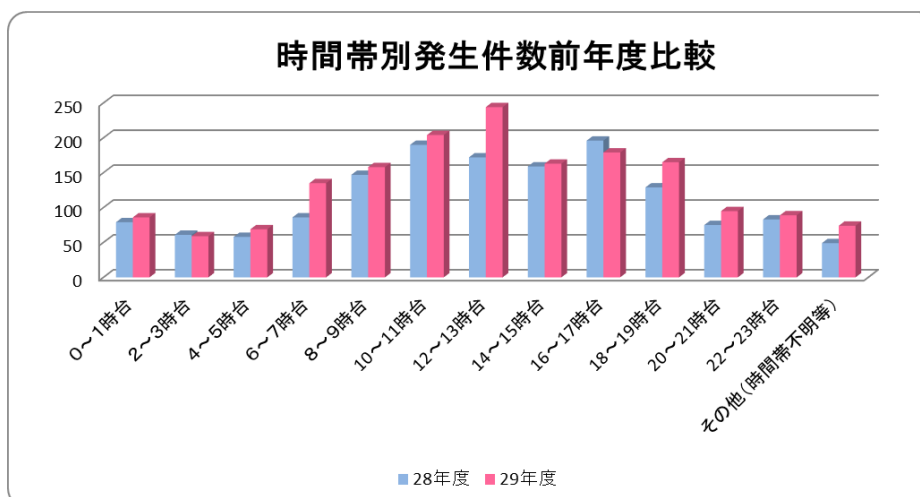


図3 発生時間帯別事故件数 前年度比較

次年度も引き続き命に関わる重大事故レベル4・5を起こさないように取り組んでいく。またヒヤリ・ハット事例アクシデント報告のレベル0,1報告を共有し対策を講じることで、レベル2以上を減らすことに努力する。三重大事故対策の薬剤・ドレーンチューブ関連においては確認のルール徹底、高齢者の入院が増加する背景においては、多職種協働で転倒転落対策強化が重点課題となる。転倒転落アセスメントシートの調査からもシート活用は定着してきている。アセスメント内容をいかした個別性のある対策・実施を強化していく。そして医療安全醸成に向け医療安全研修・教育など医療の質につながるような企画を講じていく。

(3) クリニカルパス検討会議

平成 30 年 2 月の電子カルテ導入に向けて、現行のクリニカルパスから電子カルテの様式に合わせて入力をし、一部内容を修正した。短期間で電子カルテの様式に変更する必要があったため、会議メンバーの他、臨時でパス入力をする担当者も加えて準備を行った。電子カルテ運用後は、電子カルテ活用後の改善、情報共有、電子カルテによる統計の見方など効果的な会議運用が図れた。

①新規のパスの数：2 件

- ・自己導尿
- ・精巣上体炎

②電子カルテに入れたパスの数：55 件

- ・心臓カテーテル検査
- ・ペースメーカー電池交換
- ・ペースメーカー新規植え込み
- ・経皮的冠動脈形成術(PCI)
- ・腰椎手術
- ・慢性硬膜下血腫
- ・脊髄腔造影（脳神経外科用） 1 泊 2 日
- ・脊髄腔造影（脳神経外科用） 2 泊 3 日
- ・手根管症候群
- ・頸椎手術
- ・白内障(左・右)
- ・産褥
- ・大腸骨頸部骨折
- ・人工膝関節置換術(左・右)
- ・人工股関節置換術(左・右)
- ・橈骨遠位端骨折(左・右)
- ・脊髄造影検査入院
- ・腰椎手術
- ・足関節骨折(左・右)
- ・抜釘術(足関節・橈骨・鎖骨の 3 種)
- ・鎖骨骨折
- ・胃癌手術
- ・大腸癌手術
- ・成人鼠径ヘルニア根治術
- ・虫垂炎
- ・大腸癌化学療法
- ・腹腔鏡下胆嚢摘出術
- ・乳癌手術(左・右)
- ・自然気胸
- ・前立腺針生検術
- ・経尿道的前立腺切除術
- ・経尿道的膀胱術
- ・結石破壊術
- ・ステント挿入・交換術
（局麻・腰麻の 2 種）
- ・前立腺全摘出術
- ・腎摘出術
- ・内視鏡的逆行性胆管膵管造影
- ・内視鏡的胃粘膜切除術・粘膜下層剥離術
- ・大腸内視鏡・粘膜切除術 1 泊 2 日
- ・大腸内視鏡・粘膜切除術 2 泊 4 日
- ・腹部血管造影
- ・肝動脈化学塞栓術・ラジオ波焼灼術、
経皮エタノール注入療法、肝生検
- ・内視鏡下胃瘻造設術・胃瘻交換
- ・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術
- ・がん化学療法共通（内科）
- ・膵臓癌化学療法
- ・待機的食道静脈瘤結紮術
- ・気管支鏡検査
- ・糖尿病 2 週間入院
- ・带状疱疹

(4) 災害医療対策室

救急医療の現状については、第3章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。
研修・訓練・協議会等の取組みについては次のとおりです。

①院内防災訓練

大規模地震の発生を想定したトリアージ訓練及び、実態に則した設定での消防訓練を実施した。
(平成29年4月1日～平成30年3月31日 計5回 参加者延185名)

②訓練・研修への参加

- ・平成29年6月30日 平成29年度神奈川県災害時医療救護活動研修会1名参加
- ・平成29年7月29日 大規模地震時医療活動訓練 DMAT1隊参加
場所：三重県
概要：南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関するDMATの参集、活動、広域医療搬送等実動訓練
- ・平成29年9月1日 第38回九都県市合同防災訓練 DMAT1隊、DMAT・DMAT-L混合1隊参加
場所：酒匂川周辺、厚木航空基地
概要：現場救護所の運営訓練、医療救護本部の運営訓練、傷病者の搬送訓練（航空機・陸路搬送）
- ・平成30年2月10日 関東ブロックDMAT訓練 DMAT1隊参加
場所：栃木県
概要：各都県DMATや関係機関と連携し、被災地における緊急治療、病院支援、病院避難及び航空医療搬送等の訓練
- ・平成30年2月24日～25日 DMAT-L隊員養成研修に業務調整員の2名受講し修了した。

(5) 褥瘡対策会議

褥瘡対策チーム活動

褥瘡有病者（院内外発生者）の増加（+1%）を認めた。院外褥瘡発生患者の多くは、在宅療養中に日常生活動作が低下し緊急入院となったケースに対し、院内褥瘡発生患者の多くは、ベッド上背上げに伴うケースであった。背上げに関する予防対策として、背抜き・足抜きが一手間でありケアが不足しやすい。そのため、背上げされたときの苦痛を理解し、日々の看護実践に繋げる事を目的に体験型演習を実施した。参加した看護職員 86 人全員が背上げ時の苦痛、車椅子乗車での座位保持をする大切さを体感されていたので、それを看護に活かすことができるよう繰り返し伝達していく必要がある。今後も褥瘡危険因子保有者の増加が見込まれるため、更なる予防対策の工夫が必要である。

褥瘡関連データ

	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
褥瘡危険因子保有者数	2,172 名	2,070 名	2,004 名
褥瘡有病者数	211 名	164 名	176 名
院内発生	73 名	54 名	49 名
院外発生	140 名	111 名	129 名
入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合	40.5%	36.2%	32.8%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	3.9%	2.9%	2.9%
院内発生者の割合	1.4%	1%	0.8%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	1,009 名	886 名	917 名

(6) NST・摂食嚥下対策会議

栄養サポートチーム（NST）カンファレンス及び回診の実施状況

NST医師を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師により、中高リスク者のうちNST対象者についてカンファレンスおよび回診を行い、安全で効率的な栄養計画を主治医に提案しました。

年度	実施回数	延対象者数(人)	病棟別延対象者数	2A	3A	4A	4B	5A	5B
27	52回 (週1回)	65	人	13	0	12	7	21	12
			(%)	20	0	18	11	33	18
28	49回 (週1回)	136	人	39	0	8	41	46	2
			(%)	29	0	6	30	34	1
29	51回 (週1回)	46	人	23	0	8	4	7	4
			(%)	50	0	17	9	15	9

摂食嚥下チーム活動

平成 29 年度は電子カルテの導入で、摂食嚥下スクリーニングテストや摂食機能療法のシステム化に取り組んだ。しかし、ST の不在や摂食嚥下困難者を専門に診る医師が非常勤のため、摂食機能療法の算定は減少傾向にある。

チーム医療の中でも最も身近にケアを実施する看護師および看護補助スタッフには、認定看護師を中心に計画的に勉強会や研修を取り入れ、事故防止、スキルアップに向けて取り組んでいる。

平成29年度 摂食機能療法・実施患者数と回数

	1A		2A		3A		4A		4B		5A		5B		合計		収益 (円)	1人当り平均 実施回数
	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数		
H28年度 合計	0	0	25	192	0	0	0	0	28	326	44	465	31	336	128	1,319	2,440,150	10.3
月平均	0.0	0.0	2.1	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	27.2	3.7	38.8	2.6	28.0	10.7	110	203,346	10.3

H29.4	0	0	1	7	0	0	0	0	1	8	0	0	6	76	8	91	168,350	11.4
H29.5	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	9	72	10	77	142,450	7.7
H29.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	6	92	7	102	188,700	14.6
H29.7	0	0	1	12	0	0	0	0	1	15	1	4	5	25	8	56	103,600	7.0
H29.8	0	0	1	30	0	0	1	23	0	0	1	18	0	0	3	71	131,350	23.7
H29.9	0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	1	7	0	0	2	37	68,450	18.5
H29.10	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	1	6	11,100	6.0
H29.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
H29.12	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	14,800	8.0
H30.1	0	0	1	20	1	31	0	0	0	0	1	22	0	0	3	73	135,050	24.3
H30.2	0	0	1	28	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	30	55,500	15.0
H30.3	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	7,400	4.0
H29年度 累計	0	0	6	101	3	41	4	64	2	23	5	61	26	265	46	555	1,026,750	12.1
月平均	0.0	0	0.5	8.417	0.3	3.417	0.3	5.333	0.2	1.917	0.4	5.083	2.2	22.08	3.8	46.25	85,563	12.1

(7) ボランティア活動報告

5 団体が定期的な活動を継続している

団体名	活動日	活動内容
ランパス会	火曜日／週	図書・患者対応
杉の子会	木曜日／週	衛生材料作成
松田絵手紙の会	土曜日／週	絵手紙作成
受付介助ボランティア	月～金曜日	外来受け付け介助
音楽ボランティア	1 回／月 不定期	合唱・合奏 他

今年度末で杉の子会と音楽ボランティアが永年の活動を終了した。

(8) 臨床病理検討会 (CPC)

第 5 9 回 CPC 平成 3 0 年 3 月 2 6 日 1 6 時 0 0 分より 研修室 2
 循環器内科 羽尾 義輝 先生 研修医 山本 浩世 先生
 「溺水により呼吸不全に至った一例」

出席者 22名

(9) 糖尿病対策会議

糖尿病医療の充実および、地域医療連携による地域糖尿病患者の合併症発症予防と悪化防止・QOLの維持向上の推進を図る目的で糖尿病療養指導に関する院内研修の計画・実施を行っている。

平成 29 年度の活動実績

- 平成 29 年 11 月に足柄上病院を会場に住民参加型糖尿病予防啓発活動イベント「糖尿病フェスタ」を開催した。

また、病院主催の公開医療講座として年間 4 回の「糖尿病公開講座」を行った。

回	月 日	講師	テーマ	参加人数
第 1 回	5 月 2 5 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00	内科医師	糖尿病総論 「糖尿病とその付き合い方」	4 0 名
第 2 回	7 月 2 7 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00	薬剤師 臨床心理士	薬物療法 糖尿病への質問に答える	2 8 名
第 3 回	1 1 月 1 2 日 (土) 糖尿病フェスタ 13 : 00 ~ 16 : 00	理学療法士 内科医師	運動療法 糖尿病の予防と治療について	2 5 名
第 4 回	2 月 2 2 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00	佐藤内科医院 院長 佐藤弘樹医師 (足柄上医師会)	糖尿病との上手なかかわり方	3 0 名

- 糖尿病療養指導に関する院内研修の計画・実施

前年同様、年間シリーズでのスタッフ向け糖尿病勉強会を年間 4 回実施した。概論から治療薬、検査、食事、患者心理まで、幅広い内容の研修会を実施した。

回	月 日	テーマ	講師	参加数
1 回	7 月 7 日 (金)	糖尿病概論・治療	服部医師 渡部医師	2 8 名
2 回	9 月 8 日 (金)	糖尿病をもつ人の心	臨床心理士 大島	1 0 名
3 回	1 0 月 6 日 (金)	①検査と糖尿病 ②糖尿病と食事 ③糖尿病治療薬の使い分け ④インスリン・血糖値・BS 注リ-について	検査技術科 西小原・町田 栄養管理科 岩佐 薬剤科 深澤 日本イーライリリー	2 4 名
4 回	3 月 9 日 (金)	1 時間でどこまでわかる？糖尿病	内科 柳橋医師	2 9 名

(10) 平成29年度 「医学講座」・「出前講座」

医学講座・出前講座企画運営会議

平成29年度 地域住民対象「医学講座」「出前講座」開催実績

回	日 時	テーマ	講 師	会 場	対 象	参加者数
医学 第28回	6月1日（木） 13：30～15：30	「未病の取り組みは 足腰から!!」	①病院長 牧田浩行 ②理学療法士 新井昌行 ③開成町保険健康課 保健師	開成町町民センター 大会議室	市民・町民	174名
医学 第29回	10月14日（土） 14：00～16：00	「これからの健康診断は何が わかるのか？ ー未来の骨折、ねたきり、生 活習慣病、がんも予知でき る！？ー」	①がんセンター がん予防・情報学部長 成 松宏人 ②病院長 牧田浩行	大井町生涯学習センター 2階 第1.2会議室	市民・町民	40名
医学未病 第30回	1月27日（土） 14：00～16：00	未病改善！「病気になる 体づくり。～食事と運動～」	①管理栄養士 杉野万紀 ②作業療法士 安孫子富 美代 ③理学療法士 山口智広	南足柄市女性センター 研修室1.2	市民・町民	63名
出前 第1回	6月27日（火） 10：00～11：30	「卒乳」	3A看護科長 IBCLC 佐藤良枝	こどもセンター	子育て中の新米ママ達	14名
出前 第2回	7月5日（水） 9：30～11：00	「小児看護」	小児救急看護認定看護師 古澤美佳	開成町町民センター	ファミリーサポート ボランティアの方々	12名
出前 第3回	7月10日（月） 13：30～15：30	「ロコモ予防」	病院長 牧田浩行 理学療法士 新井昌行	山北町健康福祉センター	健康普及員	26名
出前 第4回	7月13日（木） 13：30～15：00	「糖尿病と認知症の深い関係」	消化器内科 柳橋 崇史	中井町保健福祉センター 3F集会室	わかくさ会会員	48名
出前 第5回	10月12日（木） 10：00～11：30	「小児看護」	小児救急看護認定看護師 古澤美佳	松田町役場	ファミリーサポート ボランティアの方々	10名
出前 第6回	10月13日（金） 14：00～15：00	「スポーツ栄養」	管理栄養士 杉野万紀	山北高等学校	保健委員	30名
出前 第7回	10月24日（火） 13：45～15：00	「生活習慣病を予防するた めに、今からできること ～医師から聞く健康でいるこ との秘訣とは～」	消化器内科医 担当部長 國司洋祐	開成町保健センター	健康診断結果配布町民	108名
出前 第8回	12月6日（水） 9：30～11：00	「小児看護」	小児救急看護認定看護師 古澤美佳	開成町町民センター	ファミリーサポート ボランティアの方々	8名
出前 第9回	2月14日（水） 9：30～11：30	「学童期の疾患とリハビリ」	整形外科 篠原健太郎 リハビリテーション室 三澤香織	南足柄市りんどう会館	学童保育の先生方	22名
出前 第10回	2月23日（金） 13：30～15：30	「家族とともに生きる」 家族だからと全部背負わなくても 大丈夫！	家族看護専門看護師 櫻井大輔	松田町役場 4階4AB会議室	町内在住で、在宅で要介護 者等の家族介護を行ってい る者 介護に関心のある者	19名
出前 第11回	3月7日（水） 13：30～15：00	生活習慣病(腎臓病)重症化予防 (高血圧・糖尿病中心の話)	消化器内科 柳橋崇史	山北町保健福祉センター	特定健診受診者	50名
出前 第12回	3月20日（火） 14：30～16：30	「胃がん、胃がん検診の知識 と検診の精度管理について」	消化器内科 國司洋祐	足柄上合同庁舎	健康増進事業・特定健診・ 特定保健指導者担当者会議	15名
出前 第13回	3月29日（木） 13：30～15：30	「糖尿病に関する意見交換 会」	副院長 加藤佳央 管理栄養士 杉野万紀 薬剤師 佐久間裕美	開成町保健センター	開成町保健師・管理栄養士	15名

第 5 章 研 究 等

論 文 発 表

題 目	発 表 者	備 考
総 合 診 療 科 (内 科)		
Serere human parechovirus ty pe 3 infection in adults associated with gastroenteritis in their children.	Tanaka S, Kunishi Y, Ota M Ono A, Kanno N, Kurakami Y Yanagibashi T, Mastubayashi M Hao Y, Iwabuchi K, Oshita F Yoshie K, Kato Y	Infect Dis. 2017 May 12:1-3.
Cancer treatment and management for elderly patients 80 years of age or older with malignant solid tumors.	Matsubayasi M, Oshita F, Kawata N Yanagibashi T, Tanaka S, Hao Y Kurakami Y, Iwabuchi K Kunishi Y, Ota M, Nakamura Y and Yoshie K	J Exp Ther Oncol. 2017 Nov;12:143-149
Pneumatosis cystoides intestinalis:lung window setting on CT.	Kunishi Y, Ota M, Kato Y Maeda S	Clin Case Rep. 2017 Sep 12;5:1896-1897
呼 吸 器 内 科		
Nedaplatin and irinotecan with concurrent thoracic radiotherapy followed by docetaxel consolidation in patients with locally advanced non-small cell lung cancer.	Oshita F, Murakami S, Kondo T Saito H, Yamada K, Nakayama Y	J Exp Ther Oncol 12:17- 23, 2017
Serere human parechovirus ty pe 3 infection in adults associated with gastroenteritis in their children.	Tanaka S, Kunishi Y, Ota M Ono A, Kanno N, Kurakami Y Yanagibashi T, Mastubayashi M Hao Y, Iwabuchi K, Oshita F Yoshie K, Kato Y	Infect Dis (Lond) May 12:1- 3. 2017
Randomized phase II trial of weekly dose-intensive chemotherapy or amrubicin plus cisplatin chemotherapy following induction chemoradiotherapy for limited-disease small cell lung cancer(JCOG1011)	Sekine I, Harada N Yamamoto M, Wakabayashi M Murakami H, Goto K, Nogami N Seto T, Oshita F, Okamoto H Tanaka H, Tamura T, Ishikura S Ohe Y	Lung Cancer 108:232- 237, 2017
Phase III、Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Trial of Motesanib (AMG-706) in Combination With Paclitaxel and Carboplatin in East Asian Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer.	Kubota K, Yoshioka H, Oshita F Hida T, Yoh K, Hayashi H, Kato T Kaneda H, Yamada K, Tanaka H Ichinose Y, Park K, Cho EK, Lee KH Lin CB, Yaug JC, Hara K, asato T Nakagawa K	J Clin Oncol 35:3662- 3670, 2017
Cancer treatment and management for elderly patients 80 years of age or older with malignant solid tumors.	Matsubayasi M, Oshita F, Kawata N Yanagibashi T, Tanaka S, Hao Y Kurakami Y, Iwabuchi K Kunishi Y, Ohta M, Nakamura Y and Yoshie K	J Exp Ther Oncol 12:143- 149. 2017
外 科		
乳房外Paget病による皮膚潰瘍から小腸脱出を来した鼠径ヘルニア破裂の1例	神谷真梨子、北川太郎、鈴木喜裕 羽鳥慎祐、米山克也、益田宗孝	日臨外会誌 第78巻 第4号 864-868 2017

題 目	発 表 者	備 考
術前補助化学療法 mFOLF0X6+Bevacizumab 施行後に切除した局所進行大腸癌の4例	土井雄喜、鈴木喜裕、菅野伸洋 山奥公一朗、高田 賢、松浦 仁 米山克也、亀田陽一、利野 靖 益田宗孝	癌と化学療法 第44巻 第12号 1414-1416 2017
整 形 外 科		
New scoring system at admission to predict walking ability at discharge for patients with hip fracture.	Oba T, Makita H, Inaba Y Yamana H, Saito T	Orthop Traumatol Surg Res. In Press
Revision total hip arthroplasty using the Kerboul acetabular reinforcement device and structural allograft for severe defects of the acetabulum.	Makita H, Kerboul M, Inaba Y Tezuka T, Saito T, Kerboul L	J Arthroplasty, 32(11):3502-3509, 2017
県西地区における地域医療構想への取り組み	牧田浩行	神奈川県病院学会誌 36:29-34、2017
大腿骨ステム周囲骨折に対する予防と治療のpitfall (解説/特集)	牧田浩行、稲葉 裕、斎藤知行	整形・災害外科 60(6)、771-776、2017
レッグポジショナーを使用した仰臥位前方アプローチによる大腿骨人工骨頭挿入術	石田 崇、柁原俊久、佐藤昌明 玉置 聡、蜂谷将史	日本人工関節学会誌 47 529-530、2017
大腿骨頸部骨折に対するレッグポジショナーを使用した最小侵襲前方進入法による大腿骨人工骨頭挿入術	石田 崇、瀧上秀威、中村祐之 柁原俊久	骨折、40:135-140、2018
皮 膚 科		
乳房外Paget病による皮膚潰瘍から小腸脱出を来した鼠径ヘルニア破裂の1例	神谷真梨子、北川太郎、鈴木喜裕 羽鳥慎祐、米山克也、益田宗孝	日臨外会誌 第78巻 第4号 864-868 2017
リハビリテーション室		
がんリハビリテーションの評価ー理学療法の臨床と研究における評価の重要性と方法ー	米永悠佑	理学療法福岡31号 2018

学 会 発 表

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
総 合 診 療 科 (内 科)			
A mass carbon monoxide poisoning among members of japanese traditional teaceremony	Aoki Y, Yoshie K, Ota M Shimizu T, Iwabuchi K Kunishi Y, Matsubayashi M Kurakami Y, Ono A Takahashi K		ACP Internal Medicine Meeting 2017
初診時に下痢を認めなかったカンピロバクター腸炎についての検討	田中 聡、國司洋佑 柳橋崇史、松林真央 羽尾義輝、倉上優一 太田光泰、吉江浩一郎 玉井拙夫、加藤佳央		第103回 日本消化器病学会総会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
肝障害を契機に発見された慢性EBウイルス感染症の一例	日下恵理子、柳橋崇史 國司洋佑、大石梨津子 田中 聡、羽尾義輝 吉江浩一郎、加藤佳央		第62回 神奈川消化器病研究会
腹腔内出血、胆道出血を繰り返した肝血管肉腫の1剖検例	大石梨津子、羽尾義輝 國司洋佑、日下恵理子 田中 聡、柳橋崇史 松林真央、太田光泰 吉江浩一郎、加藤佳央		第344回 日本消化器病学会関東支部例会
大腸憩室炎の発症は若年化している	柳橋崇史、國司洋佑 大石梨津子、日下恵理子 田中 聡、松林真央 羽尾義輝、加藤佳央		第59回 日本消化器病学会大会
好酸球性胃腸炎の診断における生検部位に関する検討	田中 聡、國司洋佑 太田光泰、大石梨津子 日下恵理子、倉上優一 柳橋崇史、松林真央 羽尾義輝、吉江浩一郎 加藤佳央		第59回 日本消化器病学会大会
陰嚢痛が初発症状であったヒトパレコウイルス3型による流行性筋痛症の1例	田中 聡、國司洋佑 太田光泰、大石梨津子 日下恵理子、安田 優 倉上優一、柳橋崇史 羽尾義輝、岩渕敬介 清水 泉、尾下文浩 吉江浩一郎、加藤佳央		第66回 日本感染症学会東日本地方会 学術集会
急性肝炎の疑いとして紹介されたツツガムシ病の1例	山本浩世、羽尾義輝 國司洋佑、大石梨津子 日下恵理子、田中 聡 柳橋崇史、太田光泰 吉江浩一郎、加藤佳央		第348回 日本消化器病学会関東支部例会
外 科			
術前補助化学療法 mFOLFOX6+Bevacizumab 施行後に切除した局所進行大腸癌の4例	土井雄喜、鈴木喜裕 菅野伸洋、山奥公一朗 高田 賢、松浦 仁 米山克也、亀田陽一 利野 靖、益田宗孝	平成29年6月23日 京都	第39回 日本癌局所療法研究会
内視鏡所見と病理所見に乖離があった進行結腸癌の1例	服部京子、鈴木喜裕 菅原 海、松浦 仁 高田 賢、米山克也	東京 平成29年11月25日	第79回 日本臨床外科学会総会
胃未分化癌の一手術例	菅原 海、米山克也 高田 賢、松浦 仁 鈴木喜裕、利野 靖 益田宗孝	横浜 平成29年9月23日	第149回 神奈川県臨床外科医学会集談会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
整 形 外 科			
多椎間に及んだ特発性硬膜外血腫の1例	中村祐之、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田 崇、近藤直也 川島大輔	横浜 平成29年2月10日	第162回 神奈川整形災害外科学会
Revision total hip arthroplasty using the Kerboul acetabular reinforcement device and structural allograft for severe defects of the acetabulum.	Makita H, Kerboll M Inaba Y, Tezuka T Saito T, Kerboll L	日光 平成29年5月12日	14eme Association Franco-Japonaise d'Orthopedie
Utilization of scores at admission for patients with proximal femur fracture to predict th ADL at discharge.	Oba T, makita H Tanaka K, Nakamura Y Matsumoto M, Hirota T Saito T	日光 平成29年5月12日	14eme Association Franco-Japonaise d'Orthopedie
Short-term outcomes of bipolar hemiarthroplasty for displaced femoral neck fractures in elderly patients by direct anterior approach using leg positioner.	Ishida T, Makita H Kajiwara T, Sato M Tamaoki S, Hachiya M	日光 平成29年5月12日	Congres 14eme AFJO Association France-Japon d'Orthopedie
大腿骨近位部骨折の退院時ADLを入院時所見から予測するスコアの作成と検証	大場敬義、牧田浩行 田中堅一郎、中村祐之 松本匡洋、広田哲史 津村 碧、斎藤知行	仙台 平成29年5月21日	第90回 日本整形外科学会学術総会
THA前方系アプローチを観る、聴く、織るーDAAの立場からー	石田 崇	横浜 平成29年6月10日	第2回 神奈川股関節研究会
高齢者の大腿骨頸部骨折に対するレッグポジショナーを使用した仰臥位前方進入法による大腿骨人工骨頭挿入術	石田 崇、牧田浩行 柁原俊久、佐藤昌明 玉置 聡、蜂谷将史	福島 平成29年7月8日	第43回 日本骨折治療学会
大腿骨人工骨頭挿入術後のレントゲンで亜脱臼に気づき再手術を要した1例	石田 崇、牧田浩行	横浜 平成29年7月28日	第25回 Hip Forum
大腿骨頸部骨折に対するレッグポジショナーを使用した仰臥位前方進入法による大腿骨人工骨頭挿入術	石田 崇、瀧上秀威 篠原健太郎、中村祐之 近藤直也、川島大輔 牧田浩行	横浜 平成29年8月5日	第394回 横浜市立大学整形外科同門会 談話会
patellectomy後のTKAの外傷性変形性膝関節症に対してTKAを施行した1例	近藤直也、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田 崇、中村祐之 川島大輔	横浜 平成29年8月5日	第394回 横浜市立大学整形外科同門会 談話会
《パネルディスカッション 地域包括ケア時代における病院経営の未来を考える》 神奈川県西地区における現状と対策	牧田浩行	東京 平成29年9月13日	Hospital Management Japan Summit
軽微な外力により生じたLisfranc関節脱臼骨折の1例	川島大輔、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田 崇、中村祐之 近藤直也	横浜 平成29年10月28日	第161回 神奈川整形災害外科研究会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
大腿骨人工骨頭挿入術における低侵襲前方進入法（AMIS）と前側方進入法の比較	石田 崇、牧田浩行 柁原俊久、佐藤昌明 玉置 聡、蜂谷將史	東京 平成29年10月21日	第44回 日本股関節学会学術集会
《シンポジウム 地域医療構想の推進》 県西地区における地域医療構想への取り組み	牧田浩行	横浜 平成29年11月13日	第36回 神奈川県病院学会
大腿骨転子部骨折骨接合術後にラグスクリューの内側移動を認めた一例	近藤直也、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田 崇、中村祐之 川島大輔	平成29年12月13日	平成29年度 横浜股関節研究会
臼蓋巨大骨欠損に対しKerbol1十字プレートと塊状同種骨を用いた人工股関節再置換術	牧田浩行、Kerbol1 M 稲葉 裕、手塚太郎 松本匡洋、斎藤知行 Kerbol1 L	沖縄 平成29年12月	第47回 日本人工関節学会
レッグポジショナーを使用した最小侵襲前方進入法による人工股関節全置換術－術中骨盤傾斜とカップ前方開角の変化－	石田 崇、瀧上秀威 篠原健太郎、中村祐之 近藤直也、川島大輔 牧田浩行、柁原俊久 佐藤昌明、玉置 聡 鈴木 宙、蜂谷將史	東京 平成30年2月24日	第48回 日本人工関節学会
人工関節置換術前後における Midflexioninstabilityの変化について	篠原健太郎、牧田浩行 瀧上秀威、石田 崇 中村祐之、川島大輔 近藤直也	東京 平成30年2月24日	第48回 日本人工関節学会
第5CM関節掌側脱臼の一例	近藤直也、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田 崇、中村祐之 川島大輔	平成30年3月5日	足柄上地区整形外科研究会
レッグポジショナーを使用した最小侵襲前方進入法（AMIS）による人工股関節全置換術	石田 崇、牧田浩行	東京 平成30年3月17日	第58回 関東整形災害外科学会
脳 神 経 外 科			
石灰化病変を伴う症例への脳深部刺激電極植込術	濱田幸一、川崎 隆 木村活生、岸田日帯 岡村 泰、樋口優理子	大阪 平成29年1月	第56回 日本定位機能神経外科学会
同日内に複数回減圧開頭血腫除去術を施行した症例の臨床像	濱田幸一、川崎 隆 間中 浩、坂田勝巳	東京 平成29年3月	第40回 日本脳神経外傷学会
Treatment of spinal epidural hematoma – an experiments –	稲垣 浩、遠藤 聡 野地雅人、波良勝裕 田中 聡、権藤学司	大阪 平成29年6月	ASIA SPINE 2017
脳梗塞を疑い脳神経外科にコンサルトとなった症例	稲垣 浩、濱田幸一	神奈川 平成29年10月	第2回 足柄上臨床医会
頭部外傷後の高次機能障害患者の社会復帰に必要な支援	濱田幸一、坂田勝巳 川崎 隆、間中 浩	名古屋 平成29年10月	第76回 日本脳神経外科学会総会
Gpi-DBS電極留置時内包への刺激波及回避のため高頻度にて外側トラックが選択される	濱田幸一、川崎 隆 木村活生、岸田日帯 岡村 泰、樋口優理子	東京 平成29年10月	第11回 パーキンソン病・不随意運動学会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
重症頭部外傷後の高次脳機能障害 社会復帰を妨げる要因	濱田幸一、森村尚登 岩下眞之、日野耕介	大阪 平成29年10月	第45回 日本救急医学会総会
ITB療法について	濱田幸一	厚木 平成29年11月	西湘脳神経外科懇話会
放 射 線 技 術 科			
アンギオ装置コーンビームCTにおける CTAP撮影の最適化の検討	岩佐 脩、大谷 慎 筑丸勝人	千葉 平成29年10月	第56回 全国自治体病院学会
検 査 技 術 科			
神奈川県臨床検査技師会精度管理調査 輸血部門における取り組み	田島正輝	千葉 平成29年6月24日	第65回 日本輸血・細胞治療学会総会
左室肥大症例における心負荷動態および 腎機能障害が血漿BNP値に与える影響	町田 淳	埼玉県 平成29年10月28～29 日	第54回 関甲信支部・首都圏支部医学 検査学会
脾臓原発NECの1例	大金直樹、佐々木秀貴 亀田陽一	福岡県 平成29年11月19日	第56回 日本臨床細胞学会秋季大会
A介護施設で起きたアウトブレイクから入 院受け入れを経験して ～当院の対策を振り返る～	佐々木由香、遠藤泰子	東京都 平成30年2月23～24 日	第33回日本環境感染学会総会 学術集会
リハビリテーション室			
ADL能力、身体機能、倦怠感、認知機能が 入院がん患者のPerformance statusにお よぼす影響	米永悠佑	千葉県 平成29年5月12日	第52回 日本理学療法学術大会
当院における大腿骨近位部骨折術後患者 の転帰に及ぼす因子について	新井昌行、朝山信司 三澤香織、米永悠佑 成田春香	千葉県 平成29年10月19日	第56回 全国自治体病院学会
看 護 局			
安心して在宅療養ができる仕組みづくり ～A病院在宅支援看護師の実践インタビュー から～	牛田多恵子、丹伊田聖子	平成29年 10月19～20日	第56回 全国自治体病院学会
「時々入院ほぼ在宅」を叶えるために ～後方支援登録患者の関わりから考える 多職種連携～	麻生みちる、鈴木美絵	平成29年 10月19～20日	第56回 全国自治体病院学会
消化器外科手術を受ける高齢患者の安全 対策 ～術後口腔ケアとせん妄の関連性～	竹下みのり、丸岡陽子 小平美槻	平成30年2月17～18 日	第4回 日本医療安全学術総会
院内急変シュミレーション研修の効果	生田正美	平成29年10月6～7日	第19回 日本救急看護学会学術集会
A介護施設で起きたアウトブレイクから入 院受け入れを経験して ～当院の対策を振り返る～	佐々木由香、遠藤泰子	平成30年2月23～24 日	第33回 日本環境感染学会総会学術集 会
エンゼルケアセットの見直しについて	遠藤泰子	平成30年2月23～24 日	第33回 日本環境感染学会総会学術集 会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
中規模病院Aにおける常勤看護師のキャリアラダー熟達段階の現状 ～採用（新卒・経験者）や経験年数の違いから～	山本照恵、竹内尚美 田中純子	平成30年3月10日	第19回 神奈川県看護教育フォーラム

研 修 ・ 研 究 等

講 演

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
総 合 診 療 科			
高齢者医療 ～どこまでやるか？～	國司洋佑	開成町 平成29年9月15日	第1回医療・介護地域連絡会
題 目	発 表 者	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
整 形 外 科			
高齢者に対するTHA	牧田浩行	東京 平成29年4月29日	ZIMMER BIOMET Hip Symposium 2017
あなたの足腰大丈夫？－40代から始めるロコモ予防－	牧田浩行	開成町 平成29年6月1日	第28回 足柄上病院 医学講座
デュピュイトレン拘縮に対する新しいコラゲナーゼ注射療法	瀧上秀威	平成29年6月6日	足柄上臨床医師会
「ロコモ」にご用心. 今から対策	牧田浩行	山北町 平成29年7月6日	足柄上病院 出前講座
人工膝関節置換術における疼痛管理とナビゲーション手術	篠原健太郎	小田原市 平成29年8月28日	小田原お堀端コンベンション ホール
『これからは骨・関節の健診』丈夫な足腰を維持するために	牧田浩行	大井町 平成29年10月14日	第29回 足柄上病院 医学講座
ひざの痛みに悩んでおられる方へ	篠原健太郎	開成町 平成29年10月19日	足柄上医師会 医療セミナー
関節リウマチ手関節障害に対する手術療法	瀧上秀威	平成29年11月1日	第23回湘南西部リウマチ性疾患 症例検討会
学童期の外傷と疾患	篠原健太郎	平成30年2月14日	南足柄市放課後児童健全育成事業 支援員研修会

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
脳 神 経 外 科			
手術で治せる脳・神経・脊髄の働き 機能的脳神経外科とは	濱田幸一	平成29年7月	足柄上合同庁舎
薬 剤 科			
肺炎治療における抗菌薬について	小清水郁夫	平成29年11月30日	感染対策研修会
放 射 線 技 術 科			
アンギオ装置におけるCTAP2相撮影の 有用性の検討	岩佐 脩 大谷 慎 筑丸勝人	小田原市 平成30年2月	西湘放射線技師会学術講演会
検 査 技 術 科			
スキルアップ講座	大金直樹	大阪府 平成29年5月28日	第58回 日本臨床細胞学会春季大会
輸血検査に求められる技術と精度	田島正輝	横須賀市 平成29年11月19日	第66回 神奈川県医学検査学会
平成29年度神臨技精度管理調査報告	田島正輝	横浜市 平成29年4月19日	神奈川県臨床検査技師会 輸血検査研究班 第29年度第1回研修会
輸血学的検査	田島正輝	横浜市 平成30年3月15日	平成29年度 精度管理調査研修会

研 修 ・ 研 究 等

研修会主催

研 修 名	担 当 者	年 月 日
整 形 外 科		
第23回湘南西部リウマチ性疾患症例検討会	牧田浩行	平成29年11月1日
足柄地区リウマチ懇話会	牧田浩行	平成30年2月19日

研修・研究等
講師等

内容	講師名	年月日	研修・講演会名
検査技術科			
講師	大金直樹	大阪府 平成29年5月28日	第58回日本臨床細胞学会春季大会 スキルアップ講座 鏡検実習
講師	田島正輝	横浜市 平成29年7月2日	平成29年度 神臨技輸血検査 実技講習会
看護局			
講師	田中純子	平成29年 7月31日、8月28日	医療法人 杏林会 八木病院 看護職員研修「重症度、医療・看護必要度」
非常勤講師	佐藤裕季子	平成29年7月24日	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学研究科 1.2年次、臨床薬理学
講師	佐藤良枝	平成29年6月27日	南足柄 子育て支援センター ママのためのすまいる講座 「おっぱいの話～卒乳について」
助言者	石井奈穂子	平成29年 6月9日、7月28日、 9月25日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「人材育成」
助言者	渡邊千恵	平成29年6月16日、 11月17日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「問題解決・リーダーシップ」
演者	櫻井大輔	平成29年4月25日	神奈川在宅緩和医療研究会 平成29年度第1回 神奈川在宅緩和医療研究会 急性期病院における家族支援 ～緩和ケア・救急の現場で働く立場から～
講師	櫻井大輔	平成29年4月27日	神奈川県立平塚看護大学校 平成29年度「看護を考える日」 「相手の立場に立った思いやりのある看護」
非常勤講師	櫻井大輔	平成29年5月1日	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部4年生 在宅看護額演習「在宅ケアと家族」
アドバイザー	櫻井大輔	平成29年5月20日、 7月29日	東海大学大学院健康科学研究科 家族支援専門看護師 受験対策講座
講師	櫻井大輔	平成29年5月22日	東海大学大学院健康科学研究科 看護学専攻家族援助論Ⅰ 「渡辺式家族アセスメント/支援モデル」

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修・講 演 会 名
講師	櫻井大輔	平成29年6月8日	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 認定看護管理者養成課程 ファーストレベル ヒューマンサービス論 「家族の機能と役割」
ゲストスピーカー	櫻井大輔	平成29年6月24日	神奈川県立保健福祉大学 コンサルテーション論
講師	櫻井大輔	平成29年7月15日	神奈川県立循環器呼吸器病センター 第2回慢性呼吸器疾患看護専門研修「家族看護」
講師	櫻井大輔	平成29年7月22日	神奈川県重心協看護師長会 重症心身障害看護師研修「家族支援看護」
助言者	櫻井大輔	平成29年7月24日、 10月30日	神奈川県立病院機構 看護職員研修 看護倫理・臨床倫理
講師	櫻井大輔	平成29年9月1～2日	第24回日本家族看護学会 学術集会教育促進委員会 「家族支援専門看護師による“よろず相談”」
講師	櫻井大輔	平成29年9月8日	足柄上地区在宅・医療介護連携支援センター 地域で生きる-家族と共に最後まで-
講師	櫻井大輔	平成29年9月29日	神奈川県看護協会ナースセンター 平成29年度「看護の仕事 再就職セミナー」 家族を支える看護-患者・家族と共に歩むために-
講師	櫻井大輔	平成29年10月25日	秦野赤十字病院 家族看護研修
講師	櫻井大輔	平成29年11月11日	公益社団法人神奈川県看護協会小田原支部 「家族看護研修」
講師	櫻井大輔	平成30年1月22日	公益社団法人神奈川県看護協会小田原支部 家族看護～多様な家族を理解し支援するために～
講師	櫻井大輔	平成30年2月6、9日	神奈川県立よこはま看護専門学校 在宅介護論Ⅲ（家族看護）
講師	櫻井大輔	平成30年2月21日	松田町福祉課 家族介護教室 家族とともに生きる
講師	湯川恵理子	平成29年 7月20、27、31日、 8月29日	神奈川県立よこはま看護専門学校2年次 母性看護学Ⅱ
講師	湯川恵理子	平成29年 11月21、28日、 12月6日	神奈川県立よこはま看護専門学校2年次 母性看護学Ⅲ

内容	講 師 名	年 月 日	研 修・講 演 会 名
講師	湯川恵理子	平成30年1月11日	神奈川県立よこはま看護専門学校2年次 母性看護学Ⅰ
講師	小室晴美	平成29年 12月7、13日	神奈川県立平塚看護大学2年次 母性看護学Ⅲ
講師	小室晴美	平成29年 9月11、14日	神奈川県立平塚看護大学2年次 母性看護学Ⅱ
講師	丸川いずみ	平成29年12月8日	神奈川県立中井やまゆり園 保健委員会研修会 感染症予防講習
講師	丸川いずみ	平成30年2月21日	医療法人社団 三井会 伊勢原日向病院 感染対策研修
講師	向田明美	平成29年12月18日 平成30年1月15日	神奈川県立平塚看護大学2年次 成人看護学Ⅵ
講師	高橋佳織	平成29年 9月8、13日	神奈川県立平塚看護大学 老年看護学「高齢者の皮膚」
講師	高橋佳織	平成30年1月31日	足柄療護園 褥瘡
シンポジスト	高橋佳織	平成29年11月25日	金沢大学・越屋メディカルケア あなたの悩みや疑問を解決 ～スキンケア編～
講師	高橋佳織	平成29年11月25日	金沢大学・越屋メディカルケア 陰部清拭導入に向けた取り組み
講師	高橋佳織	平成29年12月9日	足柄上地区在宅・介護連携支援センター 皮膚自壊部のケア指導
講師	高橋佳織	平成29年 9月8、13日	神奈川県立平塚看護大学 老年看護学「高齢者の皮膚」
講師	高橋佳織	平成30年1月31日	足柄療護園 褥瘡
講師	曾我輝之	平成30年1月19日	足柄上地区在宅・医療介護連携支援センター 第3回医療・介護地域連絡会 在宅における高齢者の看取り ～自然な最期の迎え方～
講師	竹内尚美	平成29年 7月18、19日	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 看護実習指導者講習会 「実習指導の実際 再構成」

研修・研究等
執筆・マスコミ

内 容	担 当 者	年 月 日
検 査 技 術 科		
実践から学ぶ 婦人科細胞診	大金直樹、北村隆司 加藤智美、矢野恵子 加藤久盛（監修） 安田政実（監修）	医療科学社 平成29年5月26日発行
看 護 局		
家族とのコミュニケーションについて学ぼう！ 慢性疾患をもつ初老期の患者と家族への看護	櫻井大輔	学研メディカル秀潤社 Nursing Canvas、11月号 平成29年10月10日
第4章 ささまざまなアセスメント・介入モデル 渡辺式家族アセスメント・支援モデル	櫻井大輔	医学書院、系統別看護学講座 家族看護 平成30年2月24日
スペシャリストが行く「家族支援専門看護師」 患者・家族とともに歩む！ ～当たり前前を当たり前にするために～	櫻井大輔	看護だより 5月号 平成29年5月
救急看護ケア アセスメントとトリアージ 輝く救急ナース	生田正美	日総研 平成29年4～5月号
「私の忘れられない症例」	生田正美	メディカ出版 Emergency Care 平成29年5月
第3章 1-2 「産科混合病棟ユニットマネジメ ント」 P. 67-71	佐藤良枝	日本看護協会出版会 新版 助産師業務要覧 第3版[Ⅲアドバンス編] 2018年版 平成29年11月1日発行
特集「基本的な知識セット」標準予防策 感染経路別予防策	遠藤泰子	メディカ出版 INFECTION CONTROL 平成29年4月

研修・研究等
その他

内 容	担 当 者
リハビリテーション室	
World Para Athletics CHAMPIONSHIPS LONDON 2017 日本代表チーム帯同	武田 知仁

神奈川県立足柄上病院年報

印刷発行 平成30年9月

発行者 神奈川県立足柄上病院
〒258-0003
足柄上郡松田町松田惣領866-1
電 話 (0465) 83-0351
編集責任者 事務局 経営企画課
印刷所 (有) 鶴井印刷所
電 話 (0465) 24-0312